目次

イラスト目次　2 ページ
詳細目次　6 ページ

1 運転する前に　11 ページ

運転する前に必要な操作と取り扱い

2 運転するときに　103 ページ

運転するときに必要な操作と取り扱い

3 快適装備の使いかた　185 ページ

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

4 お手入れのしかた　217 ページ

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

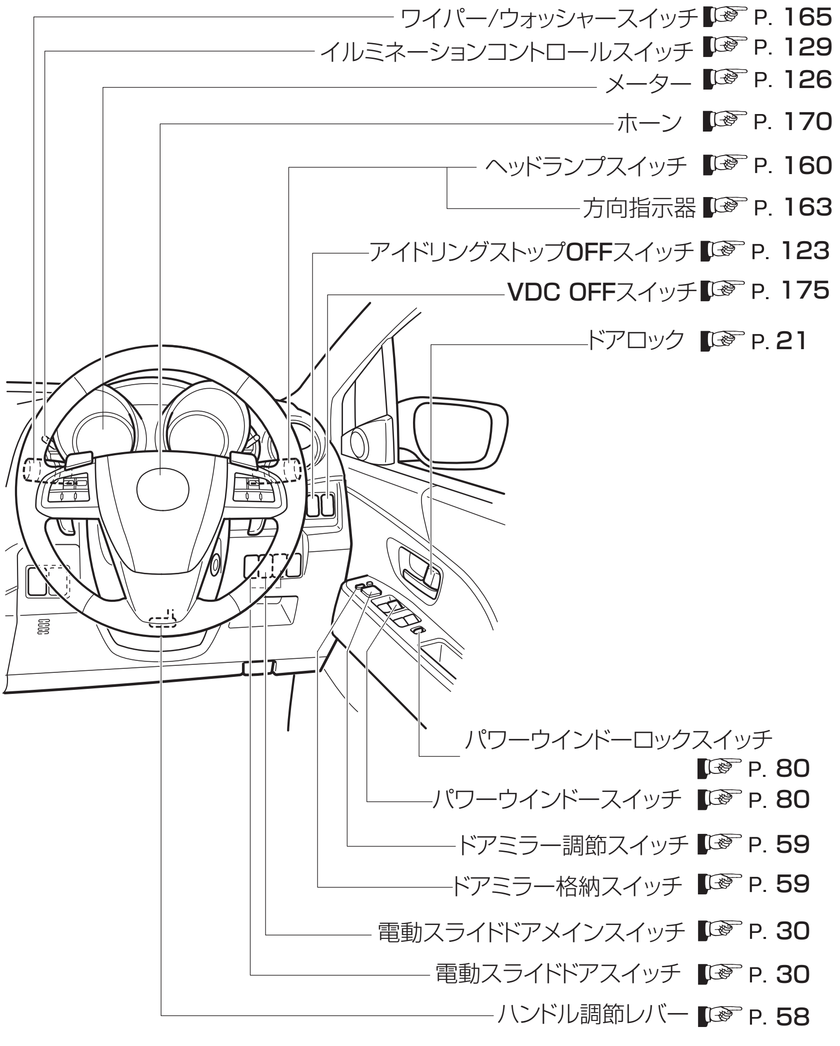
5 トラブルが起きたら　261 ページ

車が故障したとき、事故にあったときの処置

車両スペック　304 ページ
さくいん　318 ページ

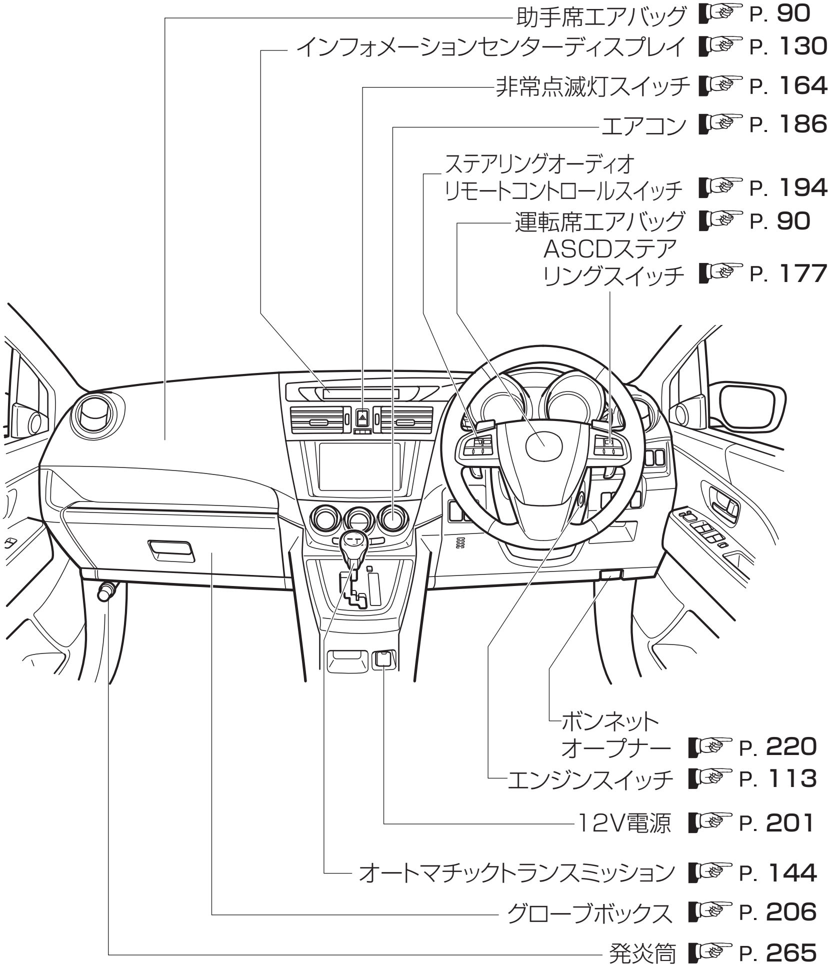
イラスト目次

ハンドルまわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

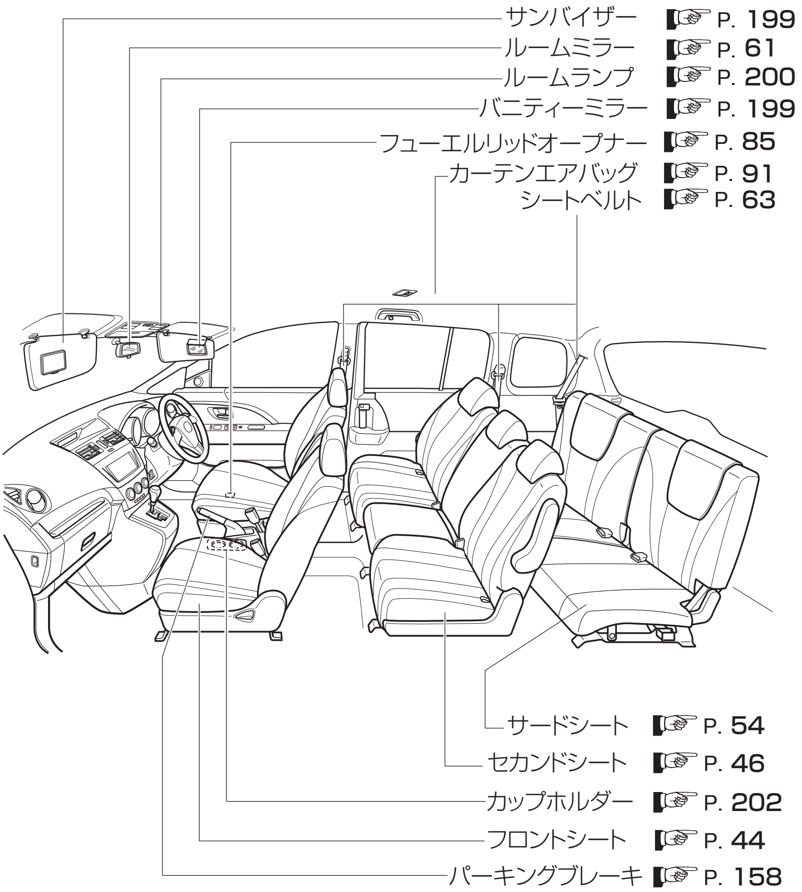
運転席まわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

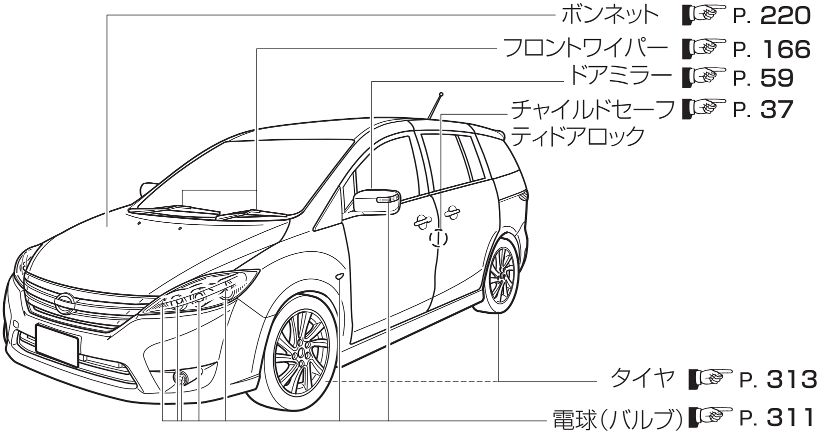
イラスト目次

室内



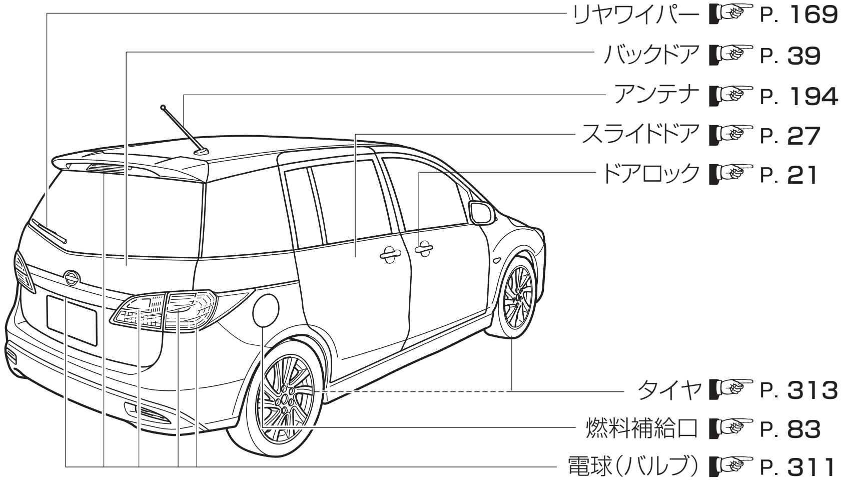
グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

フロントの外観



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

リヤの外観



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

詳細目次

1 運転する前に

安全なドライブのために 12

お出かけ前に 12
お子さまを乗せるとき 13
安全装備について 14

キー 15

キーについて 15

ドア 21

ドアの開閉.. 21
スライドドアの開閉 27

バックドア 39

バックドアの開閉 39

シート 43

正しい運転姿勢 43
フロントシートの調節 44
フロントシートの操作 45
セカンドシートの調節 46
セカンドシートの操作 47
サードシートの操作 54
ヘッドレストの使いかた.................. 55

ハンドル 58

ハンドルの調節 58

ドアミラー 59

ドアミラーの操作 59

ルームミラー 61

ルームミラーの操作 61

シートベルト 63

シートベルトの種類 63
シートベルトの正しい着用のしかた 64
3 点式シートベルト 68

お子さまの安全 72

お子さま専用シートについて 72
チャイルドシートを固定するとき ... 77

ウインドー 80

窓ガラスの開閉 80

燃料補給口 83

給油するとき 83

盗難防止システム 86

エンジンイモビライザー.................. 86

SRS エアバッグシステム 90

SRS エアバッグシステムについて ... 90
エアバッグの種類 90
エアバッグの注意点 92

安全に運転をしていただくために 102

積雪、寒冷時の取り扱い............... 102

2 運転するときに

安全なドライブのために 106

運転するとき 106
運転装置について 108
こんなことにも注意 108
駐停車するとき 111
お子さまを乗せるとき 112

エンジンの始動と停止 113

電源ポジション (エンジンスイッチ) 113
エンジンの始動 114
エンジンの停止 117
アイドリングストップシステムについて (PE-VPS 型エンジン) 119

メーター、警告灯、表示灯の見方 126

メーター 126
インフォメーションセンターディスプレイ 130
警告灯、表示灯 134

トランスミッションの使いかた 144

オートマチックトランスミッション 144

ブレーキ 158

ブレーキの操作 158

4WD 159

4WD について 159

スイッチの使いかた 160

ヘッドランプスイッチ 160
方向指示器 163
非常点滅灯スイッチ 164
フォグランプスイッチ 164
ワイパー / ウォッシャースイッチ... 165
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ 170
ホーン 170

ABS について 171

ABS とは 171

ヒルスタートアシスト (HSA) について 172

ヒルスタートアシスト (HSA) とは (アイドリングストップシステム装備車) 172

トラクションコントロールシステム (TCS) について 173

TCS とは 173

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) について 174

VDC とは 174

ASCD (オートスピードコントロール装置) について 177

ASCD とは 177

様々な状況での運転のときは 181

悪天候での運転 181

環境保護のために 183
経済的な運転 183

3 快適装備の使いかた

空調 186
エアコンの上手な使いかた 186
吹き出し口 187
オゾンセーフフルオートエアコン 189

オーディオ 194
アンテナ 194
ステアリングオーディオリモートコントロールスイッチの操作 194

シートアレンジ 195
シートアレンジ 195

室内装備 199
サンバイザー 199
室内照明 199
12V 電源 201
カップホルダー 202
ボトルホルダー 204
収納 205
フロアカーペット 215

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 218
必ずまもる 218

点検、整備 219
点検整備について 219
定期点検 220
日常点検の前に 220
日常点検 222
その他の手入れ 229

ヒューズ切れ、電球切れのとき 230
ヒューズの受け持つ装置 230
ランプ類、電気装置が作動しないとき 235

電池交換 246
電池を交換するときは 246

車の手入れ 250
外装の手入れ 250
内装の手入れ 253

季節の準備 257
冬にそなえて 257
夏にそなえて 259

環境保護のために 260
廃棄物を処理するときは 260

5 トラブルが起きたら

故障したとき 262

路上で動けなくなったとき........... 262
スタックしたとき 263
踏切内で動けなくなったとき 264

緊急用具の取り扱い 265

発炎筒.. 265
工具、ジャッキの格納場所........... 266
ジャッキの取り扱い 267

パンクしたとき 272

タイヤパンク応急修理キット 272

バッテリーがあがったとき 280

バッテリーあがりについて........... 280

オーバーヒートしたとき 286

オーバーヒートについて............... 286

インテリジェントキーが作動しないとき 288

インテリジェントキー一時停止機能.. 288

けん引について 289

けん引してもらうとき 289
故障車をけん引するとき............... 291

万一事故が起きたとき 292

警報チャイム 293

チャイムがなったときは............... 293

警告灯 295

警告灯が点灯、点滅したときは ... 295

バックドア 303

バックドアが開けられなくなったとき.. 303

MEMO

1 運転する前に

安全なドライブのために 12
お出かけ前に……12
お子さまを乗せるとき……13
安全装備について……14

キー 15
キーについて……15

ドア 21
ドアの開閉……21
スライドドアの開閉……27

バックドア 39
バックドアの開閉……39

シート 43
正しい運転姿勢……43
フロントシートの調節……44
フロントシートの操作……45
セカンドシートの調節……46
セカンドシートの操作……47
サードシートの操作……54
ヘッドレストの使いかた……55

ハンドル 58
ハンドルの調節……58

ドアミラー 59
ドアミラーの操作……59

ルームミラー 61
ルームミラーの操作……61

シートベルト 63
シートベルトの種類……63
シートベルトの正しい着用のしかた……64
3 点式シートベルト……68

お子さまの安全 72
お子さま専用シートについて……72
チャイルドシートを固定するとき……77

ウインドー 80
窓ガラスの開閉……80

燃料補給口 83
給油するとき……83

盗難防止システム 86
エンジンイモビライザー……86

SRS エアバッグシステム 90
SRS エアバッグシステムについて……90
エアバッグの種類……90
エアバッグの注意点……92

安全に運転をしていただくために 102
積雪、寒冷時の取り扱い……102

安全なドライブのために

お出かけ前に

日常点検は必ず実施する

219 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

228 ページの「バッテリーの点検」をよくお読みください。

日常点検としてタイヤを定期的に点検する

226 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

83 ページの「給油するとき」をよくお読みください。

燃料補給時の注意

83 ページの「給油するとき」、85 ページの「フューエルキャップの開閉」をよくお読みください。

荷物を積むときは固定する

39 ページの「バックドアの開閉」をよくお読みください。

可燃物、危険物は積まない

燃料のはいった容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

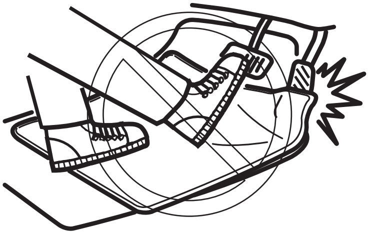
運転席足元には物を置かない

運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると、ペダルを正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合わないフロアカーペットは使わない



この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きにくくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
→ 215 ページ「フロアカーペット」

正しい運転姿勢に調節する

43 ページの「正しい運転姿勢」をよくお読みください。

シートベルトは全員着用する

64 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」をよくお読みください。

外気取り入れ口をふさがない

186 ページの「エアコンを使用する前に」をよくお読みください。

お子さまを乗せるとき

お子さまはリヤシートに乗せる

72 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

お子さまにもシートベルトを着用させる

64 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」、92 ページの「エアバッグの注意点」をよくお読みください。

チャイルドシートは正しく取り付ける

72 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

安全なドライブのために

ドア、窓ガラスの開閉やシートなどの調節は大人が操作する

21 ページの「ドアの開閉」、37 ページの「チャイルドセーフティドアロックの使いかた」、45 ページの「アームレストの使いかた（フロントシート）」、48 ページの「アームレストの使いかた（セカンドシート）」をよくお読みください。

窓から手や顔を出させない

80 ページの「窓ガラスの開閉」をよくお読みください。

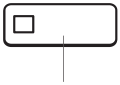
安全装備について

SRS エアバッグシステムの注意

90 ページの「SRS エアバッグシステム」をよくお読みください。

キーについて

キーナンバープレート

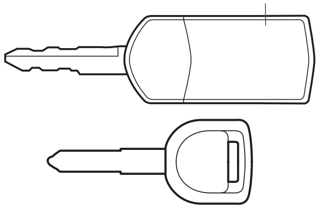


お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

知識

- **保管するときは**
  キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- **紛失したときは**
  万一、キーを紛失したときは、日産販売会社でキーナンバーをもとにキーを作ることができます。日産販売会社にご相談ください。

リモートコントロールエントリーシステム



エンジンの始動 / 停止のほかにドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用します。また、リモートコントロールエントリー機能の操作にも使用します。キーは 2 本あります。

注意

必ず守る

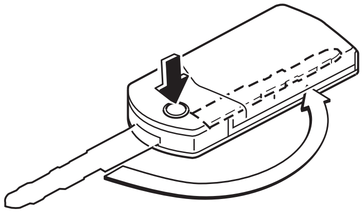
リモコンは次のようなことに注意してください。故障につながるおそれがあります。

- **強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。**
- **分解しないでください。**
- **直射日光が当たる所や、高温になる所に放置しないでください。**

知識

- **リモコンの紛失について**
  リモコンを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、日産販売会社にご相談ください。
- **リモコンを追加するときは**
  別売りのリモコンを購入される場合、お手持ちのリモコンとあわせて、同じ車両で 3 個まで使用することができます。日産販売会社にご相談ください。

リモートコントロールエントリーシステムは、キーとリモコンが一体となっています。キーを使わないときは、キー部分を格納することができます。



1. ボタンを押してキーを回します。
2. キーを収納するときは、ボタンをはなした後、カチッと音がするまでキーを押し込みます。

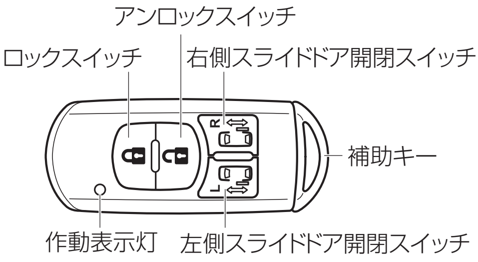
インテリジェントキー

知識

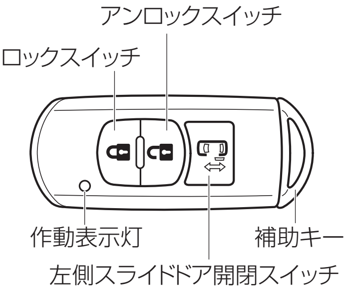
インテリジェントキーは必ず運転者が携帯してください。

インテリジェントキーは取り出すことなく、エンジンの始動 / 停止のほかに、ドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用します。また、リモートコントロールエントリー機能の操作にも使用します。インテリジェントキーは 2 本あります。

Aタイプ



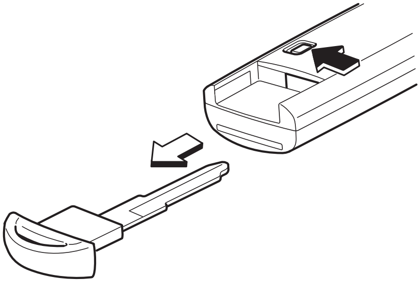
Bタイプ



補助キー

インテリジェントキーに内蔵されています。
エンジンの始動 / 停止のほかにドア、バックドアの施錠 / 解錠に使用します。

補助キーの取りはずしかた



インテリジェントキーの注意点

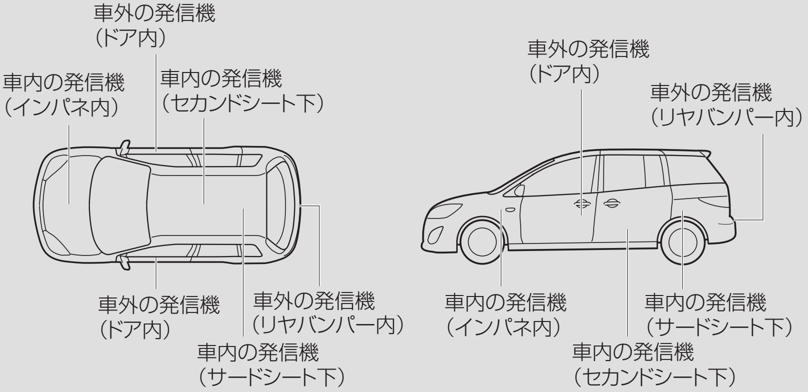
⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方へ

禁止

車内・車外の発信機から約 22cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



キー

⚠ 警告

必ず守る

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

インテリジェントキー機能を作動させないようにすることもできます。

詳しくは日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

必ず守る

インテリジェントキーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはインテリジェントキーが正常に作動しないことがあります。

- **携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき**
- **金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき**
- **パソコンなどの電化製品の近くに置いたとき**
- **純正品以外の電子機器を取り付けたとき**
- **近くに電波を発する設備があるとき**

禁止

インテリジェントキーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないで下さい。

必ず守る

インテリジェントキーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

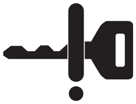
- **強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。**
- **分解しないでください。**
- **重い物を上に置かないでください。**
- **直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。**
- **磁石や金属などの磁気を帯びた製品を近づけないでください。**
- **システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。**

禁止

航空機内ではインテリジェントキー / リモコンを操作しないでください。インテリジェントキー / リモコンを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、インテリジェントキー / リモコンのスイッチが容易に押されないように注意して下さい。

知識

- **電池の寿命について**
  電池の寿命は､約 1 年程度です。メーターに KEY 表示灯（緑）が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。
  電池の消耗度合いによっては KEY 警告灯 / 表示灯が点灯や点滅しない場合もありますので、1 年を目安に電池の交換をおすすめします。



- **インテリジェントキーの紛失について**
  インテリジェントキーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、日産販売会社にご相談ください。
- **インテリジェントキーを追加するときは**
  別売りのインテリジェントキーを購入される場合、お手持ちのリモコンとあわせて、同じ車両で 6 個まで使用することができます。日産販売会社にご相談ください。

インテリジェントキー機能を使っての操作

インテリジェントキー機能はキーを取り出すことなく、ドア、バックドアの施錠 / 解錠、エンジンの始動 / 停止をすることができます。また、リモートコントロールエントリー機能により、キーのスイッチを押して、ドア、バックドアの施錠 / 解錠、電動スライドドアの開閉ができます。

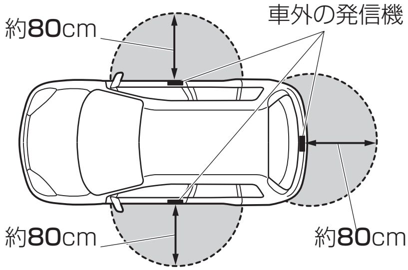
機能の作動範囲

インテリジェントキーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

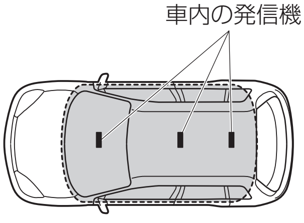
知識

- 次の場合、インテリジェントキーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
  - 電池が消耗しているとき
    電池交換の目安は 16 ページをお読みください。
  - 強い電波、ノイズのある場所
  - 窓ガラスやドアハンドル、バックドアに近づきすぎた場合
- 次のような場所にインテリジェントキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - グローブボックスや小物入れなど
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
  車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがありますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。
- 作動範囲内にインテリジェントキーを検知すると、作動表示灯がしばらくの間点滅します。

ドア、バックドアの施錠/解錠



エンジンの始動



作動範囲

リモートコントロールエントリー機能を使っての操作

リモートコントロールエントリー機能により、キーのスイッチを押して、ドア、バックドアの施錠 / 解錠、電動スライドドアの開閉ができます。

ドアの開閉

同時にすべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

⚠警告

ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。（必ず守る）

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。（必ず守る）

ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまにドアの開閉をさせない。（禁止）

手、足、首などをはさみ重大な傷害につながるおそれがあります。

半ドア警告灯が点灯したまま走行しない。（禁止）

走行中に、ドア、バックドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

（必ず守る）**強風時にドアを開閉するときは、注意して開閉してください。ドアが風にあおられると、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

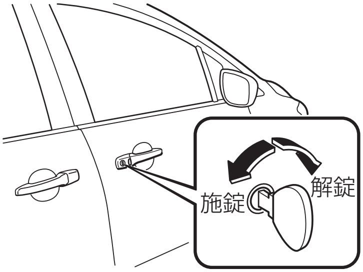
知識

車から離れるときは

必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

ドア

キー / 補助キーによる施錠 / 解錠



運転席ドアに、キーまたは補助キーを差し込み、まわすとすべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

インテリジェントキー機能による施錠 / 解錠

リクエストスイッチ

フロントドア
インテリジェントキーを携帯し、フロントドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、バックドアが施錠 / 解錠します。

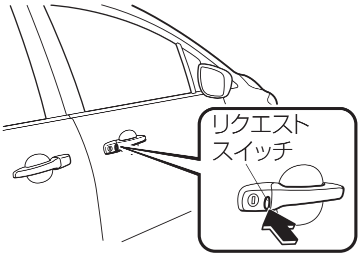
バックドア (施錠のみ)
インテリジェントキーを携帯し、バックドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、バックドアが施錠します。

知識

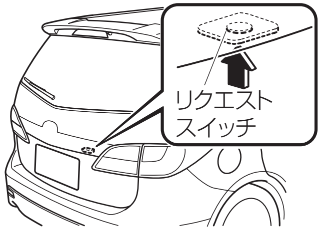
施錠について

いずれかのドアまたはバックドアが開いていると施錠できません。

フロントドア



バックドア（施錠のみ）



- 施錠するとき
  リクエストスイッチを押します。
  非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
- 解錠するとき
  リクエストスイッチを押します。
  非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、バックドアが確実に施錠されたことを確認してください。
  バックドアについては電磁式バックドアオープナーを押さずにバックドアを動かし、半ドアでないことを確認してください。
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。
  オートロック機能
  インテリジェントキーを携帯してすべてのドア、バックドアを閉めると、チャイムが 1 回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約 3 秒後に自動的に全ドア、バックドアを施錠します。（作動範囲から出ない場合でも約 30 秒後に自動的に施錠します。）ただし、以下のようなときは施錠されません。
  - 車内に別のインテリジェントキーがあるとき。
  - ドア、バックドアが完全に閉まる前に作動範囲を出たとき。

知識

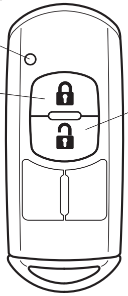
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ドアまたはバックドアを開ける。
  - 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
  - スタートノブを押し込む。
- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

リモートコントロールエントリー機能

リモートコントロールエントリー機能を使用すると、車の周囲 1m 以内ですべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロールエントリー機能は作動しません。
  - エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるとき
  - 電源ポジションが OFF 以外のとき
  - スタートノブが押しこまれているとき
  - いずれかのドアまたはバックドアが開いているとき
- リモートコントロールエントリー機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



- 施錠するとき
  ロックスイッチを押します。
  非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
- 解錠するとき
  アンロックスイッチを押します。
  非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

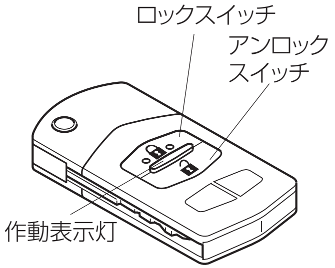
- **作動のお知らせについて**
  - スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
  - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ドアまたはバックドアを開ける。
  - 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
  - スタートノブを押し込む。

リモートコントロールエントリーシステムによる施錠 / 解錠

リモートコントロールエントリーシステムを使用すると、車の周囲 1m 以内ですべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロールエントリーシステムは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーを差し込んでいるとき
  - いずれかのドアまたはバックドアが開いているとき
- リモートコントロールエントリーシステムの作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



- 施錠するとき
  ロックスイッチを押します。
  非常点滅灯が 1 回作動します。
- 解錠するとき
  アンロックスイッチを押します。
  非常点滅灯が 2 回作動します。

ドア

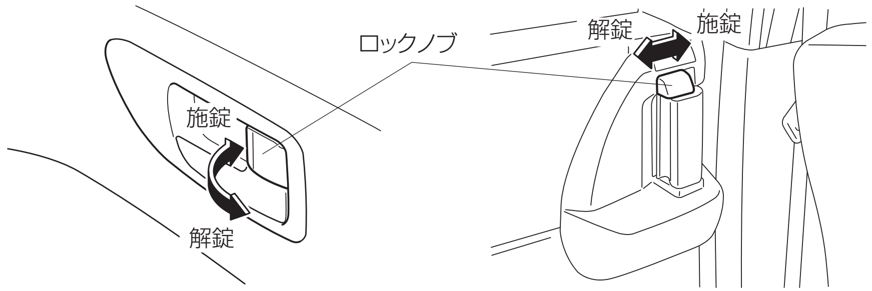
知識

- **作動のお知らせについて**
  - スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
  - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内にドアまたはバックドアを開けなかった場合、自動的に施錠されます。

ロックノブによる施錠 / 解錠

運転席ドアのロックノブを操作すると、すべてのドア、バックドアの施錠 / 解錠ができます。

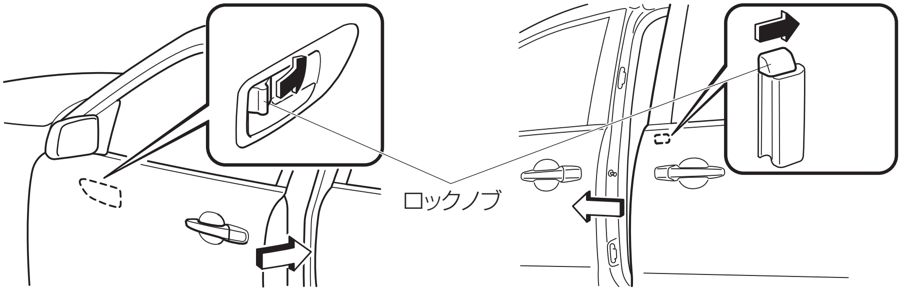
フロントドア　　リヤドア



車外から操作するとき

車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。

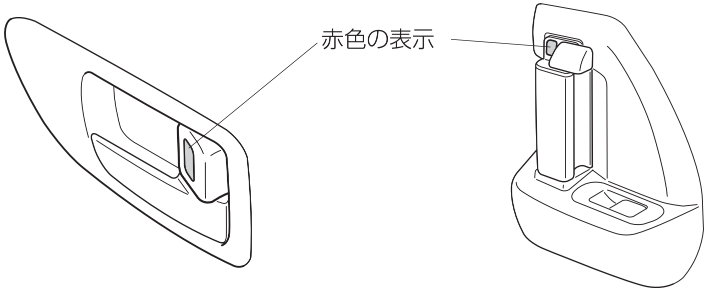
フロントドア　　リヤドア



知識

- **(インテリジェントキー装備車)**
  運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、この方法では施錠できません。
- **(リモートコントロールエントリーシステム装備車)**
  運転席ドアはエンジンスイッチにキーを差し込んでいるときは施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。
- ロックノブを解錠しているときは赤色の表示が見えます。

フロントドア　　　　　　　　　　　リヤドア



スライドドアの開閉

警告

スライドドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。（必ず守る）

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

坂道などの傾斜地でスライドドアを開けたままにしない。（禁止）

不意にドアが動き、けがをするおそれがあります。

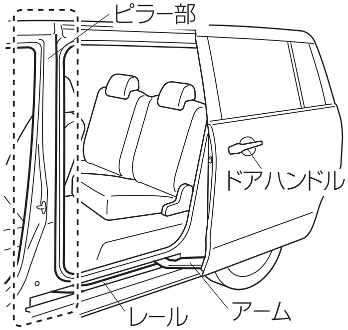
ドア

⚠ 注意

スライドドアを開閉するときは、次のことを守ってください。ドアで手足や顔をはさむなど、けがをするおそれがあります。

- ドアハンドルを使用してください。
- 手足や顔を出さないでください。
- スライドドア後方の安全を十分確認してください。
- スライドドアのレールやアームおよびピラー付近には、手足をかけないでください。

スライドドアのレール、アームおよびピラー付近に、石などの異物が詰まっていないことを確認してください。石などの異物が詰まると故障の原因になるおそれがあります。

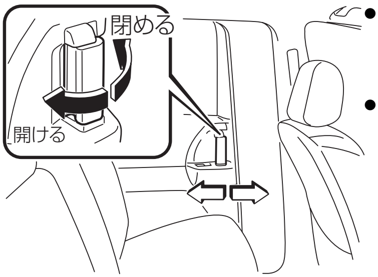


知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

スライドドアを手動で開閉する

車内からの操作

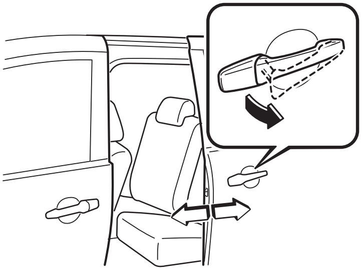


- 開けるとき
  ドアハンドルを車の後方に引き、そのままドアをスライドさせます。
- 閉めるとき
  ドアハンドルを車の前方に引き、そのままドアをスライドさせます。

知識

フューエルリッドが開いているときは、右側スライドドアは全開しません。フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。

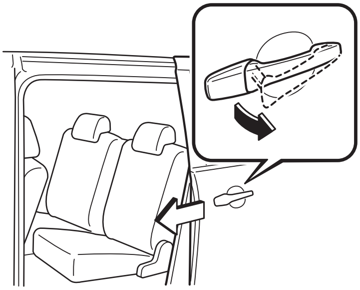
車外からの操作



- 開けるとき
  ドアハンドルを引き、ドアを車の後方にスライドさせます。
- 閉めるとき
  ドアハンドルを引き、ドアを車の前方にスライドさせます。

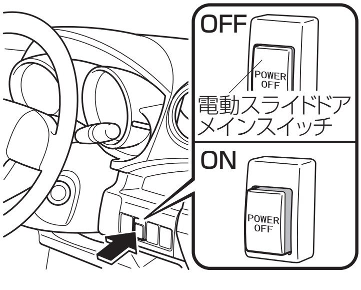
知識

全開のスライドドアを車外から閉めるとき、車外のドアハンドルを手前に引いてロックを解除してからドアを車両前方にスライドさせてください。



スライドドアを電動で開閉する グレード/仕様別装備

電動スライドドアは、スイッチ、インテリジェントキー / リモコンまたはドアハンドルの操作により電動開閉します。



電動スライドドアは、電動スライドドアメインスイッチで電源を ON/OFF できます。

スイッチ位置	作動状態
ON	スライドドアを電動で開閉できます。
OFF	スライドドアを電動で開閉できません。手動で開閉できます。

警告

必ず守る

スライドドアを開閉するときは、車外および車内のスライドドア付近の安全を必ず確認する。

確認を怠ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止

乗車中にスライドドアにもたれかからない。

スライドドアを作動させたとき、車外へ転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

必ず守る

スライドドアを全閉にした状態で車を発進させる。

全閉していない状態で走行すると、人や物が車外に転落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。（全閉していない状態で走行するとブザーが連続して鳴ります。）

禁止

お子さまにスライドドア開閉スイッチやインテリジェントキー / リモコンの操作をさせない。

お子さまが誤って操作すると、不意にドアが閉まりお子さまや同乗者の手や頭をはさんだり、不意にドアが開きお子さまや同乗者が車外に転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止

スライドドアの窓ガラスを開けた状態で開閉するときは、手や頭を出さない。

万一、手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

下り坂で乗り降りするときは、スライドドアが全開になっていることを確認する。

ドアが完全に開いていない状態で乗り降りすると、不意にドアが動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

スライドドア付近で作業するときは、電動スライドドアメインスイッチを OFF にする。

誤って開閉スイッチに触れたとき、スライドドアが動き手や頭をはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 電動開閉中はドアに無理な力をかけて開閉しないでください。無理な力をかけると、自動的にドアが反対方向に動くことがあります。
- 坂道などの傾斜地に停車しているときは、電動開閉できないことがあります。電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にして手動で開閉してください。
- 電動スライドドアに異常があるときはブザーが約 3.5 秒間鳴ります。
  この場合システムの故障が考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。
- 電動スライドドアが故障したときや手動で開閉したいときは、電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にしてください。手動で操作できます。

ドア

知識

- 電動開閉中に電動スライドドアメインスイッチを OFF の位置にすると、ブザーが鳴りスライドドアの開閉作動を途中で止めることができます。もう一度電動スライドドアメインスイッチを押して ON の位置にすると、電動で開閉できます。
- スライドドアが半開の状態で手動操作に切り替えたときは、スライドドアが固定されないため、スライドドアの動きに注意してください。
- 坂道などの傾斜地でスライドドアを半開の状態で停止させるとスライドドアが固定されます。約 30 分後、スライドドアの固定が解除され、徐々に傾斜方向へ動きます。 スライドドアの動きが止まると、運転席スライドドアスイッチまたは車外のドアハンドル、インテリジェントキー / リモコンで操作することができます。
- 電動スライドドアメインスイッチが ON の位置でもスライドドアが施錠されているときは、電動スライドドアは作動しません。
- チャイルドセーフティドアロックレバーを施錠側にしているときでも、運転席スライドドアスイッチ、インテリジェントキー / リモコン、車外のドアハンドルによりスライドドアを開けることができます。
  → 37 ページ「チャイルドセーフティドアロックの使いかた」
- フューエルリッドが開いているときは、右側スライドドアは全開しません。フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。
- 車両整備などでバッテリーの接続を断つときは、スライドドアを全閉してから行なってください。
  スライドドアが開いた状態でバッテリーを接続した場合、スライドドアが自動で開閉できなくなります。スライドドアを一度手動で全閉すると電動スライドドア機能が復帰します。
- 電動開閉中にバッテリーの接続を断った場合、スライドドアの開閉はできません。

電動スライドドアの開閉

次の作動開始条件をすべて満たしているとき、電動でスライドドアを開く操作ができます。

作動開始条件

(1) 電動スライドドアメインスイッチが ON の位置のとき。
(2) スライドドアが解錠されているとき。
(3) 電源ポジションが ON のときは車速が約 3km/h 以下で、さらに次のいずれかの条件を満たしているとき。
- エンジンが停止していること。
- エンジン回転中は、セレクトレバーが P の位置にあるか、ブレーキペダルを踏んでいること。

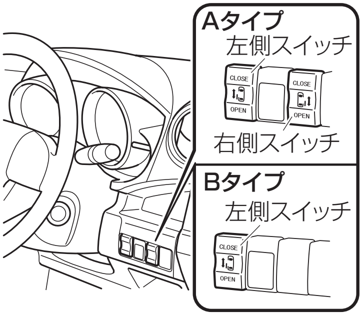
電動でスライドドアを閉めるときは、(1) の条件を満たしていれば (2) (3) の条件に関係なく、操作ができます。

知識

電動でスライドドアを開いているときに、(1) または (3) の条件が満たされなくなったときは、ブザーが鳴りスライドドアが停止します。

いずれも (1) (3) の条件を満たすことで再びスイッチによる操作ができます。

運転席からの操作

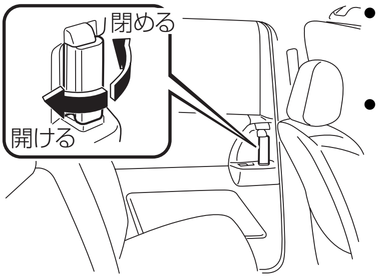


左側 (右側) スイッチを操作すると、左側 (右側) スライドドアが開閉します。
各スイッチの OPEN (CLOSE) を押すと、ブザーが鳴った後、ドアが自動で全開 (全閉) します。

知識

- ブザーが鳴っているときに、もう一度スイッチ操作をすると、スライドドアは作動しません。
- スライドドアが開閉作動中にスイッチ操作をすると、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

車内ドアハンドルからの操作

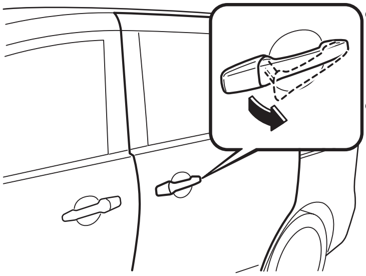


- 開けるとき
  ドアハンドルを車の後方に引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。
- 閉めるとき
  ドアハンドルを車の前方に引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。

知識

スライドドアが開閉作動中にドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

車外ドアハンドルからの操作



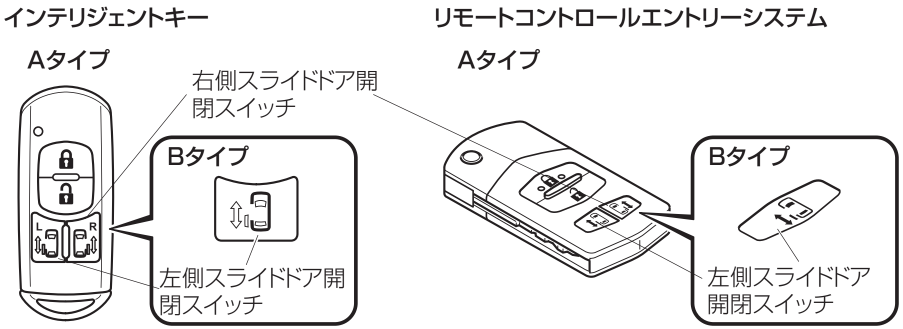
- 開けるとき
  スライドドアが全閉状態のとき、ドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。
- 閉めるとき
  スライドドアが全開状態のとき、ドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全閉します。

知識

- スライドドアが開閉作動中にドアハンドルを引くと、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。
- スライドドアが途中で停止した状態でドアハンドルを引くと、自動で全開します。

リモートコントロールエントリー機能による操作

スライドドアが全閉 (全開) のとき、各スライドドア開閉スイッチを押すと、ブザーが鳴った後ドアが自動で全開 (全閉) します。



知識

- スライドドアが途中で停止した状態で、スライドドア開閉スイッチを押すと、自動で全開します。
- スライドドアの開閉作動中にスライドドア開閉スイッチを押すと、ブザーが鳴り、スライドドアが停止します。

はさみ込み防止機構

スライドドアの電動開閉中に、人や異物などにより異常を感知すると、その位置から自動的にドアは反対方向に動きます。

- 開方向へ作動しているとき
  スライドドアの開口幅が約 15cm 以上のときは、異常を感知するとブザーが鳴り、スライドドアが約 10cm 閉方向に動き停止します。
  スライドドアの開口幅が約 15cm 未満のときは、スライドドアが全閉します。
- 閉方向へ作動しているとき
  異常を感知するとブザーが鳴り、スライドドアが全開します。

ドア

⚠ 警告

必ず守る

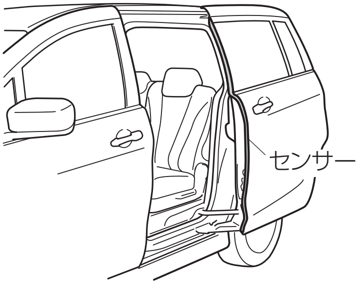
ドアを閉める前に必ずドア付近に人や障害物がないことを確認する。

はさみ込み防止機構は、万一のときに人や障害物を感知してドアにはさまれることを防ぐためのものです。はさまれるものの形状や、はさまれかたによっては検知できない場合があります。特にお子さまには十分気をつけてください。また、はさみ込み防止機構を故意に作動させるために、手などをはさんだりしないでください。万一、指などをはさむとけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

禁　止

電動スライドドアの前端にセンサーがついています。センサーを鋭利なもので傷つけないようにしてください。



知識

- 半ドアの位置から全閉までの間では、はさみ込み防止機構は作動しません。
- 開方向のはさみ込みと閉方向のはさみ込みの繰り返しを数回感知した場合、スライドドアは停止します。
- センサーが故障した場合は、スライドドアを電動で閉めている間ブザーが鳴り続けます。
  日産販売会社で点検を受けてください。

スライドドアイージークロージャーについて グレード/仕様別装備

イージークロージャーは、スライドドアが閉まるのを補助する装置です。ドアを半ドアの位置まで閉めると、自動的に閉まります。

⚠ 注意

必ず守る

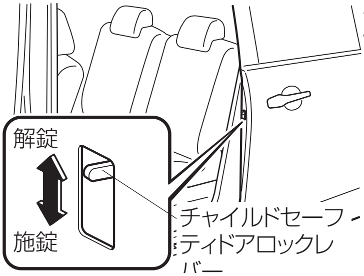
ドアを閉めるときは、必ずドアハンドルを持ってください。半ドアの位置まで閉めると自動的にドアが閉まるため、指などをはさむとけがをするおそれがあります。

知識

イージークロージャー作動中に、車内または車外のドアハンドルを引くと、作動を止めることができます。

チャイルドセーフティドアロックの使いかた

お子さまをセカンドシート、サードシートに乗せているとき、いたずらなどで不意にドアが開くことを防止できます。



チャイルドセーフティドアロックレバーを施錠側にしてドアを閉めます。

電動スライドドア装備車

ロックノブの位置に関係なく、車内のドアハンドルによりスライドドアを開けることができません。
ドアを開けるときは、ロックノブを解錠側にして、次のいずれかの操作を行ってください。

- 車外のドアハンドルを引く。
- インテリジェントキー、リモコンのスライドドア開閉スイッチを押す。
- 運転席のスライドドアスイッチの OPEN を押す。
  → 30 ページ「スライドドアを電動で開閉する グレード/仕様別装備 」

ドア

電動スライドドア非装備車

ロックノブの位置に関係なく、車内からはスライドドアを開けることができません。
ドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠側にし、車外のドアハンドルを引いてください。

バックドアの開閉

⚠警告

禁止

荷室内に人を乗せない。

急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

バックドアは必ず閉めてから走行する。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

必ず守る

荷物を積むときはそのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定する。

走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

⚠注意

必ず守る

バックドアを開ける前に、バックドアの雪や氷などの付着物を取り除いてください。バックドアを開けたときに、雪や氷などの重みでバックドアが閉まり、けがをするおそれがあります。

必ず守る

強風時にバックドアを開閉するときは、注意して開閉してください。バックドアが風にあおられると、急に閉まり、けがをするおそれがあります。

必ず守る

バックドアを開けるときは全開にして、バックドアが止まることを確認してください。バックドアを途中で止めると、振動や突風などでバックドアが閉まり、けがをするおそれがあります。

バックドア

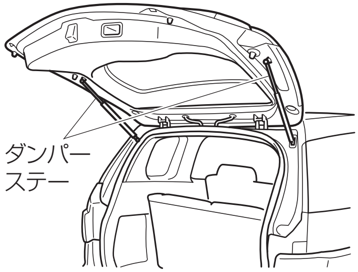
⚠ 注意

必ず守る

荷室の荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。

禁止

バックドアのダンパーステーに手をかけるなどして過度の力を加えないでください。ダンパーステーが曲がり、バックドアの作動に影響をおよぼすおそれがあります。



バックドアの施錠 / 解錠はドアと連動しています。

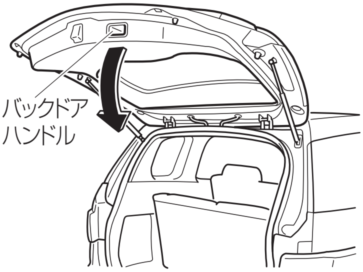
バックドアを開けるとき

ドアを解錠し、電磁式バックドアオープナーを押してバックドアを持ち上げます。
インテリジェントキー装備車はインテリジェントキーを携帯して電磁式バックドアオープナーを押すと、施錠されている状態でもバックドアを開けることができます。
電源ポジションが ON のときは、車両が停止し、セレクトレバーが P の位置にあるときのみ、バックドアを開けることができます。

知識

- ドア、バックドアが施錠されている状態から、電磁式バックドアオープナーを押してバックドアを開けるときは、すぐに解錠されないことがあります。
- 電磁式バックドアオープナーを押して、バックドアを開けずに一定の時間が経過するとバックドアが少し浮いた状態のままバックドアを開けることができなくなります。
  - **バックドアを開ける場合**
    もう一度、電磁式バックドアオープナーを押して、バックドアを開けてください。
  - **バックドアを閉める場合**
    一度、電磁式バックドアオープナーを押してバックドアを開け、2 秒以上待ってから閉めてください。
- ドアが施錠されている状態から、車内にインテリジェントキーを入れたままバックドアを閉めると、バックドアは閉まりますが、ロックされません。電磁式バックドアオープナーを押すことにより、バックドアを開けることができます。ただし、この操作をしてもバックドアを開けることができないときは、バックドアを押さえつけるようにして完全に閉めてから電磁式バックドアオープナーを押して開けてください。
- 電磁式バックドアオープナーを押してから 2 ～ 3 秒後、ラッチの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- バッテリーあがりや電気系統の故障などで、バックドアの解錠ができず開けられなくなったときは応急処置を行なうと、バックドアを開けることができます。
  → 303 ページ「バックドアが開けられなくなったとき」

バックドアを閉めるとき



バックドアをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。バックドアハンドルを使用すると便利です。

バックドア

⚠ 警告

必ず守る

バックドアを閉めたあとは、確実にロックされていることを確認する。

走行中にバックドアが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

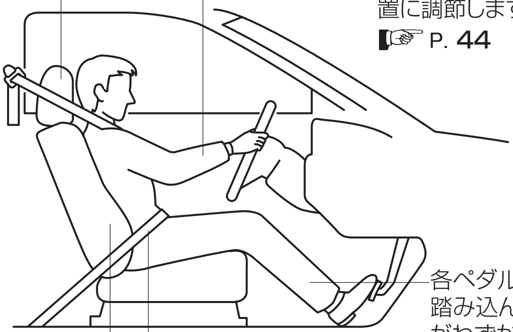
バックドアを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調整してください。

ヘッドレストの中央が耳の高さにくる位置に調節します。
☞ P. 55

ひじがわずかに曲がり、ハンドル操作が楽にできる位置に調節します。
☞ P. 44



各ペダルを踏み込んだときに、ひざがわずかに曲がる位置に調節します。
☞ P. 44

シートに深く腰かけたときに、背もたれと背中が離れない位置に調節します。
☞ P. 44

シートベルトが正しく着用できる位置に調節します。
☞ P. 44

⚠ 警告

シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。

必ず守る

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。

禁止

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

背もたれは必要以上に倒さない。

禁止

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートの下に物を置かない。

禁止

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に
運転するときに
快適装備の使いかた
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

シート

⚠ 注意

> 必ず守る
> **シートを操作する際は、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。**

フロントシートの調節

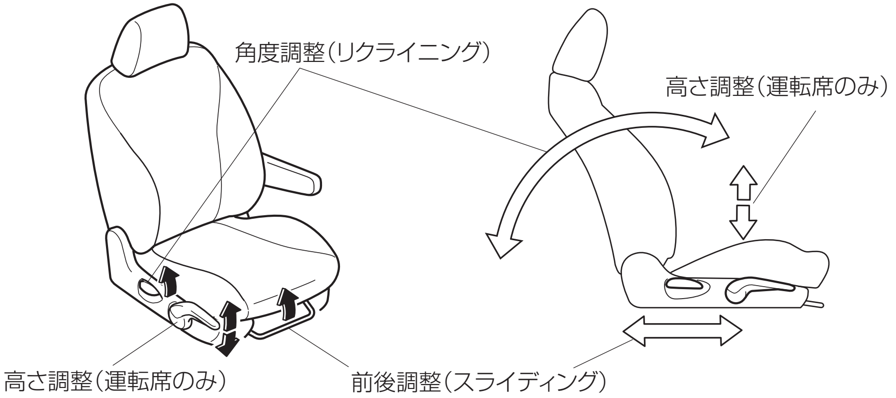
⚠ 警告

> 必ず守る
> **操作後は確実にロックされていることを確認する。**
> **走行中シートが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

⚠ 注意

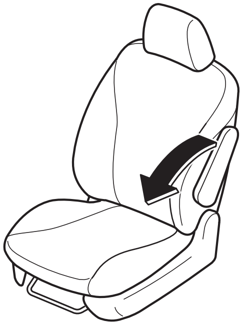
> 必ず守る
> **後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。**

フロントシートの使いかた



フロントシートの操作

アームレストの使いかた



⚠ **警告**

必ず守る

シートベルトはアームレストの下を通して使用する。

上に通していると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁　止

アームレストの取り付け部周辺に、手や指を置かない。

シートとアームレストの間に手や指がはさまり、けがをするおそれがあります。

セカンドシートの調節

⚠警告

操作後はシートを軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認する。

必ず守る

走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

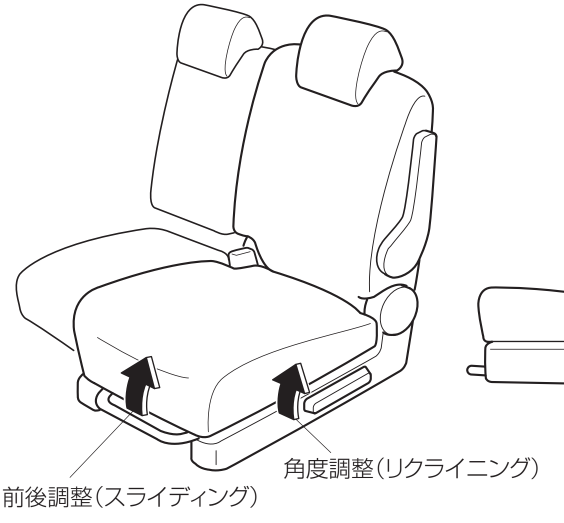
必ず守る

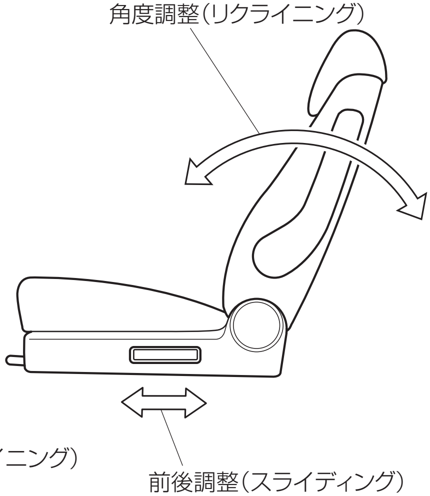
背もたれを操作するときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、背もたれが急に動き、けがをするおそれがあります。

必ず守る

走行するときは、セカンドシートの背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときは、シートが固定されていないため、シートが不意に動いて、手や足などをはさむおそれがあります。

セカンドシートの使いかた





セカンドシートの操作

⚠ 警告

禁止

倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて走行しない。

シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定する。

固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

操作後はシートを軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認する。

走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

背もたれを操作するときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、背もたれが急に動き、けがをするおそれがあります。

必ず守る

走行するときは、セカンドシートの背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときは、シートが固定されていないため、シートが不意に動いて、手や足などをはさむおそれがあります。

シート

アームレストの使いかた

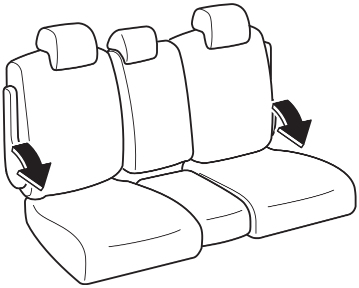
⚠ 警告

アームレストの取り付け部周辺に手や指を置かない。

禁止

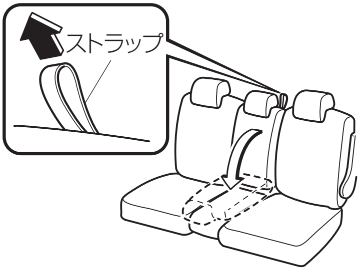
シートとアームレストの間に手や指がはさまり、けがをするおそれがあります。

外側



内側（大型センターアームレスト）

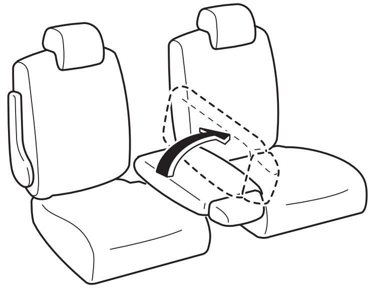
フレキシブルシートの背もたれを前方に倒すと、アームレストとして使用することができます。



使用するときは、ストラップを引いたまま前方に倒します。
フレキシブルシートを使用するときは、アームレストを引き起こします。

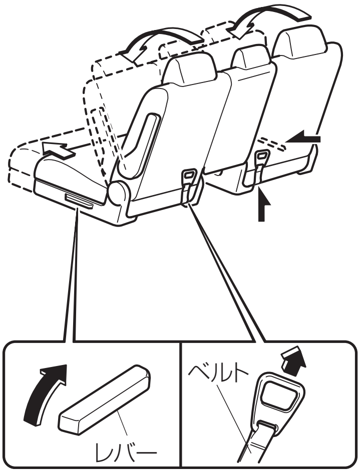
知識

- 大型センターアームレストを使用しているときは、フレキシブルシート用シートクッションまたは収納ボックスの取り出しや収納ができません。
- 大型センターアームレストを使用しないときは、図のように起こすことができます。



サードシートへの乗り降り（ワンタッチウォークイン機構）

セカンドシートを前方へスライドさせると、サードシートへの乗り降りが楽にできます。



- 乗り降りするとき

シート横側のレバーを引き上げるかまたはシート後ろ側のベルトを引くと、背もたれが前に倒れてシートを前方へスライドさせることができます。

- 乗り降りした後は

シートを後方へスライドさせた後､背もたれを起こし､シートをロックさせます。
もとの位置にもどした後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

注意

必ず守る

乗り降りした後は、必ず背もたれを起こしてください。背もたれが前に倒れているときはシートが固定されていないため、シートが不意に動いて、けがをするおそれがあります。

シート

フレキシブルシートの使いかた

セカンドシート助手席側のシートクッションの下に、フレキシブルシート用シートクッションを格納することができます。

⚠ 警告

必ず守る

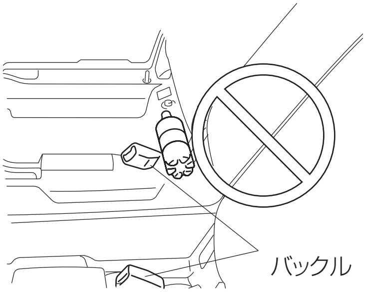
フレキシブルシートを使用するときは、左右席の位置を合わせる。

左右の位置を合わせずに使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

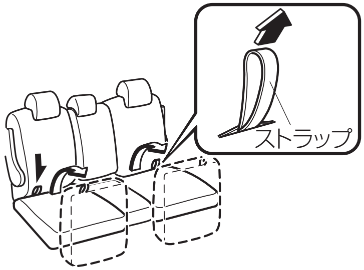
⚠ 注意

必ず守る

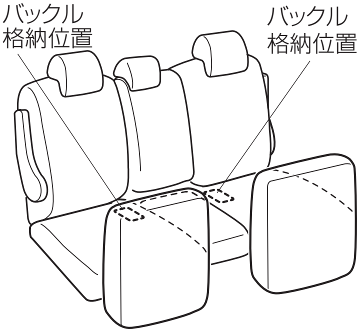
シートクッションを引き上げた状態からもとの位置にもどすときは、バックルと背もたれの間に物をはさんでいないことを確認し、バックルを後方に動かしながらシートクッションをもとの位置にもどしてください。バックルと背もたれの間に物をはさんだままシートクッションをもとの位置にもどし、その状態でシートに座ったり、シートクッションに荷物を置いたりするとバックルが破損するおそれがあります。



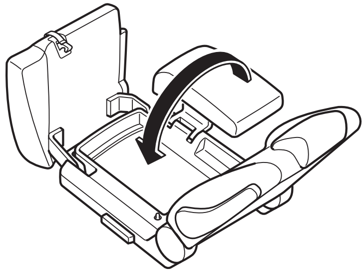
格納するとき



1. フレキシブルシート用シートベルトがつながっているときは、シートベルトを格納します。
   シートベルトの格納については、70 ページをお読みください。
2. ストラップを引き、シートクッションを前方に引き上げます。



3. フレキシブルシート用シートベルトバックルを図の位置に格納します。



4. フレキシブルシート用シートクッションを格納します。
5. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。

使用するとき

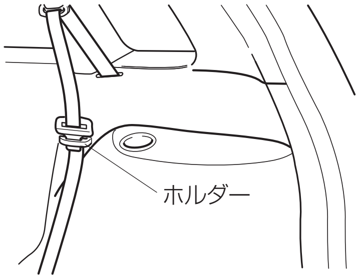
1. ストラップを引き、シートクッションを前方に引き上げます。
2. 収納ボックスや大型センターアームレストを使用しているときは格納します。
   → 48 ページ「アームレストの使いかた」
   → 207 ページ「収納ボックス」
3. フレキシブルシート用シートクッションとフレキシブルシート用のバックルを取り出します。
4. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。

5. フレキシブルシート用シートベルトのプレートを取り出し、バックルに差し込みます。
→ 70 ページ「フレキシブルシート用シートベルト (セカンドシート)」

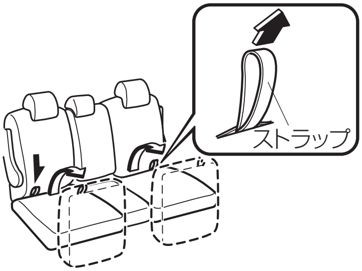
セカンドシートの折りたたみかた (ダブルフォールディング)

セカンドシートのクッションを起こして、セカンドシートの背もたれを倒すと、フラットな荷室を作ることができます。

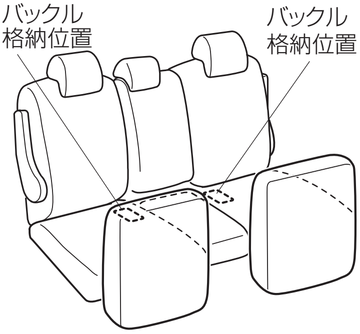
背もたれを折りたたむとき



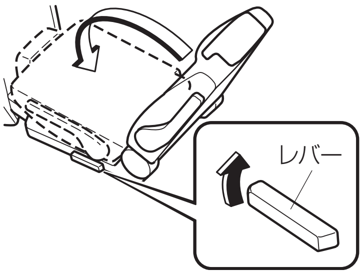
1. セカンドシートのシートベルトをホルダーに固定します。
2. セカンドシートのヘッドレストを格納します。
→ 55 ページ「ヘッドレストの使いかた」



3. フレキシブルシート用シートベルトがつながっているときは、シートベルトを格納します。
シートベルトの格納については、70 ページをお読みください。
4. ストラップを引き、シートクッションを前方に引き上げます。



5. フレキシブルシート用シートベルトバックルを図の位置に格納します。
6. 大型センターアームレスト、セカンドシートフレキシブルシートまたは収納ボックスを使用しているときは格納します。
→ 48 ページ「アームレストの使いかた」
→ 50 ページ「フレキシブルシートの使いかた」
→ 207 ページ「収納ボックス」

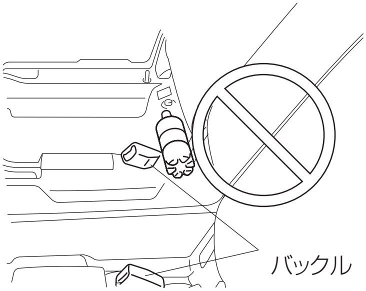


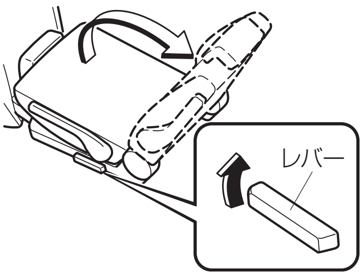
7. レバーを引いて背もたれを前に倒します。

もとにもどすとき

⚠ 注意

シートクッションを引き上げた状態からもとの位置にもどすときは、バックルと背もたれの間に物をはさんでいないことを確認し、バックルを後方に動かしながらシートクッションをもとの位置にもどしてください。バックルと背もたれの間に物をはさんだままシートクッションをもとの位置にもどし、その状態でシートに座ったり、シートクッションに荷物を置いたりするとバックルが破損するおそれがあります。





1. レバーを引いたまま背もたれをもとの位置にもどします。
2. フレキシブルシート用シートクッションとフレキシブルシート用のバックルを取り出します。
3. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。
4. フレキシブルシート用シートベルトのプレートを取り出し、バックルに差し込みます。

   → 70 ページ「フレキシブルシート用シートベルト (セカンドシート)」

シート

サードシートの操作

⚠ **警告**

> 必ず守る
> **操作後はシートを軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認する。**
> **走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

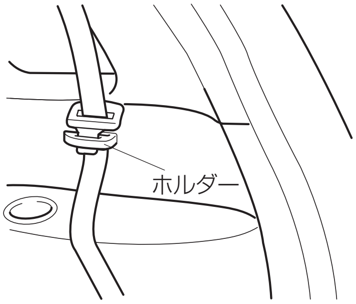
荷室を作るとき

サードシートの背もたれを倒すと荷室として広げることができます。

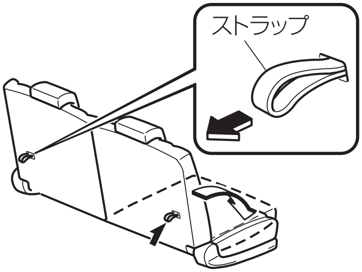
⚠ **警告**

> 禁止
> **倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて、走行しない。**
> **シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。**
>
> 必ず守る
> **背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定してする。**
> **固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

背もたれを折りたたむとき



1. セカンドシートをいちばん前にスライドさせます。
   → 46 ページ「セカンドシートの使いかた」
2. サードシートのシートベルトをホルダーに固定します。
3. サードシートのヘッドレストを格納します。
   → 55 ページ「ヘッドレストの使いかた」



4. ストラップを引いて背もたれを前に倒します。
5. 背もたれを下方に押しつけロックさせます。

もとにもどすとき

1. ストラップを引いて背もたれを後ろに引き上げます。
2. 背もたれを後ろに押しつけロックさせます。

ヘッドレストの使いかた

すべてのシートには、ヘッドレストが装備されています。
ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他のけがから乗員を保護します。

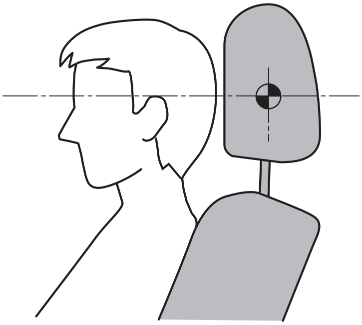
ヘッドレストを調節するとき

⚠ **警告**

禁止

高さを調整しないままで走行しない。

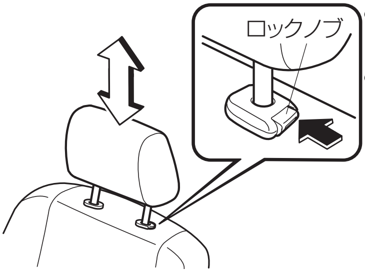
高さを調整しないまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、全ての後席ヘッドレストは引き上げた状態で使用してください。



ヘッドレストの中央が、耳の上部と同じ高さになるように調整してください。

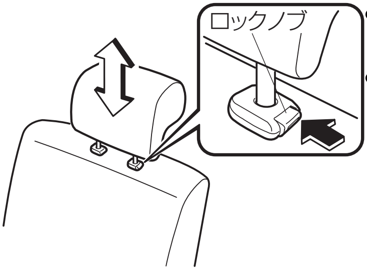
シート

フロントシート



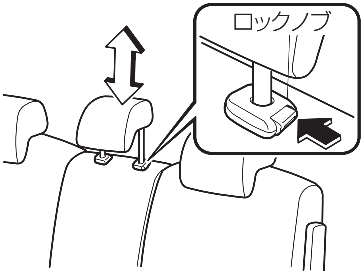
- 高くするとき
  そのまま引き上げます。
- 低くするとき
  ロックノブを押したまま下げます。

セカンドシート / サードシート



- 使用するとき
  ロック位置まで引き上げます。
- 格納するとき
  ロックノブを押したまま下げます。

セカンドシートフレキシブルシート



- 使用するとき
  ロック位置まで引き上げます。
- 格納するとき
  ロックノブを押したまま下げます。

ヘッドレストを脱着するとき

- ヘッドレストを取りはずすとき
  ロックノブを押しながら引き上げます。
- ヘッドレストを取り付けるとき
  ロックノブを押しながら差し込みます。

⚠警告

禁止

ヘッドレストをはずした状態で走行しない。

取りはずした状態のまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

取り付けた後は、ヘッドレストが抜け出さないことを確認するため、持ち上げる。

ヘッドレストが抜け出すと万一の場合、効果を発揮できず、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

ヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストの前後の向きを間違えないようにしてください。前後の向きをまちがえて取り付けると、衝突時などにヘッドレストがはずれ、けがをするおそれがあります。

必ず守る

フロントシート・リヤシートそれぞれのヘッドレストは、各シート専用です。他のシートのヘッドレストと入れ替えないでください。入れ替えると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。

ハンドルの調節

⚠ 警告

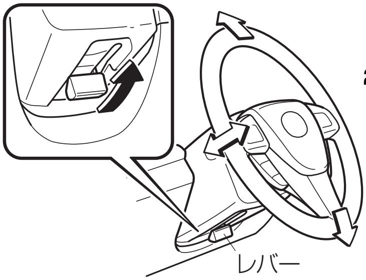
調節は必ず車両を停止した状態で行なう。

走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実に固定されていることを確認する。

走行中ハンドルが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



1. レバーを持ち上げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
2. 調節後は、レバーを下げて固定します。

ドアミラーの操作

⚠ 警告

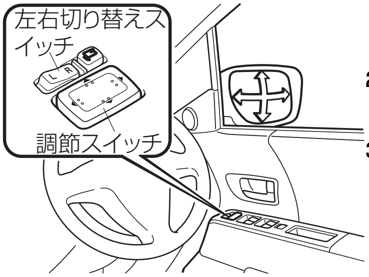
調節は走行前に行なう。

必ず守る

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアミラーの角度調節

電源ポジションが ACC または ON のとき調節ができます。



1. 左右切り替えスイッチの右側（運転席側）または左側（助手席側）を押します。
2. 調節スイッチを押して、後方が十分確認できるように調節します。
3. ミラーの調節後は、左右切り替えスイッチを中立位置にもどします。

ドアミラーを格納するとき

⚠ 注意

禁止

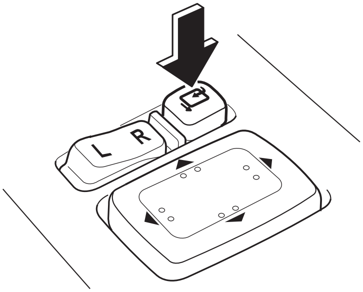
ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。

⚠ 注意

必ず守る

電動格納ミラーはスイッチで操作してください。手動で操作すると、ミラーが固定されず後方確認ができなくなることがあります。

ドアミラー



電源ポジションが ACC または ON のときに格納できます。
格納スイッチを押すと格納されます。
もう一度押すともとにもどります。

キー OFF 後作動機構

ドアミラーは、電源ポジションを ON から OFF にした後でも、約 40 秒間は角度調節や格納することができます。

ルームミラーの操作

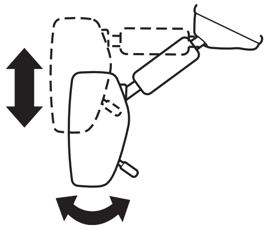
警告

調節は走行前に行なう。

必ず守る

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

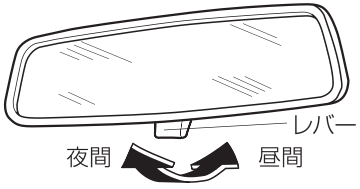
ルームミラーの角度 / 高さ調節



ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調整します。

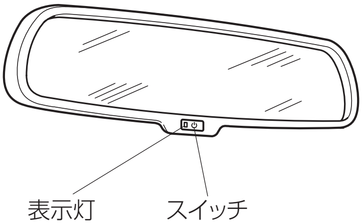
後続車のヘッドランプがまぶしいとき

マニュアルタイプ



通常はレバーを押した状態にします。
夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引いて切り替えます。

オートタイプ



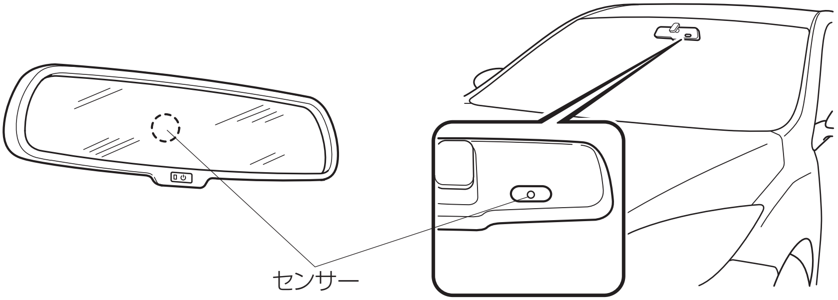
電源ポジションが ON のとき、後続車からのヘッドランプの光を自動で軽減します。
スイッチを押す毎に ON、OFF が切り替わります。
スイッチが ON のときは表示灯が点灯します。

ルームミラー

知識

センサーについて

センサーをガラスクリーナーでふいたり、ステッカーやカバーなどで覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



電源ポジションが ON のときセレクトレバーを R にいれると防眩機能は停止します。

シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR 付 3 点式シートベルト (プリテンショナー & ロードリミッター付)
セカンドシート (3 座席)	ELR 付 3 点式シートベルト
サードシート (2 座席)	

⚠ 警告

必ず守る

シートベルトは正しく着用する。

正しく着用していないと、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- **プリテンショナー機構について**
  - 車両前方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
  - プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがありますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物 (カス) が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- **事故などにあったときは**
  プリテンショナー付きシートベルトおよびロードリミッター付きシートベルトは、一度作動すると再使用できません。必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

ELR (緊急時固定) 機構

3 点式シートベルトには ELR (緊急時固定) 機構が装備されています。
シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

プリテンショナー機構

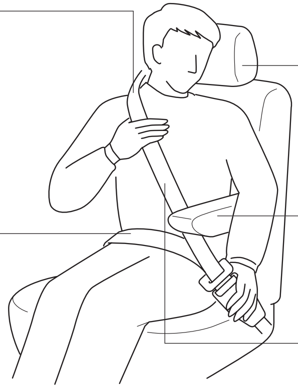
フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。
車両前方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

ロードリミッター機構

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。
シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

シートベルトの正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



⚠ 警告

着用について

必ず守る

シートベルトは全員が着用する。

着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

シートベルトは正しく着用する。

急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用する。

シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。

禁　止

1 つのシートベルトを同時に 2 人以上で使用しない。

2 人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告

禁止

シートベルトの改造や交換をしない。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけない。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

ベルトがねじれた状態で使用しない。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な事故につながるおそれがあります。

禁止

肩ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕の下に通して着用しない。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

背もたれは必要以上に倒さない。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用する。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰部ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。

シートベルト

⚠警告

禁止

シートベルトのバックルの中に異物を入れない。

異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

必ず守る

お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させる。

お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りの乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用する。

乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスについて

禁止

シートベルトを分解しない。

分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがあるので、必ず日産販売会社で点検を受ける。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告

必ず守る

プリテンショナー機構付きベルトが装備された車を廃車される場合は、必ず日産販売会社に相談する。

プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

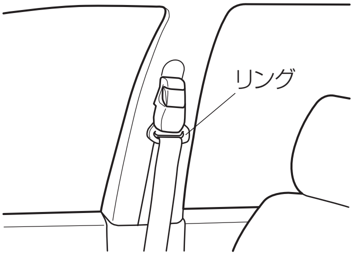
プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



3 点式シートベルト

シートベルト着用忘れチャイム

運転席 / 助手席シートベルトを着用していないまま、車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。（鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。）
シートベルトを着用すると鳴り止みます。

シートベルトを着用するとき

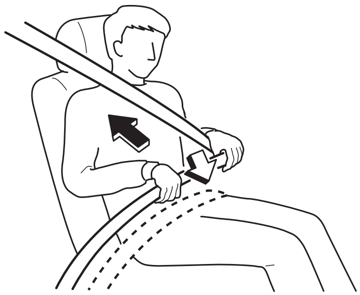
1. プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。
2. ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

知識

ベルトがロックして引き出せないときは

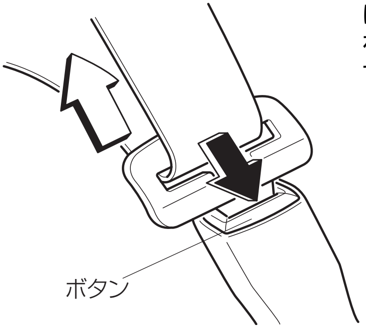
一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

3. ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



4. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。

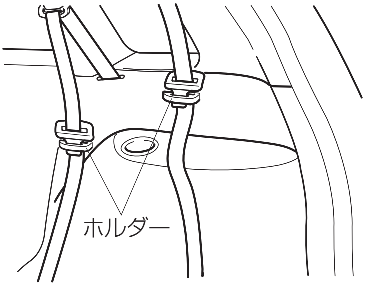
シートベルトをはずすとき



はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

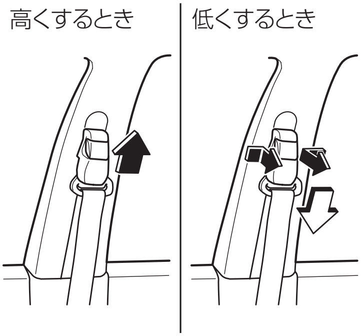
知識

セカンドシート外側、サードシートのシートベルトを使用しないときは、シートベルトをホルダーに固定することができます。



シートベルトの高さ調整

フロントシートベルトにはシートベルトアンカーアジャスターがついています。
シートベルトが首にあたったり、肩からはずれてしまうときには、ベルトの高さを調節してください。



1. 高くするときは、そのまま上に動かします。
   低くするときはボタンを引いたまま下げます。
2. 調節したあとは、シートベルトアンカーアジャスターを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。

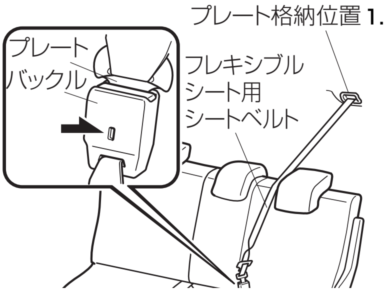
フレキシブルシート用シートベルト（セカンドシート）

セカンドシートの背もたれを倒すときは、セカンドシートのフレキシブルシート用シートベルトをはずします。

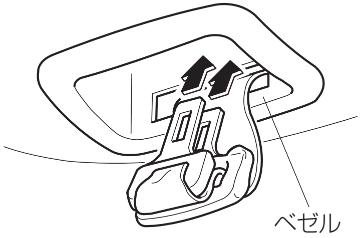
⚠ 注意

> 必ず守る
> **シートベルトをはずした状態で背もたれを倒してください。シートベルトをはずさずに背もたれを倒すと、背もたれの表皮が破損するおそれがあります。**

はずすとき



1. バックルの穴にキーなどを差し込み、プレートをはずします。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと格納位置まで巻き取らせます。



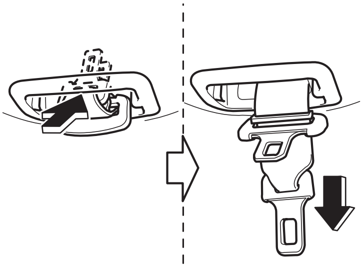
2. プレートをベゼルに差し込みます。

⚠注意

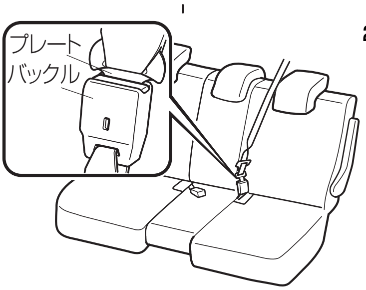
シートベルトは確実に格納してください。確実に格納されていないと、走行中にプレートが人に当たるなど、けがをするおそれがあります。

必ず守る

もとにもどすとき



1. ベゼルとプレートのすきまに指を入れ、プレートを押しながら下にずらします。プレートを持ってベルトをゆっくりと引き出します。



2. プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

お子さまの安全

お子さま専用シートについて

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。
車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプの 2 種類があります。
シートベルト固定タイプの乳児用チャイルドシート、チャイルドシートは、リヤシートのシートベルトを使用してシートに固定します。
また ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートは、セカンドシート左右席に装備されているロアアンカーとトップテザーアンカーで固定します。
お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

⚠ 警告

必ず守る

お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

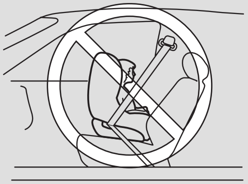
お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従う。

正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告

助手席には絶対に乳児用チャイルドシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。
助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。



警告ラベル

知識

ISO は International Organization for Standardization（国際標準化機構）の略です。

お子さま専用シートの種類

UNECE 44 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。

知識

- UNECE は United Nations Economic Commission for Europe（国連欧州経済委員会）の略です。
- UNECE 44 法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重
0	10kg まで
0＋	13kg まで
I	9 ～ 18kg

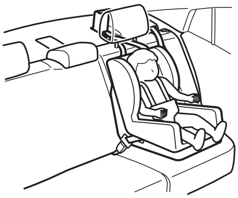
お子さまの安全

グループ	体重
II	15 ～ 25kg
III	22 ～ 36kg

本書では、シートベルト固定タイプの一般的なお子さま専用シート 3 種類について説明します。
次のイラストは取り付け例です。取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

乳児用チャイルドシート
UNECE 44法規の
グループ0、0+に相当

チャイルドシート
UNECE 44法規の
グループIに相当



ジュニアシート
UNECE 44法規の
グループII、IIIに相当

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

⚠警告

必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認する。

誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (ISOFIX 対応タイプ)

質量グループ	サイズ等級	器具	車両 ISOFIX 位置 セカンドシート (外席)
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
		(1)	X
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL
		(1)	X
0 + (13kg まで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
		(1)	X
I (9 ～ 18kg まで)	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
		(1)	X
II (15 ～ 25kg まで)		(1)	X

質量グループ	サイズ等級	器具	車両 ISOFIX 位置
			セカンドシート (外席)
III (22 ～ 36kg まで)		(1)	X

上表の記号について :
(1) サイズ等級識別表示 (A ～ G) のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。
IUF =この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリー前向き ISOFIX チャイルドシートに適しています。
IL =「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについては日産販売会社にご相談下さい。
X =お子さま専用シートを取り付けることはできません。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (シートベルト固定タイプ)

質量グループ	着座位置 (または他の場所)			
	助手席	セカンドシート (外席)	セカンドシート (フレキシブルシート)	サードシート
0 (10kg まで)	X	U	U	U
0 + (13kg まで)	X	U	U	U
I (9 ～ 18kg まで)	UF	U	U	U
II (15 ～ 25kg まで)	UF	U	U	U
III (22 ～ 36kg まで)	UF	U	U	U

上表の記号について :
U =この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。
UF =この質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。
X =お子さま専用シートを取り付けることはできません。

チャイルドシートを固定するとき

ISOFIX 対応チャイルドシート用アンカー

セカンドシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカーとトップテザーアンカーが装備されています。
この固定ロアアンカーには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート（チャイルドシート固定ロアアンカー）のみを取り付けることができます。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

警告

必ず守る

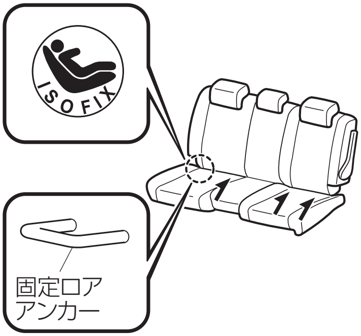
チャイルドシートを取り付けるときは、固定ロアアンカー周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認してください。

異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

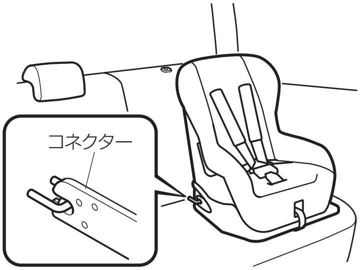
知識

チャイルドシート固定ロアアンカー対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカーで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

固定するとき



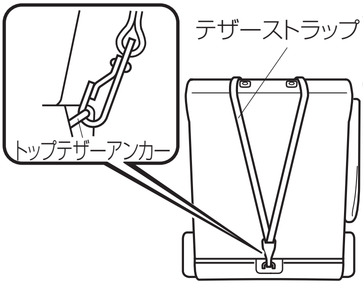
1. セカンドシートをいちばん後ろの位置にし、確実に固定されていることを確認してください。
→ 46 ページ「セカンドシートの使いかた」
2. シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定ロアアンカーの位置を確認します。
3. ヘッドレストを取りはずします。



4. チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカーに取り付けます。

知識

チャイルドシートのコネクターが固定ロアアンカーにとどかない場合は、背もたれの角度を調節してください。



5. チャイルドシートのテザーストラップを図のように通して、トップテザーアンカーにかけます。
6. テザーストラップがたるまないように調節します。

知識

テザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

7. チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

⚠警告

必ず守る

トップテザーアンカーは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しない。

チャイルドシートの固定以外のことに使用すると、アンカー部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。
急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

チャイルドシートを取り付けた後は、セカンドシートを調節しない。

チャイルドシートを取り付けた後にセカンドシートを調節するとチャイルドシートが不安定になるため重大な傷害につながるおそれがあります。

窓ガラスの開閉

電源ポジションが ON のとき、パワーウインドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

⚠警告

窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意する。（必ず守る）

特にお子さまには十分気をつけてください。万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにパワーウインドースイッチの操作をさせない。（必ず守る）

万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

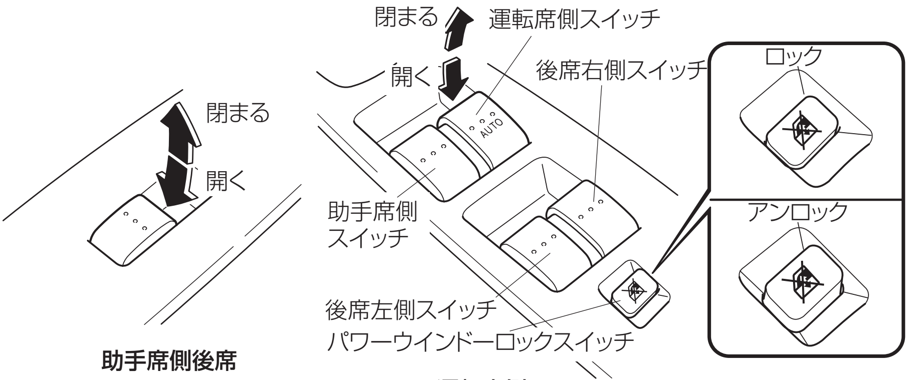
お子さまが同乗しているときは、パワーウインドーロックスイッチをロックの位置にしておく。（必ず守る）

お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

窓から手や顔を出させない。（必ず守る）

走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。
助手席、後席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。



助手席側後席

運転席側

車内の換気をしたいときは

クイックリフレッシュ機能

運転席に装備しています。
全閉しているとき、スイッチを軽く押すと、窓枠から約 3cm 開いたところで一旦止まります。そのまま押し続けると、再び開き始めます。

便利な装備について

自動開閉機構

運転席に装備しています。
スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

知識

自動で全開 / 全閉できないときは

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または全開 / 全閉したあとも、スイッチを操作し続けたときは、自動で全開 / 全閉できなくなります。

次の操作で復帰させてください。

1. 電源ポジションを ON にします。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約 2 秒間引き上げ続けます。

キー OFF 後作動機構

運転席に装備しています。
電源ポジションを ACC または OFF にしたあとでも、約 40 秒間は開閉することができます。
この時、クイックリフレッシュ機能は作動しません。

安全装備について

はさみ込み防止機構

運転席に装備しています。
閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。

- 電源ポジションが ON で窓ガラスを自動で閉めているとき。
- 電源ポジションを OFF または ACC にしてから約 40 秒の間に窓ガラスを閉めているとき。

ウインドー

⚠ 注意

必ず守る

次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- **窓ガラスが閉まりきる直前**
- **スイッチを引き続けたままの状態**

知識

- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けてください。

給油するとき

⚠警告

必ず守る

燃料補給時には必ずエンジンを止める。また、燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけない。

火災につながるおそれがあります。

必ず守る

燃料を補給するときは、必ず次の点を守る。

身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。

必ず守る

給油ノズルは確実に燃料補給口へ差し込む。

給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。

必ず守る

給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しない。

オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。

必ず守る

気化した燃料を吸い込まないよう注意する。

人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

燃料補給口

⚠ 注意

禁止

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない。
→ 304 ページ「燃料」
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、アルコール系燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- **エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。**
- **エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。**
- **ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。**

必ず守る

燃料を補給するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。

必ず守る

燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。

必ず守る

燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

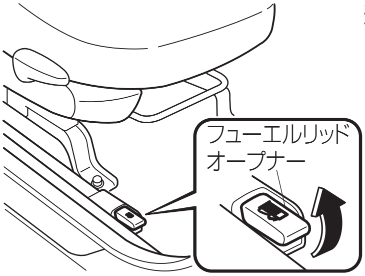
知識

バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。

バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格（JIS）や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ・ガソリン」、および「いい！スリー」の２つがあり、いずれの製品も使用できます（商品マーク参照）。

燃料補給口は車の右側後方にあります。燃料計が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

フューエルリッドの開閉



運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引くと開きます。
閉めるときはフューエルリッドが確実にロックするまでフューエルリッドを押しつけます。

フューエルキャップの開閉

⚠警告

フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取り外す。（必ず守る）

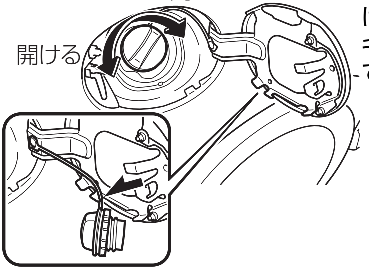
急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

フューエルキャップは確実に閉める。（必ず守る）

キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

⚠注意

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。（禁止）



取りはずしたキャップはフューエルリッドの内側にかけます。
キャップを閉めるときは、カチッと 1 回音がするまで締め付けてください。

盗難防止システム

エンジンイモビライザー グレード/仕様別装備

エンジンイモビライザーはキー / インテリジェントキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー / インテリジェントキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。
インテリジェントキー装備車は万一、インテリジェントキーが電池切れや故障の場合は、補助キーを使ってのエンジン始動手順を行なうとエンジンイモビライザーが解除され、エンジン始動できます。

注意

必ず守る

キーの故障を防ぐために次のことを守る。

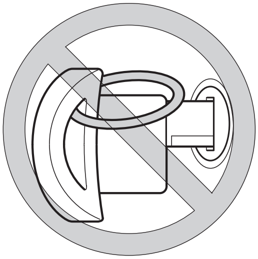
- **システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。**
- **強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。**
- **磁気を帯びた製品を近づけないでください。**
- **インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。**

知識

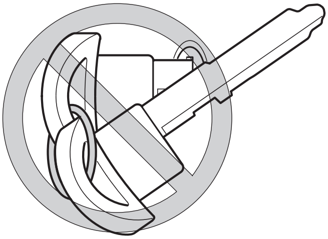
キー / 補助キーの使用について

次のような状態にしないでください。車両がキー / 補助キーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

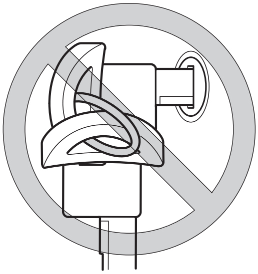
- キーグリップに金属製のリングがのっている



- キーグリップ部に他のキーの金属部や金属製のものが接している



- キー / 補助キーにスペアのキー / 補助キーや他の車両の盗難防止システムキー (信号発信機内蔵のもの) が重なっている、または近くにある



- キー / 補助キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

盗難防止システム

システムの作動

電源ポジションを ON から ACC または OFF にするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。

システムの解除

登録されたキー / インテリジェントキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、エンジンが始動できます。そのとき表示灯は約 3 秒間点灯した後消灯します。

エンジンが始動しないときは

次のような場合、エンジンの始動ができない場合があります。

- インテリジェントキーを (車内でも) 感知しにくい場所に置いている。
- 携帯電話、テレビ、ラジオ、トランシーバーなどからの電波でシステムが影響を受けている。

処置方法

インテリジェントキー装備車

一度、電源ポジションを OFF にもどし、インテリジェントキーを別の場所に置いて、再度エンジン始動してください。
→ 19 ページ「インテリジェントキー機能を使っての操作」
セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は（点灯 / 点滅したまま等）、一度電源ポジションを OFF に戻し、しばらく待って再度エンジン始動してください。
3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

リモートコントロールエントリーシステム装備車

キーを抜き、2 秒以上待って再度エンジンを始動させてください。
3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

運転中にセキュリティ表示灯が点灯 / 点滅した場合は

エンジンを停止せず、そのまま日産販売会社で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できないことがあります。

知識

エンジンイモビライザーを修理するときは

コードを再登録するために、お手持ちのすべてのキー / インテリジェントキー (補助キー含む) を日産販売会社に持参してください。

キーを追加するときは

- キー / インテリジェントキーを紛失したときのために、スペアのキー / インテリジェントキーを保管しておいてください。
- キー / インテリジェントキーには特有の電子コードが含まれていますので、日産販売会社以外でキー / インテリジェントキーを追加することはできません。

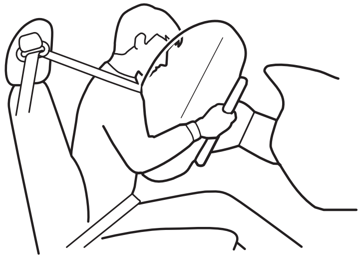
キー / インテリジェントキー（補助キー含む）を紛失した場合、盗難防止のため、エンジンイモビライザーに登録されているコードを日産販売会社で消去できます。消去した後に、今後使用するキー / インテリジェントキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキー / インテリジェントキー（補助キー含む）を日産販売会社へ持参してください。登録されていないキー / インテリジェントキー（補助キー含む）ではエンジンを始動することができません。

SRS エアバッグシステムについて

SRS とは Supplemental Restraint System (サプルメンタルレストレイントシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。
エアバッグは、電源ポジションが ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。
SRS エアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

エアバッグの種類

運転席エアバッグ

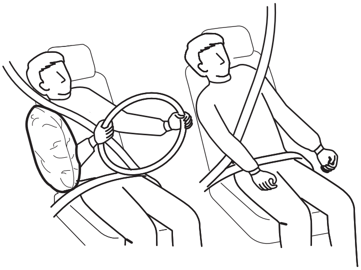


運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。

助手席エアバッグ

助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。

サイドエアバッグ グレード/仕様別装備



サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。

カーテンエアバッグ グレード/仕様別装備

カーテンエアバッグはフロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。

エアバッグの注意点

⚠ 警告

お車に乗る前に

必ず守る

運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。

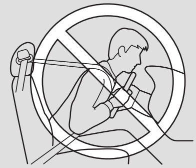
SRS エアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートに座ったときは

禁止

ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしない。

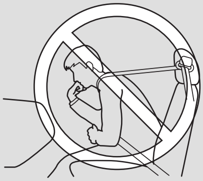
エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



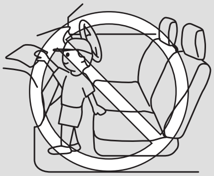
⚠警告

お子さまを乗せるときは

必ず守る

お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させる。

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りの乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

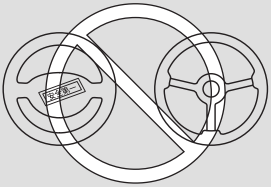


こんなことにも注意

禁止

ハンドルを交換しない。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしない。

万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

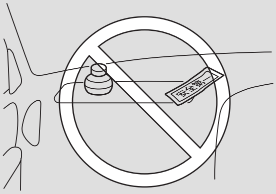


SRS エアバッグシステム

⚠警告

インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリー用品、手荷物などの物を置かない。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けない。

エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



車両前部にグリルガードなどを装着しない。

SRS エアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

サスペンションの改造をしない。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRS エアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRS エアバッグシステムの回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスや廃車について

事故後は必ず日産販売会社で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告

必ず守る

次のような作業が必要なときは、必ず日産販売会社に相談する。

これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

必ず守る

車を廃車にする場合は、必ず日産販売会社に相談する。

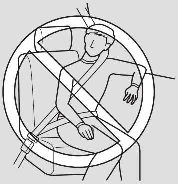
不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

サイドエアバッグについて

禁止

フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らない。

フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロントシートにシートカバーを使用しない。

シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリー用品を取り付けない。

サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

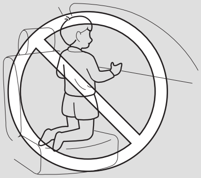
フロントシートの下に荷物などを置かない。

フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

カーテンエアバッグについて

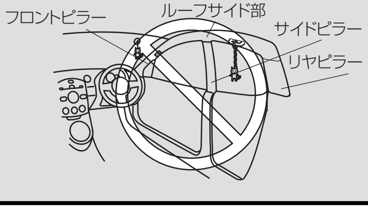
ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づいたりしないようにして座る。

カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしない。

カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



⚠警告

アシストグリップやコートハンガーなどには重たいものやとがったものをかけない。

禁止

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止

エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。

禁止

ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイド / カーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

知識

エアバッグの作動について

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

エアバッグの作動条件について

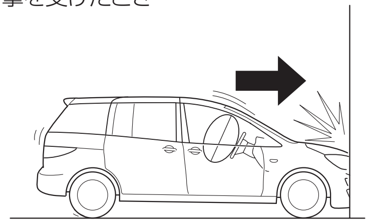
運転席 / 助手席エアバッグは正面衝突において、サイド / カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。
車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。
したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

エアバッグが作動するとき

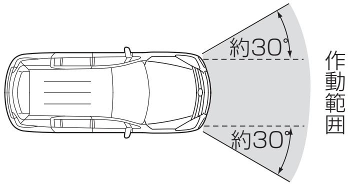
運転席 / 助手席エアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

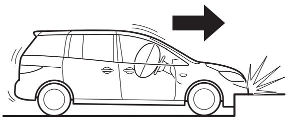


正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

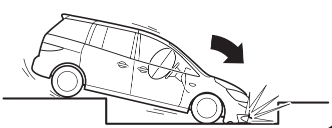


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

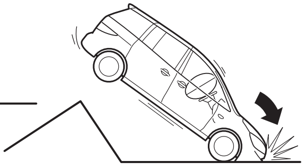
中央分離帯や縁石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



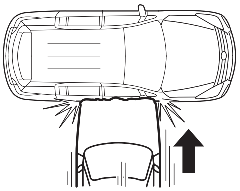
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



サイド / カーテンエアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に横方向から衝突されたとき

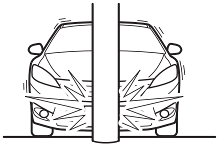


エアバッグが作動しにくいとき

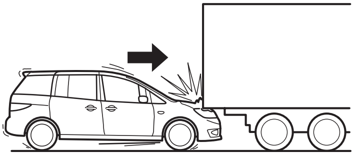
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

運転席 / 助手席エアバッグ

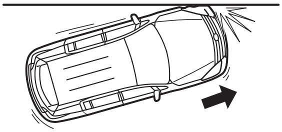
立木や電柱に衝突したとき



トラックの下などに潜り込んだとき

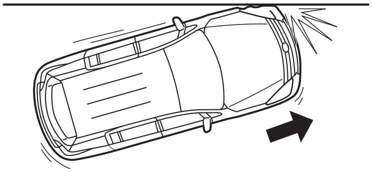


斜め前方に衝突したとき

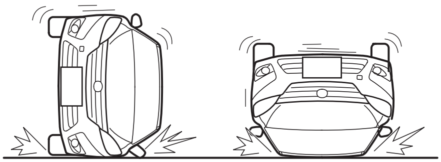


サイド / カーテンエアバッグ

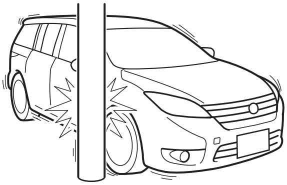
斜め前方に衝突したとき



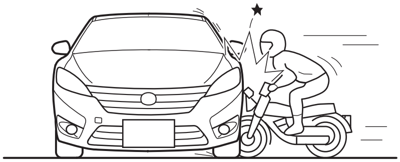
横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき



2輪車が側面に衝突したとき

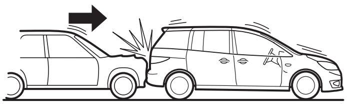


エアバッグが作動しないとき

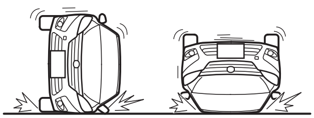
次のようなときには作動しません。

運転席 / 助手席エアバッグ

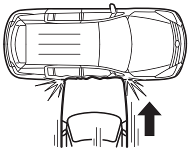
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき

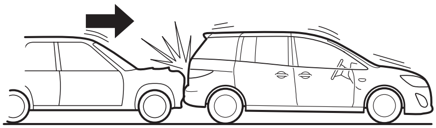


横方向から衝突されたとき

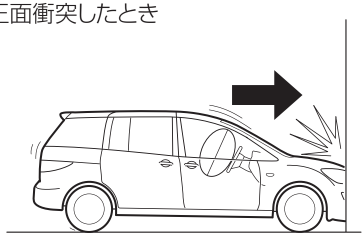


サイド / カーテンエアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



EDR（イベントデータレコーダー）について

本車両は、SRS エアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。
そのコンピュータは、SRS エアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録・蓄積する EDR を装備しています。

記録するデータ

EDR は下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- エアバッグ作動に関する情報（加速度波形等）
- エアバッグシステムの故障診断情報

知識

EDR は会話などの音声や映像は記録しません。

データの開示について

日産自動車および日産自動車の委託先は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。
なお、取得したデータは以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

積雪、寒冷時の取り扱い

お車に乗る前に

ルーフに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。
  走行前に取り除いてください。
- ルーフの雪を取り除くときは、アンテナに注意して取り除いてください。アンテナを損傷するおそれがあります。

ガラスに雪や霜がついているときは

- 視界を確保するため、雪や霜を取り除いてください。
- プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。
  プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

ドアなどが凍結しているときは

- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。
  無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウインドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。
  無理に動かそうとすると故障の原因になります。

お車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。
ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

2 運転するときに

安全なドライブのために 106

運転するとき 106
運転装置について 108
こんなことにも注意 108
駐停車するとき 111
お子さまを乗せるとき 112

エンジンの始動と停止 113

電源ポジション（エンジンスイッチ）.......... 113
エンジンの始動 114
エンジンの停止 117
アイドリングストップシステムについて (PE-VPS 型エンジン) 119

メーター、警告灯、表示灯の見方 126

メーター 126
インフォメーションセンターディスプレイ 130
警告灯、表示灯 134

トランスミッションの使いかた 144

オートマチックトランスミッション 144

ブレーキ 158

ブレーキの操作 158

4WD 159

4WD について 159

スイッチの使いかた 160

ヘッドランプスイッチ 160
方向指示器 163
非常点滅灯スイッチ 164
フォグランプスイッチ 164
ワイパー / ウォッシャースイッチ 165
リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ 170
ホーン 170

ABS について 171

ABS とは 171

ヒルスタートアシスト (HSA) について 172

ヒルスタートアシスト (HSA) とは（アイドリングストップシステム装備車）.......... 172

トラクションコントロールシステム (TCS) について 173

TCS とは 173

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) について 174

VDC とは 174

ASCD（オートスピードコントロール装置）について 177

ASCD とは 177

2 運転するときに

様々な状況での運転のときは　181

悪天候での運転 181

環境保護のために　183

経済的な運転 183

運転するとき

走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

坂道ではエンジンブレーキを使う

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。
下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。
高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。
エンジンブレーキとは､走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で､低速ギヤほどよく効きます。

走行中はセレクトレバーを N にいれない

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

すべりやすい路面では慎重に運転する

ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると､タイヤと路面の間に水の膜ができ､タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。
高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストをするだけではなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響を及ぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ず日産販売会社へご相談ください。

水たまり走行後や洗車後はブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあり危険です。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

横風が強いときは慎重に運転する

横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。

- ブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

ブレーキ操作は右足で

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

警告灯が点灯 / 点滅したら車を止める

走行中に警告灯が点灯 / 点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯 / 点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パンクやバースト (破裂) してもあわてない

走行中タイヤがパンクやバースト (破裂) したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。
急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。
次のようなときはパンクやバースト (破裂) が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

スタックした状態から脱出するときは注意する

263 ページの「スタックしたとき」をよくお読みください。

床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する

安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。
異常があったときは、日産販売会社に連絡してください。
そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

異常を感じたときは日産販売会社で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じるとき。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

運転装置について

オートマチック車を運転するとき

154 ページの「オートマチック車を運転するときに」、144 ページの「オートマチック車の特性」、114 ページの「エンジンをかける前に」をよくお読みください。

4WD 車の特性

159 ページの「4WD について」、159 ページの「走行するときは」をよくお読みください。

タイヤについて

226 ページの「タイヤの点検」、218 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する」、258 ページの「タイヤチェーンの取り付け」をよくお読みください。

けん引してもらうとき

289 ページの「けん引してもらうとき」をよくお読みください。

こんなことにも注意

発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。
- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

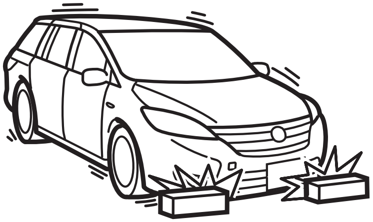
運転中は携帯電話を使用しない

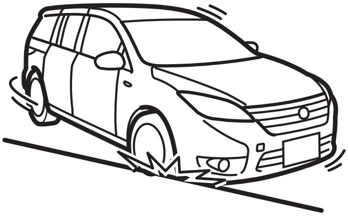
運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

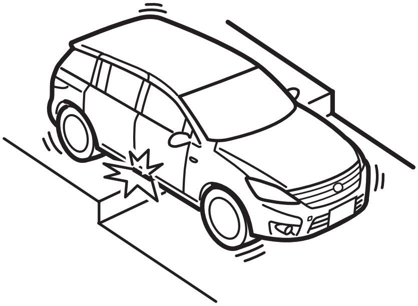
路面などと車両との干渉に注意する

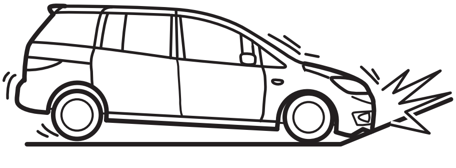
次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

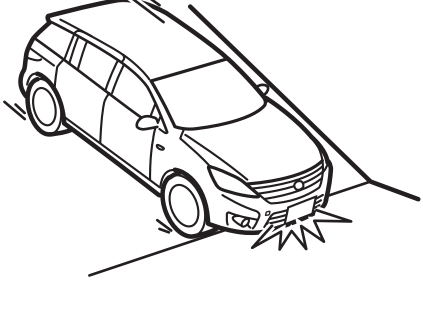
- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行











安全なドライブのために

違法改造はしない

218 ページの「違法改造はしない」をよくお読みください。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する

218 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する」、226 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

タイヤバルブキャップは純正品を使用する

226 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

キセノンヘッドランプバルブを交換するときは日産販売会社に相談する

163 ページの「キセノンヘッドランプについて グレード/仕様別装備 」をよくお読みください。

部品の取り付け、交換は日産販売会社に相談する

218 ページの「部品の取り付け、交換は日産販売会社に相談する」をよくお読みください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

218 ページの「ナンバープレートは正しい位置に取り付ける」をよくお読みください。

アクセサリーを取り付けない

218 ページの「アクセサリーを取り付けない」をよくお読みください。

エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

286 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

エンジンルーム内に物を置き忘れない

219 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない

286 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

バッテリーの取り扱いに気をつける

280 ページの「バッテリーあがりについて」をよくお読みください。

航空機内ではキーを操作しない

16 ページの「キー」をよくお読みください。

一酸化炭素中毒に気をつける

自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色 / 無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい / 吐き気 / 頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死に至ることがあります。万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、日産販売会社で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気をとり入れてください。そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

ライターやメガネを車内に放置しない

炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

駐停車するとき

燃えやすい物のそばに車を止めない

車を止める時には、次の点を守ってください。

- そばに枯れ草など、燃えやすいものがない場所に止めてください。走行したあとは排気管が高温になっているため、火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくと火災につながるおそれがあります。

仮眠するときはエンジンを止める

エンジンをかけたままで仮眠しないでください。無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入り易くなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へはいりやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりかける

坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりかけ、セレクトレバーをＰにいれてください。
急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車の移動はエンジンをかける

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する

車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

お子さまを乗せるとき

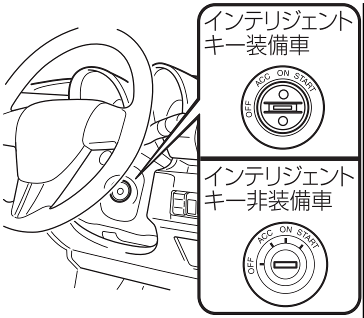
車から離れるときはお子さまも一緒につれていく

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

電源ポジション（エンジンスイッチ）

各位置の働き



電源ポジション（エンジンスイッチ）	働き
OFF	電源 OFF の状態
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

知識

- 電源ポジションを ON にしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- **エンジンを止めたままのときは**
  オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションを ON または ACC のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- **ハンドルがロックされているときは**
  キーまたは補助キー（エンジンスイッチ）をまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらキーまたは補助キー（エンジンスイッチ）をまわしてください。
- セレクトレバーの位置が P 以外のときは、スタートノブをまわして、電源ポジションを ACC から OFF にすることができません。

エンジンの始動と停止

エンジンの始動

エンジンをかける前に

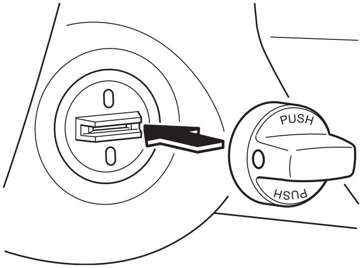
1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. セレクトレバーが P の位置にあることを確認します。
3. 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。

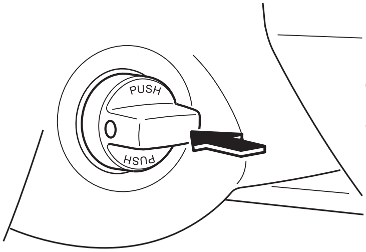
→ 43 ページ「正しい運転姿勢」

エンジンをかけるとき (インテリジェントキー装備車)

知識

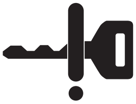
- **インテリジェントキーの携帯について**
  インテリジェントキーは必ず運転者が携帯してください。
- **スタートノブがエンジンスイッチから取りはずされているときは**
  必ず取り付けてください。取り付け後はスタートノブがはずれないことを確認してください。





1. インテリジェントキーを携帯していることを確認します。
2. ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
3. スタートノブをゆっくりと奥まで押し込みます。

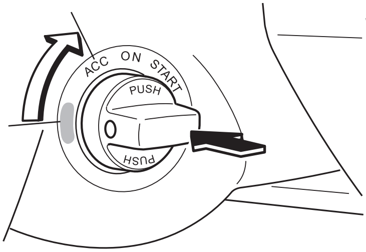
4. メーター内の KEY 表示灯（緑）が点灯するのを確認します。



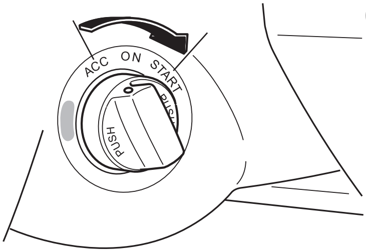
知識

次のようなときはメーター内の KEY 警告灯（赤）が点滅し、エンジンをかけることができません。

- インテリジェントキーの電池切れ
- インテリジェントキーが作動範囲内にない
- インテリジェントキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
  → 19 ページ「インテリジェントキー機能を使っての操作」
- インテリジェントキーに類似した他社のキーが作動範囲内にある



5. スタートノブを押し込みながら、電源ポジションを ACC にします。



6. アクセルペダルを踏まずに、電源ポジションを ACC から START にし、エンジンをかけます。

注意

禁止

連続して 10 秒以上スタートノブをまわして、電源ポジションを START にしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、スタートノブをまわして、電源ポジションを OFF にもどし､10 秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

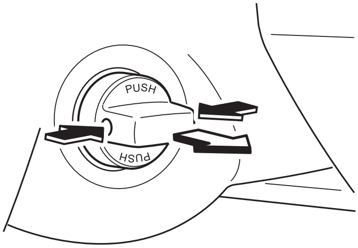
エンジンの始動と停止

知識

冷間始動後は

- エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- **(PE-VPS 型エンジン)**
  排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。

補助キーを使っての操作



キー（補助キー）を使ってエンジンをかけるときは、次の操作を行なってください。

1. 補助キーをインテリジェントキーから取りはずします。
   → 16 ページ「インテリジェントキー」
2. スタートノブをエンジンスイッチから取りはずします。
   スタートノブは左右両側のボタンを押したまま手前に引くと、取りはずすことができます。
3. 補助キーをエンジンスイッチに差し込みます。
4. エンジンスイッチをまわして、電源ポジションを ACC から OFF、または OFF から ACC にするときは、補助キーを押し込んでまわしてください。

知識

冷間始動後は

- エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- **(PE-VPS 型エンジン)**
  排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。

エンジンをかけるとき（リモートコントロールエントリーシステム装備車）

1. ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. アクセルペダルを踏まずに、電源ポジションを START にし、エンジンをかけます。

注意

禁止

連続して 10 秒以上、電源ポジションを START にしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、電源ポジションを OFF にもどし、10 秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

知識

冷間始動後は

- エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- **(PE-VPS 型エンジン)**
  排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。

エンジンの停止

1. セレクトレバーを P の位置にします。
2. 電源ポジションを ON から ACC にします。

知識

- **バッテリーあがりについて**
  スタートノブをまわして、電源ポジションを ON から ACC にするとエンジンは停止しますが、バッテリーあがりの原因になりますので、ACC で放置しないでください。
- **電源ポジションを OFF にせずに車から離れると**
  警報やメーター表示でお知らせします。
  → 293 ページ「チャイムがなったときは」
  → 300 ページ「KEY 警告灯が赤色で点灯または点滅した」

エンジンの始動と停止

知識

- **<u>インテリジェントキー装備車は</u>**
  電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたとき、インテリジェントキーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内のKEY表示灯（緑）が約 30 秒間点滅します。新しい電池と交換してください。
  → 246 ページ「インテリジェントキー」
- **<u>電源ポジションについて</u>**
  セレクトレバーの位置が P 以外のときは、スタートノブを回して電源ポジションを ACC から OFF にすることができません。

3. インテリジェントキー装備車は電源ポジションが ACC でスタートノブを押し込み、電源ポジションを OFF にします。

   インテリジェントキー非装備車は、そのまま電源ポジションを OFF にします。

注意

必ず守る

車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。
電源ポジションを OFF までもどさなかった場合、インテリジェントキーが車内になくても再度エンジンをかけることができるため、車両を盗難されるおそれがあります。

知識

- **<u>電源ポジションを OFF にするときは</u>**
  スタートノブを ACC で押し込んでまわす必要があります。押し込まずにまわすと、スタートノブは ACC で止まるため、そのまま放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。電源ポジションを OFF にせずに車から離れると、警報やメーター表示でお知らせします。
  → 293 ページ「警報チャイム」
- エンジンルームを早期に冷却するため、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、エアコンの ON/OFF にかかわらずクーリングファンが数分間回転することがあります。

アイドリングストップシステムについて (PE-VPS 型エンジン)

アイドリングストップシステム は燃費向上･排気ガスの低減･アイドリング騒音低下のため、エンジン暖機後に信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止･再始動させる機能です。

アイドリングストップ･再始動

1. 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯 (緑) が点灯します。
2. 走行状態 (R レンジ以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。(アイドリングストップ表示灯 (緑) はアイドリングストップ中も点灯します。)
3. D/M (2 速固定モードでない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動し、アイドリングストップ表示灯 (緑) が消灯します。再び走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯 (緑) が点灯します。

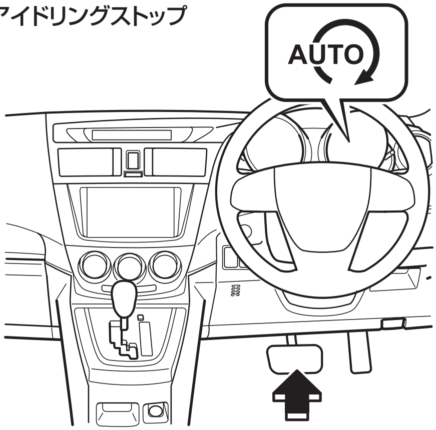
   セレクトレバーがN/Pレンジでは､ブレーキペダルから足を放しても再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むと再始動します。

⚠ 注意

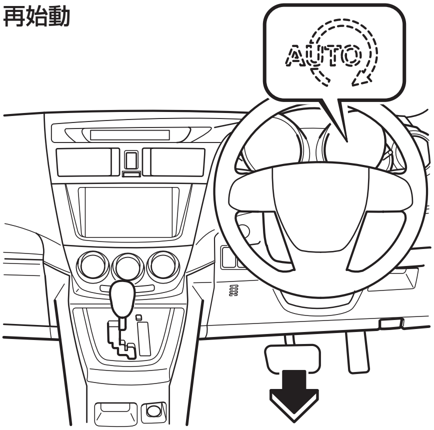
次の条件のときは走行中、アイドリングストップ表示灯 (緑) が点灯しても停車時に消灯し、アイドリングストップしません。

- **停車時のハンドルが直進状態でないとき**
- **急な坂道に停車したとき**

アイドリングストップ



再始動



エンジンの始動と停止

知識

- アイドリングストップシステムは、安全かつ快適にご使用いただくために運転者の操作以外に、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、アイドリングストップ･再始動を制御しています。
- 次の条件をすべて満たしているときにアイドリングストップします。
  - エンジンを始動したのち、一度走行したあと（走行せずにアイドリングを続けても、アイドリングストップシステムは作動しません。また、停車中に自動でアイドリングストップ・再始動を繰り返すこともありません。）
  - ボンネットを閉めてエンジンを始動したとき
  - エンジン、オートマチックトランスミッションフルードが十分に暖まっているとき
  - 車両が停車しているとき
  - バッテリーの状態が良好のとき
  - 全てのドア、バックドア、ボンネットが閉まっているとき
  - 運転席シートベルトを着用しているとき
  - 曇り取りスイッチが OFF のとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルが、最大暖房 / 最大冷房以外の位置となっているとき
  - 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
  - 標高約 1500m 以下で使用しているとき
  - アイドリングストップ警告灯（橙）が点灯 / 点滅していないとき
  - インテリジェントキーエントリー＆スタートシステムが正常なとき
  - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードでない）レンジまたは N レンジのとき
  - オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
  - ブレーキ負圧が十分に高いとき
  - ハンドルがほぼ直進状態のとき（直進状態にしていてもハンドルに力を入れているとアイドリングストップしない場合があります。アイドリングストップさせたいときは、ハンドルから力をゆるめてみてください。）
  - ハンドル操作をしていないとき
  - ブレーキペダルを踏んで停車させたとき（アイドリングストップせずアイドリングストップ表示灯（緑）が点滅しているときは、ブレーキペダルの踏み方が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。）
  - 急制動ではないとき
  - 立体駐車場などの急な坂道で停車していないとき

知識

- 次の条件のときはアイドリングストップするまでに時間がかかることがあります。
  - 車両を長期間使用しなかったときなどでバッテリーが放電したとき
  - 外気温が高いとき、または、低いとき
  - バッテリー交換等によりバッテリー端子をはずしたあと
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うとアイドリングストップ警告灯 (橙) が点灯し、安全を確保するためにブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。
  - ボンネットを開けたとき
  - D/M (2 速固定モードでない) レンジで運転者が車両から降りようとしたとき (運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき)
- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M (2 速固定モードでない) レンジから N レンジ、または D/M (2 速固定モードでない) レンジから P レンジへ操作するとブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M (2 速固定モードでない) レンジまたは R レンジへ操作すると再始動します。また、N または P レンジで運転者が車両から降りようとしたとき (運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき) にも、エンジンが再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作する時は、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行なって下さい。)
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うと、ブレーキペダルから足を放さなくてもエンジンが再始動します。
  - アイドリングストップ OFF スイッチをチャイムが鳴るまで押し続けたとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルを、最大暖房 / 最大冷房の位置にしたとき
  - 曇り取りスイッチを ON にしたとき
  - インテリジェントキーを車外に持ち出した状態で、いずれかのドアを開けたとき
  - 補助キーで走行している (補助キーでエンジンをかけてアイドリングストップした) 状態で、いずれかのドアを開けたとき
  - 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
  - D/M (2 速固定モードでない) レンジでアクセルペダルを踏んだとき
  - セレクトレバーを R レンジにしたとき
  - セレクトレバーを N または P レンジから D/M (2 速固定モードでない) レンジにしたとき
  - セレクトレバーが D/M (2 速固定モードでない) レンジのまま、ハンドル操作をしたとき
  - 2 速固定モードにしたとき

知識

- アイドリングストップ中に以下の車両状態になると、ブレーキペダルから足を放さなくてもエンジンが再始動します。
  - 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
  - アイドリングストップしてから 2 分経過したとき
  - バッテリーの放電が進んだとき
- 次のときはエンジン停止時間が短くなる、または次のアイドリングストップが可能になるまでの時間が長くなることがあります。
  - 外気温が高いとき、または、低いとき
  - バッテリーの放電が進んだとき
  - 車載装備などの電流消費が多いとき
- 外気温が非常に低い、または高いときには、アイドリングストップしません。
- バッテリー端子をはずした場合は、バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、バッテリーを交換したときは、アイドリングストップシステムの機能を確認する必要がありますので、日産販売会社にご相談ください。

アイドリングストップ警告灯（橙）/ アイドリングストップ表示灯（緑）

アイドリングストップシステムは、安心かつ快適にご使用いただくために、運転者の操作状況や、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、アイドリングストップ警告灯（橙）/ アイドリングストップ表示灯（緑）によりさまざまな注意を運転者にお知らせします。

アイドリングストップ警告灯（橙）

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯します。
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うとアイドリングストップ警告灯（橙）が点灯します。この場合は安全を確保するために、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しないため、通常の操作でエンジンを始動してください。
  - ボンネットを開けたとき
  - D/M (2 速固定モードでない) レンジで運転者が車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）

知識

ボンネットを開けたときや、運転者が車両から降りようとしたとき (運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき) 以外で､アイドリングストップ警告灯 (橙) が点灯しているときに、アイドリングストップ OFF スイッチを押しつづけても消灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。

点滅するとき

システムに異常があるときは点滅し続けます。日産販売会社で点検を受けてください。

アイドリングストップ表示灯 (緑)

点灯するとき

アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。エンジンが再始動すると消灯します。

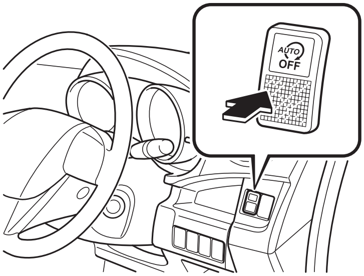
点滅するとき

ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅します。ブレーキペダルの踏力が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。

アイドリングストップ警告チャイム

- アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。
- アイドリングストップ中に D/M (2 速固定モードでない) レンジで運転者が車両から降りようとする (運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開ける) とチャイムが鳴り、安全を確保するためにブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。

アイドリングストップ OFF スイッチ



スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけると、アイドリングストップシステムの作動が解除され、メーター内のアイドリングストップ警告灯 (橙) が点灯します。もう一度チャイムが鳴るまで押しつづけるとアイドリングストップシステムが作動可能な状態になり､アイドリングストップ警告灯 (橙) が消灯します。

エンジンの始動と停止

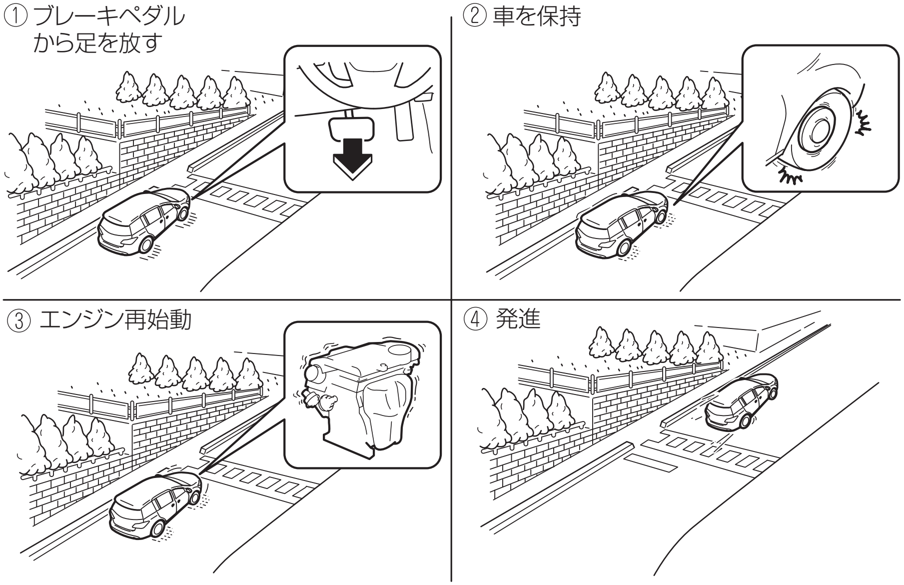
知識

アイドリングストップシステムを解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとアイドリングストップシステムは作動可能な状態にもどります。

アイドリングストップ発進補助機能について

アイドリングストップシステム装備車にはアイドリングストップ発進補助機能が装備されています。これは次のような状態でブレーキペダルから足を放したときに、坂道などで車両が動き出すことを防ぐ機能です。

- アイドリングストップ中 (車両の後退防止)
- 再始動時 (急なクリープ現象発生による車両の飛び出し防止)
  ブレーキペダルを放してエンジンが再始動したときに自動でブレーキ力を保持します。



⚠警告

システムを過信しない

アイドリングストップ発進補助機能はあくまでアイドリングストップ状態から車両を発進させる際に、ブレーキから足を放したあと最長 4 秒間作動する補助装置です。システムを過信して操作すると意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあるため非常に危険です。発進時は周囲の安全を確認してセレクトレバーやブレーキペダル、アクセルペダルを適切に操作してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放す

アイドリングストップ中にセレクトレバーを N レンジに操作し、ブレーキペダルから足を放したときは、ブレーキ力が徐々に解除されます。発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放してください。セレクトレバーが N レンジの状態では、アイドリングストップ発進補助機能が解除されたあとに車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

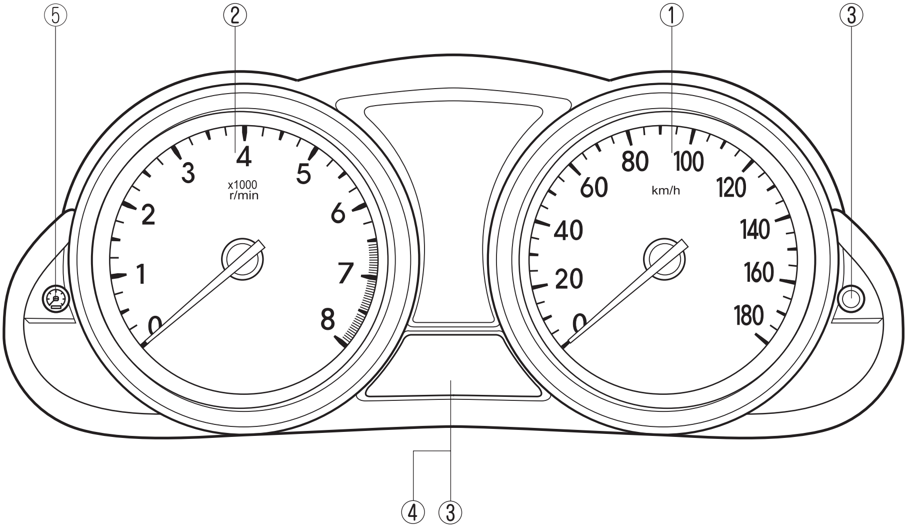
知識

- 急な坂道で停車したときは、アイドリングストップしないため坂道ではアイドリングストップ発進補助機能は作動しません。
- アイドリングストップ発進補助機能の作動により、ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、ブレーキから音が発生したり、ブレーキペダルが振動したりすることがありますが、異常ではありません。

メーター、警告灯、表示灯の見方

メーター

メーターはグレードや仕様により異なります。



(1) スピードメーター .... 127 ページ
(2) タコメーター .... 127 ページ
(3) オドメーター / トリップメーター .... 127 ページ
(4) 燃料計........ 128 ページ
(5) イルミネーションコントロールスイッチ........ 129 ページ

スピードメーター

走行速度を km/h で示します。

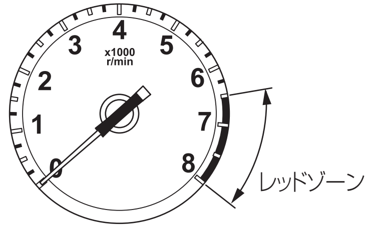
タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

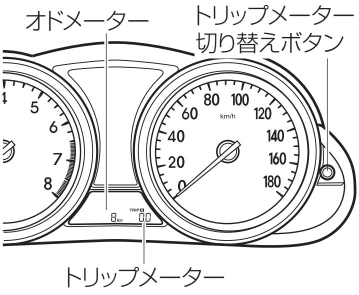
⚠ 注意

必ず守る

指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）に入らないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。



オドメーター / トリップメーター



オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

トリップメーター

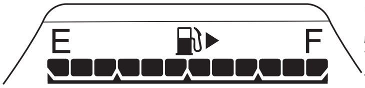
一定区間の走行距離をkm単位で示します (右側の数字は 100m単位です)。2種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。電源ポジションが ON のとき、トリップメーター切り替えボタンを押すごとに、TRIP A、TRIP B が切り替わります。トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのときトリップメーター切り替えボタンを 1 秒以上押します。

メーター、警告灯、表示灯の見方

知識

- 電源ポジションが ACC または OFF のとき、オドメーター / トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します (ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え / リセットされます)。
  - 電源ポジションを ON から ACC または OFF にした後の約 10 分間。
  - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約 10 分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。
  - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
  - 走行距離が 999.9km を超えたとき。

燃料計

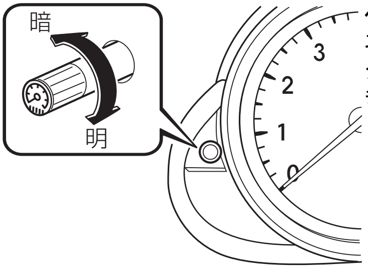


電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。
燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。
→ 134 ページ「警告灯、表示灯」
目盛りが“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。
→ 83 ページ「燃料補給口」

知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 矢印 ( ) は燃料補給口が運転席側にあることを示します。

イルミネーションコントロールスイッチ



ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときイルミネーションコントロールスイッチをまわすと、メーターおよびインストルメントパネルの明るさを調節できます。

知識

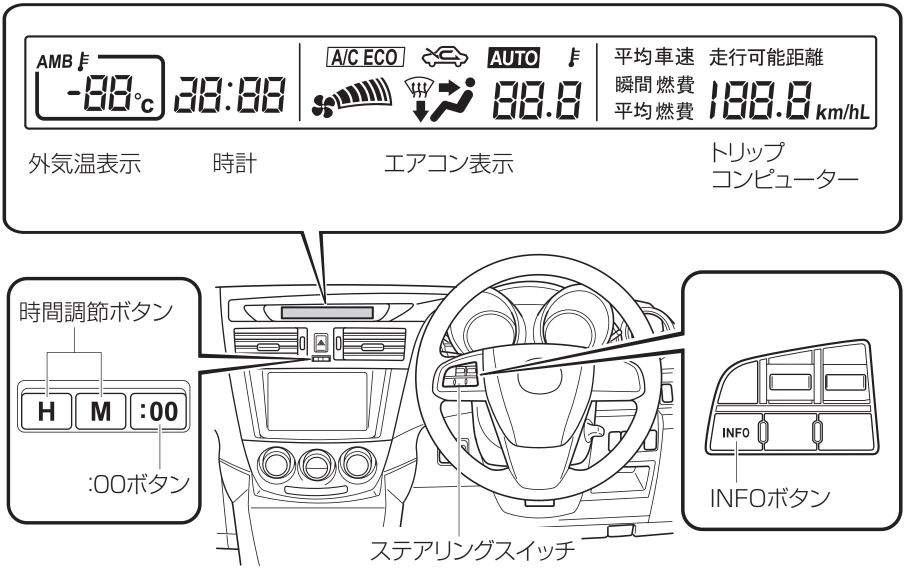
- メーターの減光を解除しているときは、イルミネーションコントロールスイッチをまわしても、メーターの明るさを調節できません。
- イルミネーションコントロールスイッチを右、または左に回すと、最も明るい位置、または最も暗い位置で音が鳴り、それ以上調整できないことをお知らせします。

減光解除機能

ランプスイッチを=DO=または≡Dの位置にすると、メーターが減光されます。イルミネーションコントロールスイッチを押すと減光が解除できます。

メーター、警告灯、表示灯の見方

インフォメーションセンターディスプレイ



インフォメーションセンターディスプレイの機能について

インフォメーションセンターディスプレイには次の機能があります。

- 時計
- 外気温表示
- エアコン表示
- トリップコンピューター

時計

電源ポジションがACCまたはONのとき表示します。

時刻のあわせかた

1. 電源ポジションを ACC または ON にします。

2. 時間調節ボタン（H、M）を操作して時刻をあわせます。
時計調節ボタン（H）を押している間“時”表示が早送りされます。
時計調節ボタン（M）を押している間“分”表示が早送りされます。

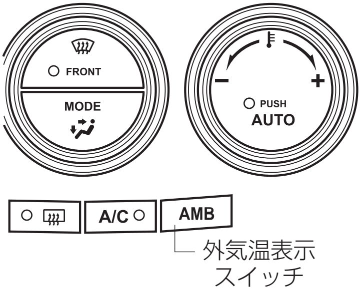
時報にあわせるとき

1. 電源ポジションを ACC または ON にします。
2. :00 ボタンを押します。
3. :00 ボタンを押すと時刻が次のように修正されます。
(例)
12:01 ～ 12:29 → 12:00
12:30 ～ 12:59 → 1:00

知識

:00 ボタンを押すと、“秒”は“00”からスタートします。

外気温表示



電源ポジションが ON のとき、外気温を表示します。AMB ボタンを押すごとに、外気温の表示と非表示が切り替わります。

知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

メーター、警告灯、表示灯の見方

エアコン表示

エアコンの作動状態を表示します。
エアコンの操作については、186 ページの「空調」をご覧ください。

トリップコンピューター

電源ポジションが ON のとき、次の情報を表示することができます。

- 瞬間燃費表示
- 平均燃費表示
- 走行可能距離表示
- 平均車速表示

瞬間燃費表示
↓
平均燃費表示
↓
走行可能距離表示
↓
平均車速表示

INFO ボタンを押すごとに、次のように表示が切り替わります。

知識

表示される数値は、周囲の状況、走行条件などにより、正しい数値を表示しないことがあります。

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

トリップコンピューターに異常があるときは、日産販売会社にご相談ください。

瞬間燃費表示

瞬間 燃費

走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費表示を消費燃料から算出して表示します。

知識

時速が約 5km/h 以下になると - - - km/L を表示します。

平均燃費表示

平均燃費　9.5 km/L

お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO ボタンを 1.5 秒以上押すか、トリップメーターの TRIP A を“0.0”にもどします。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に 1 分間 - - - km/L を表示します。

走行可能距離表示

走行可能距離
160 km

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

知識

走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の指針が E に近づくか、燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

約 5L 以上燃料を加えないと表示は変化しません。

平均車速表示

平均車速
40 km/h

お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と走行時間から、約 10 秒間毎に平均車速を算出して表示します。

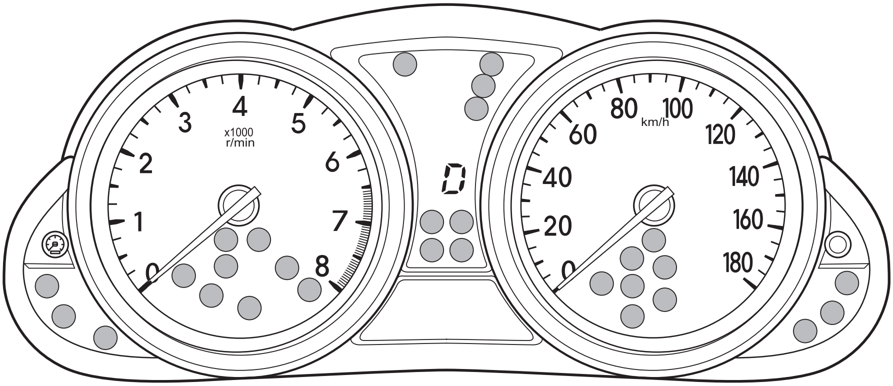
知識

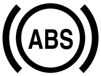
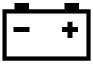
表示されている過去のデータを消去するには、INFO ボタンを 1.5 秒以上押します。データを消去すると、車速を再算出して表示する前に 1 分間 - - - km/h を表示させます。

メーター、警告灯、表示灯の見方

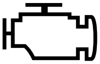
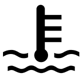
警告灯、表示灯

メーターはグレードや仕様により異なります。



警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	ブレーキ警告灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯 ● 次のようなときは点灯し続ける • ブレーキ液が不足している • EBD (電子制御制動力配分システム) に異常がある	点灯し続けるときは、安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡する
	故障警告表示灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● ブレーキスイッチに異常があると点灯し続ける ● 充電装置に異常があると点灯し続ける (PE-VPS 型エンジン)	点灯し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
	ABS 警告灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● システムに異常があるときは点灯し続ける	点灯し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
	充電警告灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 ● エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯	点灯したときはただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡する

メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	油圧警告灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 ● エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯	● エンジン回転中に点灯したときはただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検する ● エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは日産販売会社に連絡する
	エンジン警告灯	**点灯するとき** ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 ● エンジン制御システムに異常があると点灯し続ける **点滅するとき** エンジン制御システムに異常があると点滅し続ける	点灯 / 点滅したときは高速走行をせず、日産販売会社で点検を受ける
	高水温警告灯（赤）	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯	**点滅したとき** エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行する **点灯したとき** ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をする → 286 ページ「オーバーヒートについて」

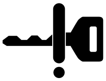
警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	アイドリングストップ警告灯 (橙) グレード/仕様別装備	**点灯するとき** ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 ● アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯 ● アイドリングストップ中に次の操作を行なうと点灯 • ボンネットを開けたとき • D/M (2 速固定モードでない) レンジで運転者が車両から降りようとしたとき (運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき) **点滅するとき** システムに異常があるときは点滅し続ける	点滅し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
	アイドリングストップ表示灯 (緑) グレード/仕様別装備	**点灯するとき** ● アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯 ● エンジンが再始動すると消灯 **点滅するとき** ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅 ブレーキペダルの踏力が不足している可能性がある	点滅しているときは、少しブレーキペダルを踏み足す

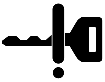
メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
4WD	4WD 警告灯 グレード/仕様別装備	**点灯するとき** ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● 4WD システムに異常があると点灯 **点滅するとき** ● ディファレンシャルオイルの温度が異常に高いと点滅 ● スタックからの脱出時など、前後輪の回転差が異常に大きい状態が続くと点滅	● 点灯したときは、日産販売会社に連絡する ● 点滅したときは、エンジンをかけたまま安全な場所に停車する しばらくしても警告灯が消灯しないときは、日産販売会社に連絡する
AT	オートマチックトランスミッション警告灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● 走行中、システムに異常があると点灯	点灯したときは日産販売会社で点検を受ける
	電動パワーステアリング警告灯	**点灯するとき** ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 ● エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯	点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止する エンジンを再始動した後でも消灯しない場合は、日産販売会社に連絡する
	エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯	電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯	次のようなときはシステムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受ける ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき ● 点灯 / 点滅し続けるとき

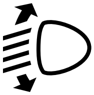
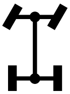
警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	燃料残量警告灯	電源ポジションが ON のとき、燃料が少なくなると点灯 **知識** ● 燃料タンク内の燃料残量が 9L 前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。 ● 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。	燃料を補給する
	シートベルト警告灯	**点灯するとき** 電源ポジションが ON のとき、運転席 / 助手席シートベルトを着用していないと点灯 **点滅するとき** 運転席 / 助手席シートベルトを着用しないまま約 20km/h 以上になるとしばらくの間点滅	シートベルトを着用する
	半ドア警告灯	ドア、バックドアが確実に閉まっていないと点灯	ドア、バックドアを確実に閉める

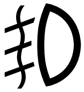
メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	KEY 警告灯 (赤)	**点灯するとき** ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● インテリジェントキー機能になんらかの故障が発生すると点灯し続ける **点滅するとき** ● 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションを OFF 以外にできないことを知らせる • インテリジェントキーの電池が切れたとき → 246 ページ「インテリジェントキー」 • インテリジェントキーが作動範囲内にないとき • インテリジェントキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき → 19 ページ「インテリジェントキー機能を使っての操作」 • インテリジェントキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき ● 次のようなときは警告灯が点滅し続け、電源ポジションを OFF にせずに、インテリジェントキーを車外に持ち出したことを知らせる インテリジェントキーを車内にもどすと消灯 • 電源ポジションを OFF にせずに、運転席ドアを開け、インテリジェントキーを車外に持ち出したとき • 電源ポジションを OFF にせずに、インテリジェントキーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき	

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	KEY 表示灯（緑）	**点灯するとき** 電源ポジションが OFF の状態でスタートノブを押し込んだとき、正規のインテリジェントキーが車内にあることを確認できると点灯し、スタートノブを ACC にまわすことができることを知らせる → 114 ページ「エンジンの始動」 **点滅するとき** インテリジェントキーの電池容量が残り少なくなっていると、電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたときに、30 秒間点滅	点滅したときは、インテリジェントキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換する → 246 ページ「インテリジェントキー」
	TCS/VDC 作動表示灯	**点灯するとき** 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 **点滅するとき** 走行中に TCS または VDC が作動すると点滅	次のようなときはシステムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受ける ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき ● 走行中に点灯したとき
	VDC OFF 表示灯	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● VDC OFF スイッチを押して、VDC を解除すると点灯	次のようなときはシステムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受ける ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき ● VDC を解除していないのに点灯したとき

メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	ヘッドランプオートレベライザー警告灯 グレード/仕様別装備	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● システムに異常があるときは点灯し続ける	点灯し続けるときは日産販売会社で点検を受ける
	低水温表示灯（青）	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 ● エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続ける	十分に暖機しても点灯したままのときは、日産販売会社で点検を受ける
	ECO インジケーター	環境にやさしい運転をしているときに点灯し、アクセルペダルを急激に踏み込むと消灯	
	セレクトレバー位置表示	電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示	
	4WD 表示灯 グレード/仕様別装備	● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 ● 4WD スイッチを押して 4WD が作動可能な状態になると、4WD 表示灯が点灯	
	ヘッドランプ上向き表示灯	ヘッドランプを上向き（ハイビーム）にすると点灯し、下向き（ロービーム）にすると消灯	
	方向指示 / 非常点滅表示灯	方向指示器 / 非常点滅灯スイッチを操作すると点滅	点滅が異常に速くなったときは、日産販売会社で点検を受ける

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	セキュリティ表示灯 グレード/仕様別装備	● 電源ポジションを ON から OFF にするとシステムが作動し点滅 ● 登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、約 3 秒間点灯したあと消灯	登録されたキーで電源ポジションを ON にしても点灯 / 点滅し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
CRUISE	ASCD メイン表示灯 (橙) グレード/仕様別装備	ON スイッチを押すと点灯し、OFF スイッチを押すと消灯	
	ASCD 表示灯 (緑) グレード/仕様別装備	速度が設定されると点灯し、OFF スイッチを押すと消灯	
	車幅灯表示灯	車幅灯が点灯しているときに点灯	
	フォグランプ表示灯 グレード/仕様別装備	フォグランプを点灯させると点灯し、フォグランプを消灯させると消灯	

トランスミッションの使いかた

オートマチックトランスミッション

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが､安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

クリープ現象

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが P、N 以外にはいっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

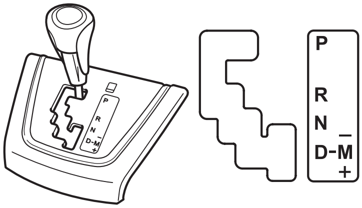
キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンすることができます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

各位置の働き

2WD 車



P（パーキング）

駐車およびエンジンを始動する位置。
P でのみエンジンスイッチからキーを抜くことができます。

R（リバース）

車を後退させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはいっていることを運転者に知らせます。

N（ニュートラル）

動力が伝わらない位置。
エンジンを始動することはできますが、安全のため P の位置で行なってください。

D（ドライブ）

通常走行する位置。

（シフトスイッチ装備車）
一時的にダイレクトモードにすることができます。
→ 153 ページ「ダイレクトモード（シフトスイッチ装備車）」
車速に応じて 1 速から 6 速までを自動変速します。

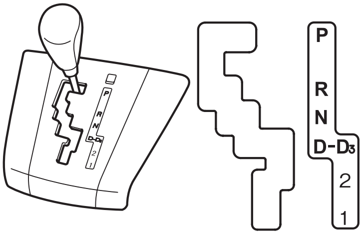
M（マニュアル）

マニュアル走行する位置。
ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
→ 149 ページ「マニュアルモード (2WD 車)」

運転する前に
運転するときに
快適装備の使いかた
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

トランスミッションの使いかた

4WD 車



P（パーキング）

駐車およびエンジンを始動する位置。
P でのみエンジンスイッチからキーを抜くことができます。

R（リバース）

車を後退させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはいっていることを運転者に知らせます。

N（ニュートラル）

動力が伝わらない位置。
エンジンを始動することはできますが、安全のため P の位置で行なってください。

D（ドライブ）

通常走行する位置。
車速に応じて 1 速から 4 速までを自動変速します。

D3（ドライブ）

下り坂などエンジンブレーキが必要なときや、カーブの多い上り坂を走行するときに使用する位置。
車速に応じて 1 速から 3 速までを自動変速します。

2（セカンド）

下り坂などエンジンブレーキが必要なときに使用する位置。
2 速に固定されます。

1（ファースト）

急な下り坂など強力なエンジンブレーキが必要なときに使用する位置。
1 速に固定されます。

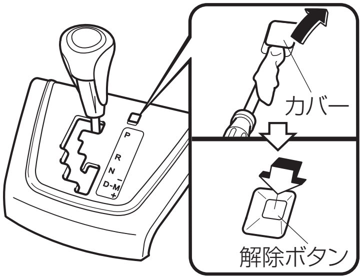
シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

知識

電源ポジションが OFF のときは、セレクトレバーを P から動かすことはできません。

シフトロック装置の解除



万一、セレクトレバーを P から操作できないときは、カバーをはずし、ブレーキペダルを踏み、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押したままセレクトレバーを操作します。

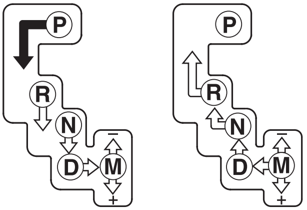
知識

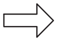
マイナスドライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスドライバーなどが直接カバーにあたると、傷がつくおそれがあります。

トランスミッションの使いかた

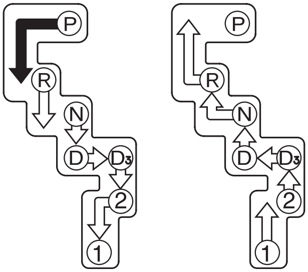
セレクトレバーの操作

2WD車



レバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
	ゲートにそって、そのままセレクトレバーを操作します。

4WD車



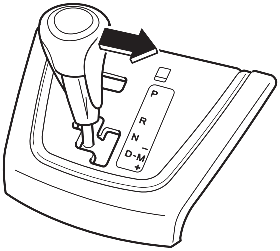
知識

- **誤作動防止について**
  の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行なってください。
- **先にブレーキペダルを踏んでから操作する**
  セレクトレバーを P から操作するとき、セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

AAS モードについて グレード/仕様別装備

AAS（アクティブアダプティブシフト）モードとは、運転者が快適に運転するため、道路の状況や運転者の操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。
セレクトレバーが D の状態で、登り坂や下り坂、コーナーや高地を走行したり、アクセルペダルをすばやく操作することで AAS モードになる場合があります。
走行状態、路面状態、シーンや操作に応じて、最適なギヤ位置を維持するためシフトチェンジが遅れたり、行なわれない場合がありますが、異常ではありません。

マニュアルモード (2WD 車)

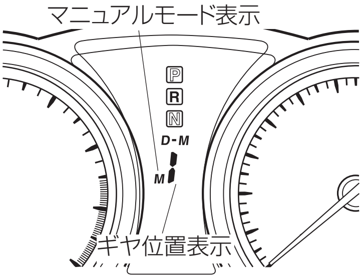


セレクトレバーを D から M にいれるとマニュアルモードになります。
マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
セレクトレバーを M から D にいれるとマニュアルモードが解除されます。

知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは 1 速になります。
- D レンジ 5 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 4 速になります。また、D レンジ 6 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 5 速になります。

表示灯



マニュアルモード表示
マニュアルモードにすると、メーター内にあるシフトポジションインジケーターの M が点灯します。

ギヤ位置表示
ギヤ位置が表示されます。
高速走行中､速度によりシフトダウンできないときは､ギヤ位置表示が 2 回点滅します。

知識

自動変速になる場合があります

オートマチックトランスミッションフルード (ATF) の温度が高温になると、ギヤ位置表示が消灯しマニュアルモードが解除されるため自動変速になる場合があります。これは AT を保護するための正常な機能です。しばらくして ATF 温度が下がるとギヤ位置表示が再び点灯しマニュアルモードでの走行が可能になります。

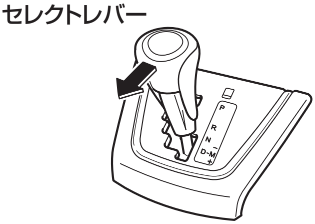
トランスミッションの使いかた

シフトチェンジ (変速) のしかた

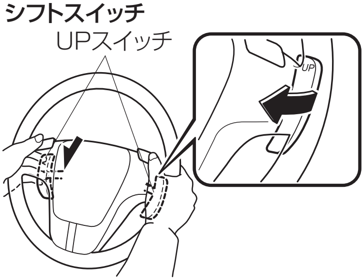
セレクトレバーまたはシフトスイッチによりシフトチェンジすることができます。

- シフトスイッチ装備車は、左右のシフトスイッチを同時に操作しても 1 段しか変速されません。
- シフトスイッチ装備車は、シフトスイッチの UP スイッチと DOWN スイッチを同時に操作しても変速されません。

シフトアップ (M1 → M2 → M3 → M4 → M5 → M6)



(セレクトレバーでの操作)
セレクトレバーを+側に動かすとシフトアップ (高速ギヤに変速) します。



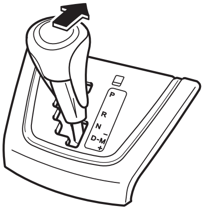
(シフトスイッチでの操作)
ステアリング裏側の UP スイッチを手前に引くとシフトアップ (高速ギヤに変速) します。

知識

- 低速時は速度によりシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードではタコメーターの指針がレッドゾーンに入らないように運転してください。なお、エンジン回転数が高いとき、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。

シフトダウン (M6 → M5 → M4 → M3 → M2 → M1)

セレクトレバー



(セレクトレバーでの操作)
セレクトレバーを−側に動かすとシフトダウン (低速ギヤに変速) します。

シフトスイッチ

(シフトスイッチでの操作)
ステアリング表側の DOWN スイッチを押すとシフトダウン (低速ギヤに変速) します。

⚠ 警告

必ず守る

高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避ける。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでもキックダウンしません。
  → 144 ページ「オートマチック車の特性」

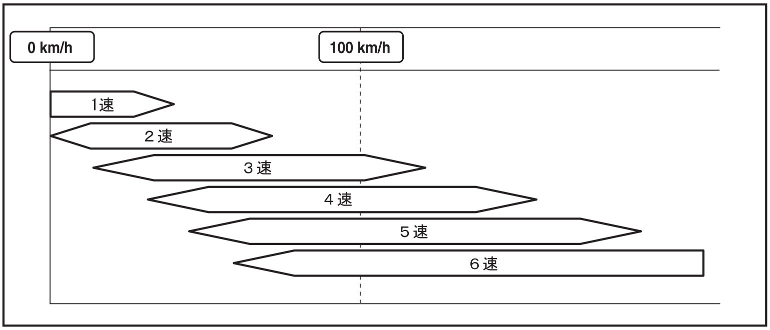
2 速固定モード

車速が約 10 km/h 以下のときにセレクトレバーを+側に動かして 2 速にすると 2 速固定モードになり、ギヤ位置は 2 速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。
2 速固定モードのときに、セレクトレバーを+側または−側に動かして 2 速以外にすると 2 速固定モードは解除されます。

トランスミッションの使いかた

シフトチェンジ（変速）制限速度

マニュアルモードでは、各ギヤ位置において次の表のような制限速度を設けています。制限速度範囲内のときにセレクトレバーを操作すると変速します。



シフトアップ

制限速度より低いときはシフトアップしません。

シフトダウン

制限速度を超えているときはシフトダウンしません。
制限速度を超えていてシフトダウンしなかった場合には、ギヤ位置表示が 2 回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、シフトダウンします。

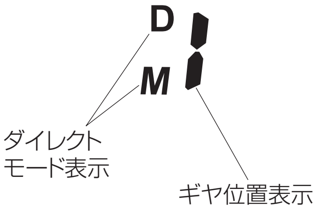
オートシフトダウン

減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。

知識

2 速固定モード時は、2 速のまま停車します。

ダイレクトモード（シフトスイッチ装備車）



セレクトレバーをDの位置で走行中、シフトスイッチを操作すると一時的にギヤ位置を切り替えることができます。
ダイレクトモードのときは、表示灯にDとMが点灯し、使用しているギヤ位置が表示されます。
ダイレクトモードは､次の状態になると解除されます。

- 定速走行になったとき
- タコメーターの指針がレッドゾーンに近づいたとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだとき
- 停車したとき、または、低速走行になったとき

各セレクトレバー位置での限界速度（4WD車）

セレクトレバーの位置	速度 (km/h)
2	97
1	47

エンジンの過回転を防ぐために、左記の速度をこえないように運転してください。

知識

車速が各セレクトレバー位置での限界速度より高いときは、セレクトレバーを2または1に動かしてもシフトダウンしないことがあります。

トランスミッションの使いかた

オートマチック車を運転するときに

発進または後退するとき

⚠ 警告

禁止

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行いますので、アクセル操作は慎重に行ってください。

1. ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
   前進 …D、D3、2、1、M
   後退 …R
2. セレクトレバーの位置を確認します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

⚠ 注意

必ず守る

後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。

知識

- セレクトレバーを R にいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはいっていることを運転者に知らせます。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーを R にいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーを N にもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

走行するとき

通常走行

セレクトレバーをDにいれて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。

(6 速オートマチック車)

ギヤは 1 速から 6 速の間で、自動的に変速されます。

(4 速オートマチック車)

ギヤは 1 速から 4 速の間で、自動的に変速されます。

マニュアルモード走行 グレード/仕様別装備

停車中または走行中にセレクトレバーを D から M にいれると、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

→ 149 ページ「マニュアルモード (2WD 車)」

急加速

セレクトレバーが D のとき、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

急な上り坂での走行

(2WD 車)

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

(4WD 車)

坂の勾配に応じ、セレクトレバーを 2 または 1 にいれてください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

下り坂での走行

(2WD 車)

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。

マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて 1 段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

(4WD 車)

エンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを D3 にいれてください。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを 2 または 1 にいれてください。

停車するとき

1. ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
3. 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N または P にいれます。

トランスミッションの使いかた

⚠警告

禁止

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。

セレクトレバーがＰ、Ｎ以外にはいっているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認する。

意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

駐車するとき

1. 車を完全に止めます。
2. セレクトレバーをＰにいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
4. エンジンを止めます。

⚠警告

必ず守る

駐車するときは、セレクトレバーをＰにいれ、パーキングブレーキをかける。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをＰにいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止

エンジンをかけたまま駐車しない。

万一セレクトレバーがＰ以外にはいっていた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

セレクトレバーをＰにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをＰにいれると､トランスミッションに無理な力ががかかり故障につながるおそれがあります。

そのほかに気をつけること

⚠警告

禁止

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進しない。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキの操作

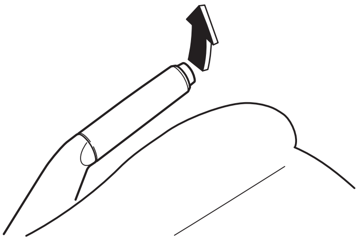
パーキングブレーキ

⚠警告

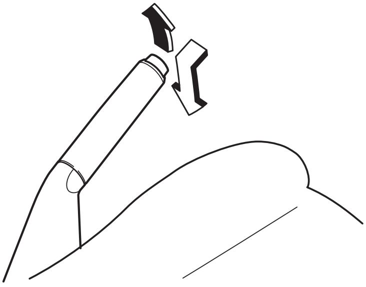
パーキングブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

かけるとき



解除するとき



レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。

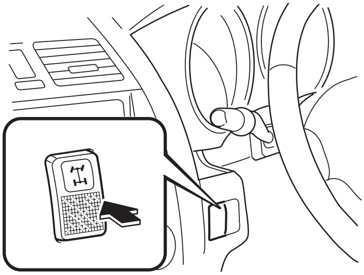
4WD について

4WD は、積雪路、砂地、ぬかるみ、急な坂などすべりやすい路面ですぐれた走行性を発揮します。

走行するときは

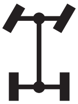
オフロード走行やラリー走行を目的に作られた万能車ではありません。凸凹や岩を乗り越えたり、川を渡ったりしないでください。
4WD 車であっても、アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行ない、常に安全運転を心がけてください。

4WD スイッチ



スイッチを押すと 4WD が作動可能な状態になります。メーター内の 4WD 表示灯が点灯します。
スイッチをもう一度押すと、4WD が作動しない状態になります。メーター内の 4WD 表示灯が消灯します。

4WD 表示灯



電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
4WD スイッチを押して 4WD が作動可能な状態になると、4WD 表示灯が点灯します。

ヘッドランプスイッチ

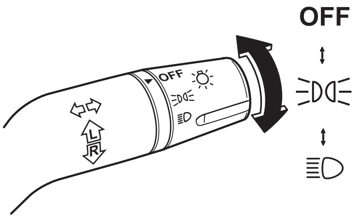
ヘッドランプの点灯 / 消灯

電源ポジションに関係なく使用できます。ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯 / 消灯します。

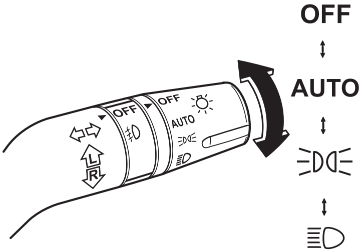
知識

> エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

標準タイプ



オートライト機能付きタイプ



スイッチ位置	ランプ名称	
	ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号灯
OFF	消灯	消灯
AUTO	自動で点灯 / 消灯	
	消灯	点灯
	点灯	点灯

オートライト機能（オートライト機能付きタイプ）

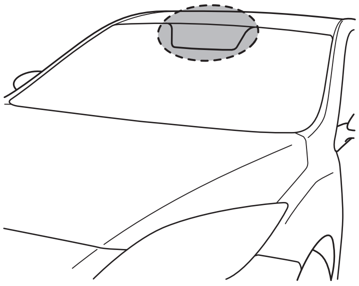
電源ポジションが ON のとき使用できます。
ランプスイッチを AUTO の位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯 / 消灯します。

周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯	点灯

⚠ 注意

禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。

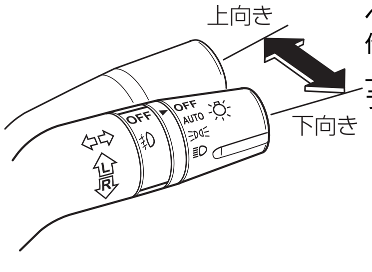


知識

長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなってもランプがすぐには消灯しない場合があります。

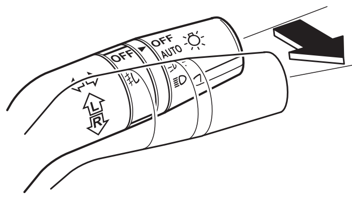
この場合はランプスイッチを OFF の位置にすれば消灯します。

ヘッドランプの切り替え



ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。
上向き（ハイビーム）のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

パッシング合図



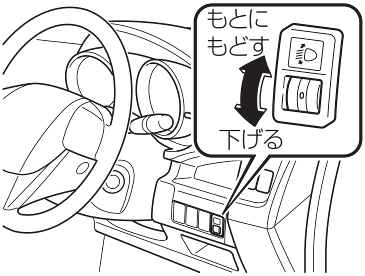
ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き（ハイビーム）で点灯します。
同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

ヘッドランプレベリング

オートタイプ

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

マニュアルタイプ



ヘッドランプが点灯しているとき、ヘッドランプの照らす方向を下向きに調節することができます。乗員や荷物が多いときなど、ヘッドランプが通常よりも上向きを照らしているときは、スイッチを下方向にまわしてヘッドランプの照らす方向を下向きにしてください。スイッチの数字が大きいほど下向きになります。

スイッチ位置の目安

積載状況		スイッチ位置
乗員	荷室	
運転席のみ乗車時	非積載時	0
	満載時	3
運転席と助手席乗車時	非積載時	0
運転席と助手席およびサードシート乗車時	非積載時	1
全席乗車時	非積載時	1
	満載時	2

知識

車検などで光軸調整をするときは、スイッチの位置を **0** にしてから行なってください。

キセノンヘッドランプについて グレード/仕様別装備

キセノンヘッドランプは、太陽光に近い白い光で広範囲を照らします。
ヘッドランプのロービームに装備されています。

警告

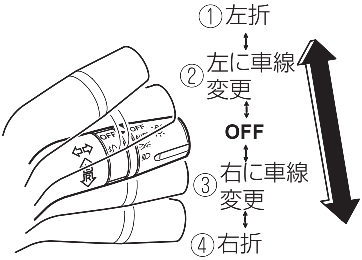
キセノンヘッドランプの交換・修理をするときは、必ず日産販売会社へ相談する。

必ず守る

ロービームにはキセノンヘッドランプが装備されています。キセノンヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

方向指示器

方向指示器の操作



電源ポジションがONのとき使用できます。

車線変更する場合

レバーを車線変更の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

左折、または右折する場合

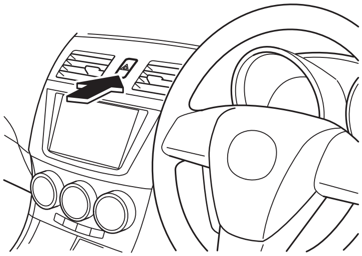
レバーを左折または右折の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、ハンドルをもどすと、自動でもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

知識

点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

スイッチの使いかた

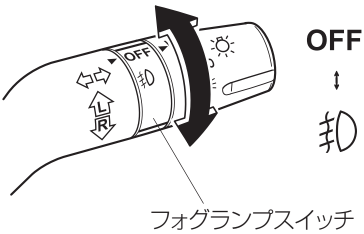
非常点滅灯スイッチ



故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯および、メーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。
もう一度押すと消灯します。

フォグランプスイッチ グレード/仕様別装備

霧などで視界が悪いときに使用します。



ランプスイッチが または の位置のとき使用できます。
フォグランプスイッチを の位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が点灯します。
フォグランプスイッチを OFF の位置にする、またはランプスイッチを OFF の位置にすると消灯します。

ワイパー / ウォッシャースイッチ

電源ポジションが ON のとき作動します。

⚠警告

寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なう。

ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。

ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。

ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

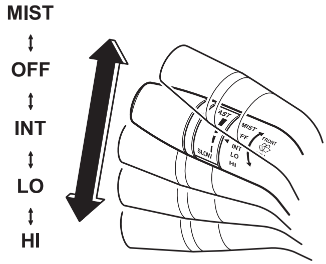
知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。針などでつまりを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを OFF の位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

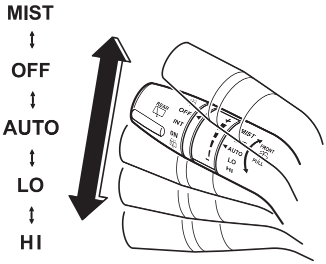
フロントワイパー / ウォッシャー

ワイパーの操作

標準タイプ

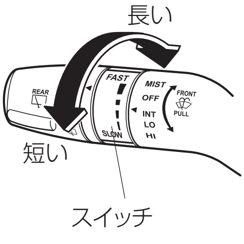


雨滴感知機能付きタイプ



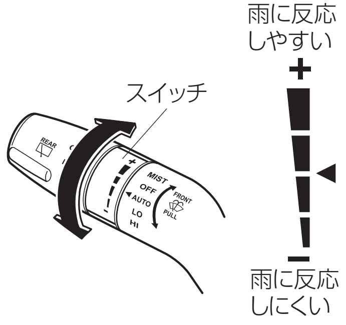
レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上に押し上げている間作動
OFF	停止
INT	間けつ作動
AUTO	雨滴感知機能
LO	低速作動
HI	高速作動

間けつ作動時間の調整（標準タイプ）



レバーをINTの位置にしているとき、スイッチをまわすと、間けつ作動時間を調整できます。

雨滴感知機能（雨滴感知機能付きタイプ）



レバーをAUTOの位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

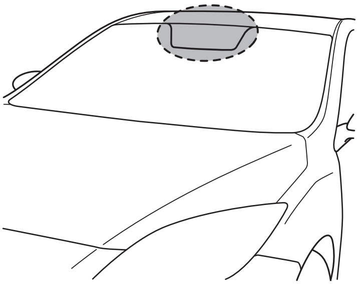
雨量	作動状態
少ない	間けつ作動
普通	低速作動
多い	高速作動

スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

⚠注意

禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を正確に感知できなくなります。



禁止

電源ポジションが ON で、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。

- **フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。**
- **フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。**
- **フロントガラスに衝撃をあたえたとき。**
- **レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。**

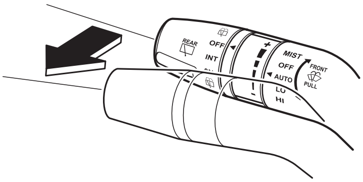
必ず守る

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

知識

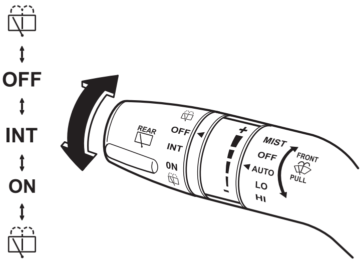
- レインセンサーの温度が− 10° C 以下、または 85° C 以上のときは雨滴感知ワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、雨滴感知ワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物（氷や塩水などを含むもの）が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、雨滴感知ワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーをLOまたはHIにしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてから雨滴感知ワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線等の影響により、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーをOFFの位置にして走行することをおすすめします。

ウォッシャーの操作



レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

リヤワイパー / ウォッシャー

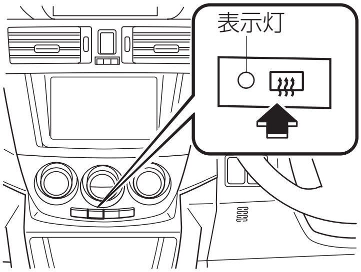


スイッチ位置	作動状態
	リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動 *1
ON	連続作動
INT	間けつ作動
OFF	停止
	リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動

*1 ワイパーの作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、スイッチを ON の位置から上側にまわします。

リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ

リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。
電源ポジションが ON のとき使用できます。
スイッチを押すと約 15 分間作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。



⚠ 注意

禁止

リヤウインドーの内側には熱線が取り付けてあります。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。
→ 252 ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

知識

エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

ミラーの曇り取り（4WD 車）

電源ポジションが ON のとき、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーの曇りが取れます。
→ 170 ページ「リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ」

ホーン

ハンドルの📯マーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

ABS とは

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

⚠警告

必ず守る

ABS を過信せず安全運転に心がける。

ABS が作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が長くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **ジャリ道、新雪道を走行しているとき。**
- **タイヤチェーンを装着しているとき。**
- **道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。**
- **凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。**

⚠注意

必ず守る

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。

ABS 装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。万一の危険な状況では、次のようにしてください。

1. 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
2. ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じることがあります。これは ABS が正常に作動しているときの現象です。
3. 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

知識

- ABS は低速（約 10km/h 以下）では作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後にモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

ヒルスタートアシスト (HSA) について

ヒルスタートアシスト (HSA) とは (アイドリングストップシステム装備車)

ヒルスタートアシスト (HSA) とは、坂道発進を補助する機能です。坂道停車後の発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる際の車両の後退を防ぎます。
急な坂道でブレーキペダルを放したときに自動でブレーキ力を保持します。
セレクトレバーが前進の位置のときは上り坂で作動し、R のときは下り坂で作動します。

警告

禁止

ヒルスタートアシスト (HSA) を過信しない。

ヒルスタートアシスト (HSA) はあくまでも発進するときの補助装置です。システムが作動する時間は限られています (約 2 秒間) ので、システムを過信して発進すると車両が動き出して思わぬ事故につながる恐れがあるため危険です。

知識

- 低勾配の坂道ではヒルスタートアシスト (HSA) が作動しません。また、積載状態によって作動する勾配が若干変化します。
- パーキングブレーキを引いているときはヒルスタートアシスト (HSA) は作動しません。
- ヒルスタートアシスト (HSA) 作動中にブレーキペダルが硬くなったりペダルが振動することがありますが、異常ではありません。
- TCS/VDC 作動表示灯点灯中、ヒルスタートアシスト (HSA) は作動しません。
- VDC OFF スイッチを押して TCS/VDC を解除してもヒルスタートアシスト (HSA) は解除されません。
- アイドリングストップ警告灯 (橙) が点滅しているときはヒルスタートアシスト (HSA) が作動しないことがあります。
- アイドリングストップ中はヒルスタートアシスト (HSA) は作動しませんが、アイドリングストップ発進補助機能が作動して車両が動き出すことを防ぎます。

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS とは

TCS（トラクションコントロールシステム）は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。

警告

必ず守る

TCS を過信せず安全運転に心がける。

TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- エンジン回転が高いときに TCS が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCS を解除するときは、VDC OFF スイッチを押して解除してください。
→ 175 ページ「VDC OFF スイッチ」

TCS/VDC 作動表示灯

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または VDC が作動すると点滅します。

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) について

VDC とは

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABS や TCS などにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。
VDC は約 20km/h 以上で作動可能な状態になります。
「ABS について」、「TCS について」もあわせてお読みください。
→ 171 ページ「ABS とは」
→ 173 ページ「TCS とは」

⚠ 警告

必ず守る

VDC を過信せず安全運転に心がける。

VDC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。
特に VDC 作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。

⚠ 注意

必ず守る

VDC を正常に作動させるために次の点をお守りください。

- **前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン（溝の模様）が同一のタイヤを装着してください。**
- **摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。**
- **指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用しないでください。**

知識

- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、VDC が正常に作動しないことがあります。
- 電源ポジションを ON にした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

TCS/VDC 作動表示灯

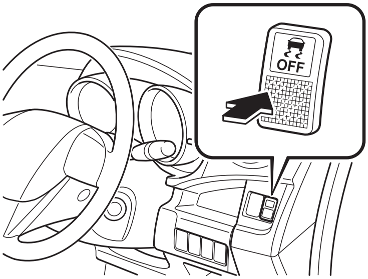
点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または VDC が作動すると点滅します。

VDC OFF スイッチ



スイッチを押すと TCS/VDC が解除され、メーター内の VDC OFF 表示灯が点灯します。
もう一度押すと TCS/VDC が作動可能な状態になり、VDC OFF 表示灯が消灯します。

知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時に TCS が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS/VDC を解除します。
- TCS/VDC を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると TCS/VDC は作動可能な状態にもどります。
- TCS/VDC を解除したときは、TCS/VDC が装備されていない車と同じ走行性能になります。

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) について

VDC OFF 表示灯

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- VDC OFF スイッチを押して、TCS/VDC を解除すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - TCS/VDC を解除していないのに点灯したとき。

ASCD（オートスピードコントロール装置）について

ASCD とは グレード/仕様別装備

アクセルペダルを踏まなくても車速を約 30 ～ 100km/h の間に設定できる装置です。
高速道路、加速 / 減速の繰り返しが少ない自動車道などで使用してください。

⚠警告

禁止

次のような場所では使用しない。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分にとれない道路（道路状況に合わせた走行はできません）**
- **急な下り坂（エンジンブレーキが十分に効かず、セット速度をこえることがあります）**
- **凍結路や積雪路などのすべりやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります）**

表示灯

CRUISE

ASCD メイン表示灯（橙）

点灯するとき

ON スイッチを押すと点灯します。
OFF スイッチを押すと消灯します。

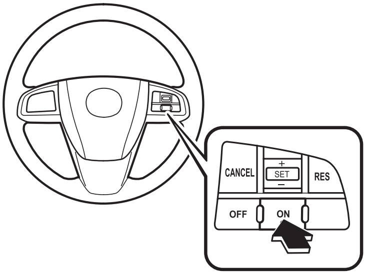
ASCD 表示灯（緑）

点灯するとき

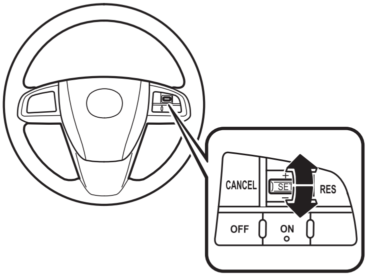
速度が設定されると点灯します。
OFF スイッチを押すと消灯します。

ASCD（オートスピードコントロール装置）について

設定するとき



1. ON スイッチを押すと速度の設定ができる状態になります。同時にメーター内の ASCD メイン表示灯が点灯します。



2. アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。
3. SET スイッチを引き上げるか引き下げると定速走行をはじめます。同時にメーター内の ASCD 表示灯が点灯します。ASCD 表示灯が点灯したら、すぐにスイッチから手を離します。

⚠ 警告

必ず守る

ASCD を使用しないときは、必ず OFF にする。

常に使用できる状態にしておくと、誤って ASCD を作動させ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

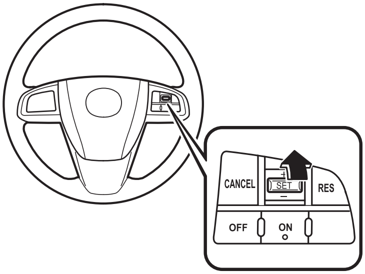
知識

- 急な上り坂または下り坂など、走行条件によっては設定速度を一定に保てない場合があります。
- スイッチを引き上げたままにすると加速をはじめます。スイッチを引き下げたままにすると減速をはじめます。

設定速度を上げるとき

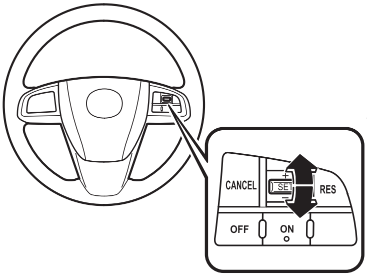
次の操作で設定速度を上げることができます。

スイッチで加速するとき



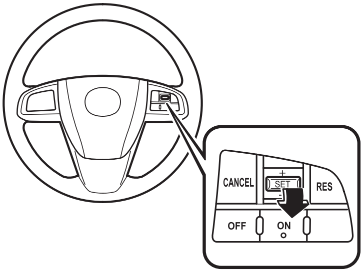
SET スイッチを引き上げたまま、希望の速度になったところで手を離します。
スイッチを引き上げてすぐに手を離すと、設定速度の調節 (約 1km/h) ができます。たとえば、スイッチを 4 回引き上げると、設定速度が約 4km/h 上がります。

アクセルペダルで加速するとき



アクセルペダルを踏み、希望の速度になったところで SET スイッチを引き上げるか引き下げて手を離します。
スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を離すと、もとの設定速度にもどります。

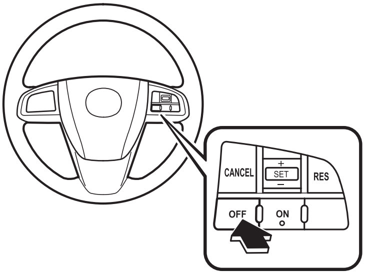
設定速度を下げるとき



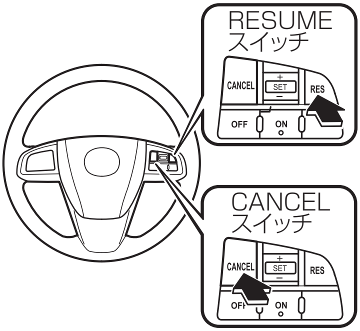
SET スイッチを引き下げたまま、希望の速度になったところで手を離します。
スイッチを引き下げてすぐに手を離すと、設定速度の調節 (約 1km/h) ができます。たとえば、スイッチを 4 回引き下げると、設定速度が約 4km/h 下がります。

ASCD（オートスピードコントロール装置）について

解除するとき



OFF スイッチを押すと、ASCD が解除され、ASCD 表示灯と ASCD メイン表示灯が消灯します。



次のようなときは、ASCD が解除され ASCD 表示灯が消灯しますが、ASCD メイン表示灯は点灯したままです。車速が 30km/h 以上であれば、RESUME スイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。

- CANCEL スイッチを押したとき。
- ブレーキペダルを踏んだとき。
- 車速が設定速度から 15km/h 以上下がったとき。

知識

車速が 30km/h 未満になると、ASCD が解除されます。この場合、車速を 30km/h 以上にして RESUME スイッチを押しても、もとの設定速度にはもどりません。ASCD を設定しなおしてください。

悪天候での運転

雨の日の運転

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

冠水した道路は

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ず日産販売会社へご相談ください。

積雪、寒冷時の運転

すべりやすい路面を走行するときは

早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。
→ 258 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

ハンドルの切れ具合に注意

走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。
ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。
効きが悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

様々な状況での運転のときは

駐車するときは

- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- パーキングブレーキは使わず、セレクトレバーを P にいれてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

⚠ 注意

必ず守る

運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。必要に応じて日産販売会社でお求めください。

知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

環境保護のために

経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車のときにもエンジンを止めましょう。10 分間のアイドリングで、130cc 程度の燃料を浪費します。

不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。
100 kg の不要な荷物を載せて走ると、3% 程度燃費が悪化します。

空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。
空ぶかしは環境にも車にもよくありません。

エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。外気温 25° C の時に、エアコンを使用すると、12% 程度燃費が悪化します。

タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。
タイヤの空気圧が適正値より 50 kPa (0.5 kg/cm^2) 不足した場合、市街地で 2% 程度、郊外で 4% 程度、それぞれ燃費が悪化します。

ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。
速度にムラのある走り方をすると、市街地で 2% 程度、郊外で 6% 程度燃費が悪化します。

経済的速度

一般道路で 40km/h、高速道路で 80km/h 程度の等速走行が経済的です。

アクセルペダルの上手な踏みかた

加速終了時 (オートマチック車)

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

一定速度のとき

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。
アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

JC08 モード燃費について

「JC08 モード」とは

知識

車両カタログに記載されている「JC08 モード」燃費は、お客様の使用環境変化や燃費測定技術の進歩を踏まえて、図 1 のような実際の走行に近い細かな速度変化での運転条件で、エンジン冷間時、暖機後の 2 パターンを図 2 のようなシャシーダイナモメーター上で走行した値です。

ただし、気象条件や渋滞などのお客様の使用環境、急発進、エアコンや電気負荷など実際の走行とは異なる場合があります。

図1.JC08モード走行

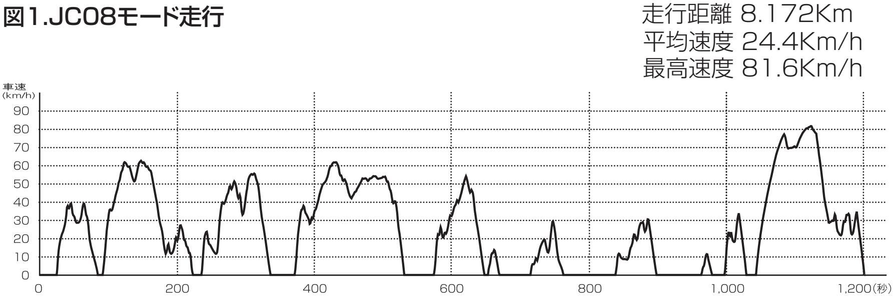
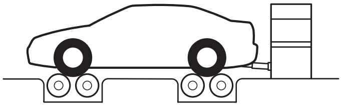


図2.シャシーダイナモメーター



3 快適装備の使いかた

空調 186

エアコンの上手な使いかた............... 186
吹き出し口.. 187
オゾンセーフフルオートエアコン... 189

オーディオ 194

アンテナ.. 194
ステアリングオーディオリモートコントロールスイッチの操作............... 194

シートアレンジ 195

シートアレンジ 195

室内装備 199

サンバイザー...................................... 199
室内照明.. 199
12V 電源 201
カップホルダー.................................. 202
ボトルホルダー.................................. 204
収納 205
フロアカーペット 215

エアコンの上手な使いかた

エアコンを使用する前に

外気取り入れ口について

フロントガラス前部の外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いておきましょう。外気が導入できないため、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。

暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。

エアコンを使用するときは

使用について

エアコンはエンジンをかけた状態で使用してください。

知識

アイドリングストップシステム装備車

- エアコンの操作により、アイドリングストップしないことや、アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが再始動することがあります。
  → 119 ページ「アイドリングストップシステムについて (PE-VPS 型エンジン)」
- オート作動時のアイドリングストップ中は、吹き出し風量がやや減少します。
- アイドリングストップ中は、快適な温度を保持するため、インストルメントパネル中央付近からエアコン装置（モーター等）の作動音が聞こえることがあります。

外気導入と内気循環について

外気導入は、換気したいときやガラスの曇りを取るときに使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用してください。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

エアコンを使用したあとは

長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときにも、内部のオイル循環のため、1 か月に 1 回程度エアコンを作動させてください。

クリーンフィルターについて

花粉やほこりなどの集じん機能を持ったクリーンフィルターを装備しています。快適にお使いいただくために定期的に交換してください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

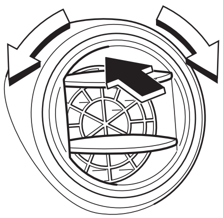
知識

- エアコンの風量が著しく減少したときはクリーンフィルターの目詰まりが考えられます。クリーンフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、クリーンフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。

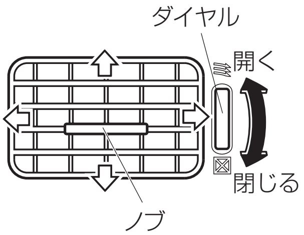
吹き出し口

吹き出し口の調節

側面



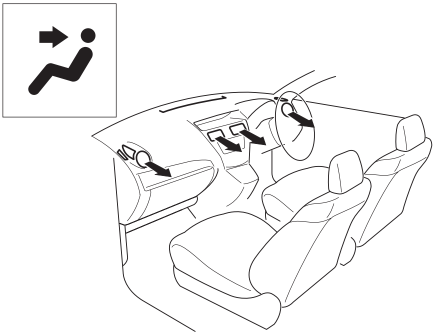
中央



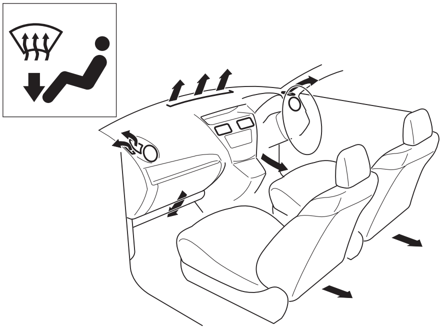
吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

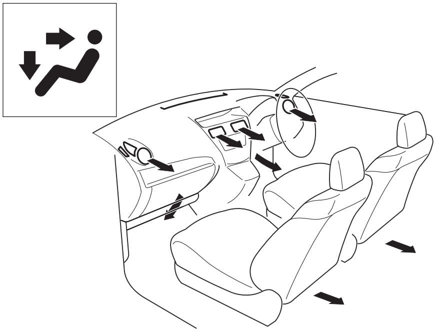
上半身に送風するとき



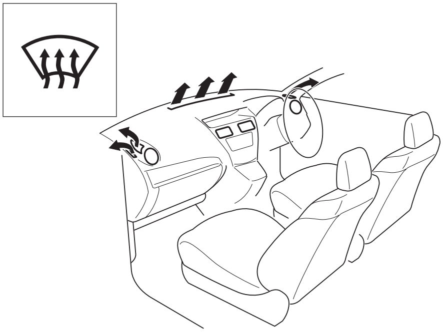
足元への送風とガラスの曇りを取るとき



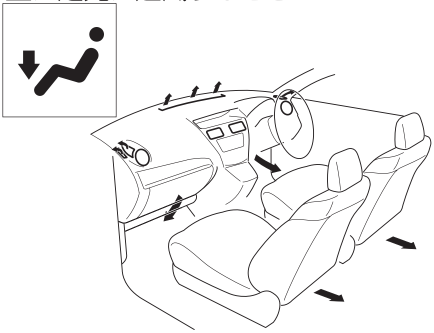
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取るとき

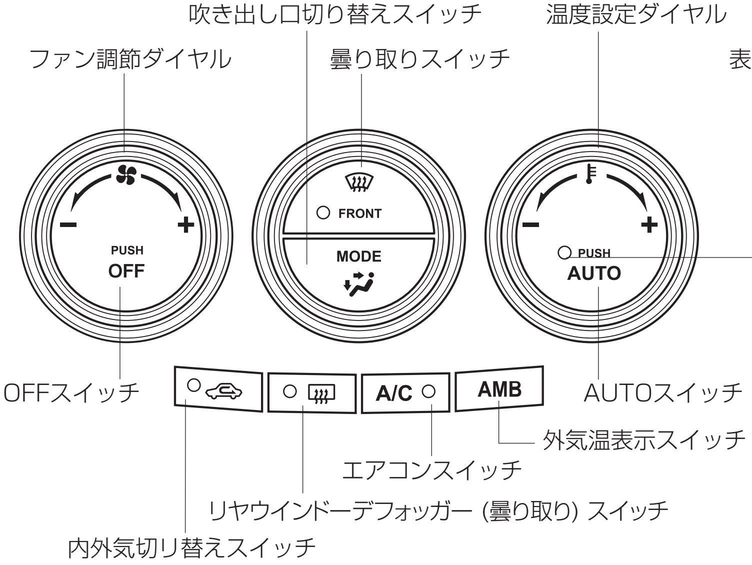


主に足元に送風するとき



オゾンセーフフルオートエアコン

エアコンの表示はインフォメーションセンターディスプレイの表示部に表示されます。
→ 130 ページ「インフォメーションセンターディスプレイ」



各スイッチの使いかた

AUTO スイッチ

スイッチを押すと設定温度にあわせて、以下の機能が自動制御されます。

- 吹き出し風の温度調節
- 吹き出し風量調節
- 吹き出し口の切り替え
- 内気循環 / 外気導入の切り替え
- エアコン (冷房 · 除湿機能) の作動 / 停止
- A/C と A/C ECO の切り替え

知識

表示灯について

- 点灯―オート作動時。
- 消灯―オート作動中に吹き出し口切り替えスイッチ、ファン調節ダイヤル、曇り取りスイッチのいずれかのスイッチを操作したとき。
  操作した箇所以外は自動で作動しています。

OFF スイッチ

スイッチを押すとファンの作動を停止します。

温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。
18.0 から 32.0 の間で 0.5 ずつ変化します。

知識

18.0 に設定すると最大冷房、32.0 に設定すると最大暖房に固定されます。

ファン調節ダイヤル

風量を 7 段階に調節できます。

吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。
→ 188 ページ「吹き出し口の選択」

知識

吹き出し口をに設定するには、曇り取りスイッチを押してください。

エアコンスイッチ

AUTO スイッチが ON のときまたはファンが作動しているとき、スイッチを押すごとにエアコン (冷房･除湿機能) の作動と停止が切り替わります。
エアコン作動中は表示灯が点灯します。

知識

- ファンが作動していない状態でも、エアコンスイッチを押すとエアコンが作動します。
- A/C と A/C ECO が自動制御によって切り替わります。
  A/C ECO は A/C よりもエアコンの作動頻度は少なくなりますが、経済的な運転になります。
- 外気温が 0° C 近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しません。

内外気切り替えスイッチ

内気循環 (外気を遮断する) と外気導入 (外気を室内に入れる) の切り替えができます。
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

知識

寒いときや湿度が高いときは､長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

- 内気循環 (表示灯点灯)
  トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入 (表示灯消灯)
  外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

曇り取りスイッチ

フロントガラス、フロントドアガラスの曇りを取りたいときに使用します。
→ 192 ページ「ガラスの曇りを取るとき」

外気温表示スイッチ

インフォメーションセンターディスプレイに外気温が表示されます。スイッチを押すごとに、外気温の表示と非表示が切り替わります。

知識

外気温表示の数値は、周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なる場合があります。

通常の使いかた

1. AUTO スイッチを押します。吹き出し口、内外気切り替え、吹き出し風量が自動的に調整されます。
2. 温度設定ダイヤルを操作して希望温度にあわせます。

知識

- 最初は温度設定ダイヤルを 25.0 前後にあわせて使用し、その後お好みで調節してください。
- 設定温度を極端に低く（高く）しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

3. 作動を停止したいときは、OFF スイッチを押します。

ガラスの曇りを取るとき

曇り取りスイッチを押します。
自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、フロントドアガラスに送風されます。吹き出し風量も多くなります。

警告

禁止

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。

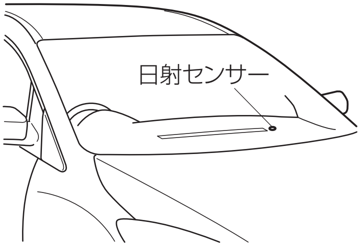
ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

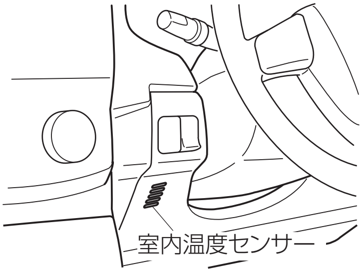
- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

日射センサーについて



日射センサーの上に物を置かないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

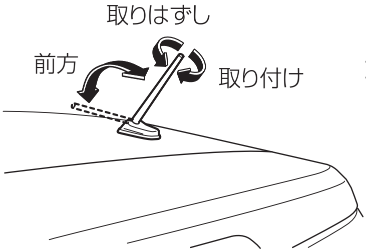
室内温度センサーについて



室内温度センサーをふさがないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

アンテナ

可倒・脱着式

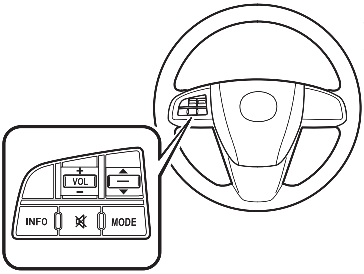


ラジオを使用するときは、アンテナを図の位置まで起こします。
取りはずすときは、左にまわします。取り付けるときは右にまわし、しっかりと締めます。

⚠ 注意

- **天井の低い車庫に入れるときなど、アンテナが当たる場所では、アンテナを倒してください。起こしているとアンテナが損傷するおそれがあります。**（必ず守る）
- **自動洗車機を使用するときには、アンテナが損傷するおそれがありますので、アンテナを取りはずしてください。**（必ず守る）

ステアリングオーディオリモートコントロールスイッチの操作

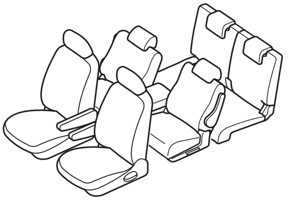


ハンドルの左側にあります。
オーディオの電源が入っているときに、手元でオーディオの操作をすることができます。

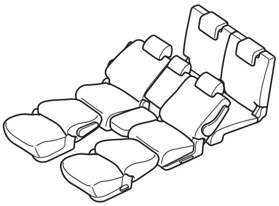
シートアレンジ

この車は、状況に応じて次のようなアレンジを行なうことができます。下記イラストの中で、代表的なアレンジの説明を記載しています。

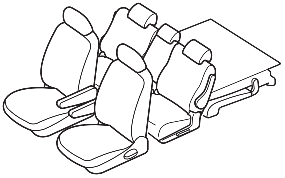
①6人乗車モード



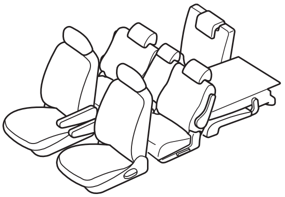
②セミフラットモード



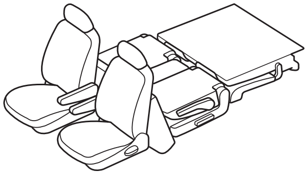
③リヤラゲッジモード



④リヤハーフラゲッジモード



⑤フルラゲッジモード



⚠警告

シートアレンジは走行中に行なわない。

必ず守る

走行中に行なうと乗車姿勢が不安定になり、衝突時にシートベルトなどの拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な損害につながるおそれがあれます。

操作後は確実にロックされていることを確認する。

必ず守る

走行中にシートが不意に動くと姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フラットにした状態で人や荷物を乗せて走行しない。

禁　止

急ブレーキ時や衝突時に重大な損害につながるおそれがあります。

シートアレンジ

⚠注意

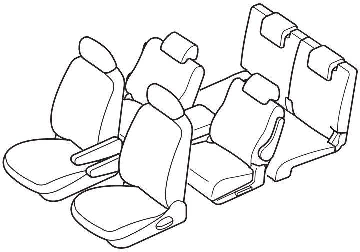
必ず守る
シートアレンジをするときは、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまないように注意してシートを操作してください。

禁止
セミフラットモードにした状態で車内を走りまわらないでください。シートの間に足をはさんだり、踏みはずしたりして、けがをするおそれがあります。シートの上を移動するときは、シートの中央を踏み、ゆっくりと移動してください。

必ず守る
後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

シートアレンジのしかた

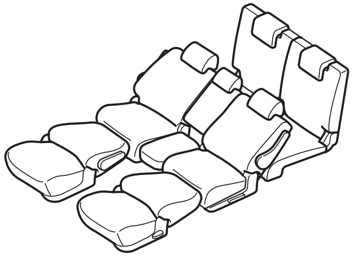
①6 人乗車モード



1. フレキシブルシートを格納します。
   → 50 ページ「フレキシブルシートの使いかた」
2. フレキシブルシートの背もたれを前方に倒します。
   → 46 ページ「セカンドシートの使いかた」
3. 運転席または助手席側セカンドシートを一番後ろにスライドさせます。
   → 44 ページ「フロントシートの使いかた」

もとにもどすときは逆の手順で行なってください。

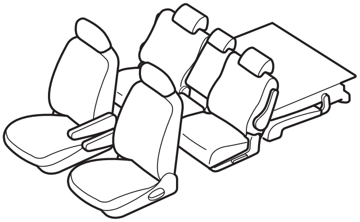
② セミフラットモード (4WD 車は運転席側のみ)



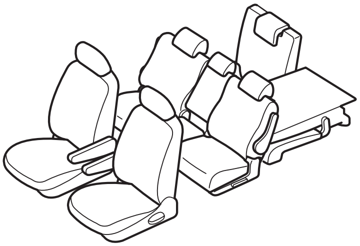
1. セカンドシートをいちばん後ろにスライドさせ、背もたれを後ろに倒します。
   → 46 ページ「セカンドシートの使いかた」
2. フロントシートのアームレストを格納します。
   → 45 ページ「アームレストの使いかた」
3. フロントシートのヘッドレストを取りはずします。
   → 55 ページ「ヘッドレストの使いかた」
4. フロントシートをいちばん前へスライドさせ、背もたれを下の位置まで押し込みます。
   → 44 ページ「フロントシートの使いかた」

もとにもどすときは逆の手順で行なってください。

③ リヤラゲッジモード /④ リヤハーフラゲッジモード

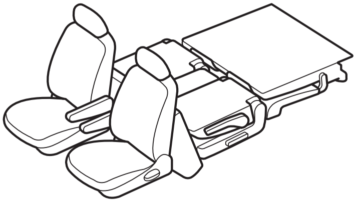


サードシートの背もたれを倒します。
→ 54 ページ「荷室を作るとき」
もとにもどすときは逆の手順で行なってください。



シートアレンジ

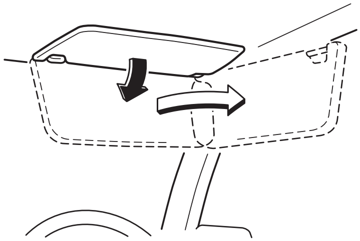
⑤ フルラゲッジモード



1. サードシートの背もたれを倒します。
   → 54 ページ「荷室を作るとき」
2. セカンドシートを折りたたみます。
   → 52 ページ「セカンドシートの折りたたみかた (ダブルフォールディング)」

もとにもどすときは逆の手順で行なってください。

サンバイザー



前からの光をさえぎるときは、下げます。
横からの光をさえぎるときは、下げた後フックからはずして横にします。

バニティーミラー (化粧鏡)

バニティーミラーは、サンバイザーの裏側にあります。

室内照明

知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチが DOOR の位置のとき、次のような操作をすると、ルームランプが点灯します。

- 運転席ドアを解錠すると約 30 秒間点灯します。
- ドアを開けて閉めた後、約 15 秒間点灯します。
  (インテリジェントキー装備車)
  インテリジェントキーを携帯し、車外からドアを閉めた後、約 5 秒間点灯します。
- エンジンスイッチからキーを抜くと (インテリジェントキー機能使用時は、電源ポジションを OFF にすると) 約 15 秒間点灯します。

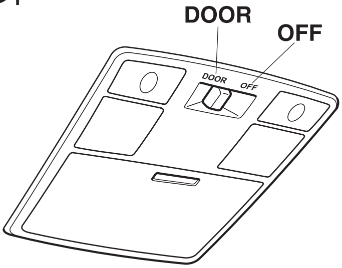
知識

- 次のようなときルームランプはすぐに消灯します。
  - 電源ポジションを ON にしたとき。
  - すべてのドアを施錠したとき。
- ルームランプスイッチが DOOR の位置で、約 30 分間ドアが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にルームランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。

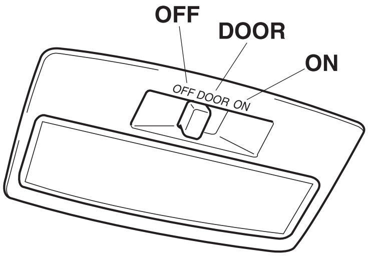
室内装備

ルームランプ

フロント



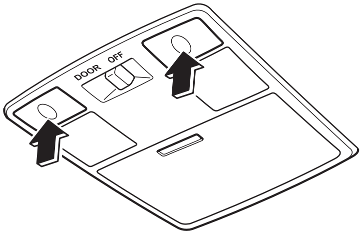
リヤ



電源ポジションに関係なく使用できます。

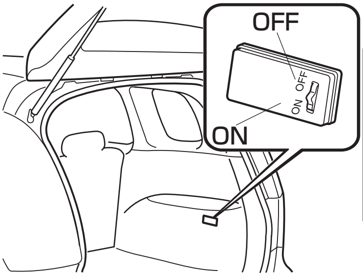
スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	● ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。 ● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯 / 消灯します。
OFF	常時消灯
ON	常時点灯

マップランプ



電源ポジションに関係なく使用できます。スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

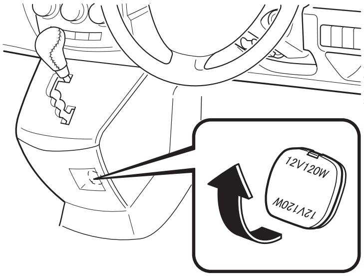
ラゲッジルームランプ



電源ポジションに関係なく使用できます。

スイッチ位置	ラゲッジルームランプ
ON	バックドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時消灯

12V 電源



電源ポジションが ACC または ON のとき、電気製品の電源として使用します。
最大消費電力 120W (DC12V―10A) 以下の電気製品を使用してください。
フタを開けて使用します。

⚠ 注意

必ず守る **使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。**

必ず守る **電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。**

禁止 **消費電力が 120W (DC12V―10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。**

⚠ 注意

12V 電源に接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。

12V 電源に接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器を外し、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットから外したあと、電源ポジションを OFF にしてください。問題が継続する場合、日産販売会社にご相談ください。

知識

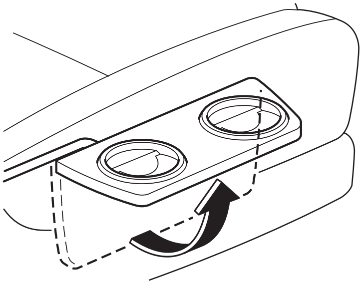
- エンジンを停止しているときやアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。
- シガーライターを差し込まないでください。

カップホルダー

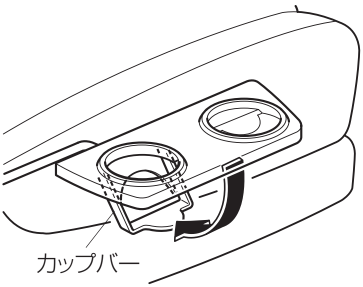
⚠ 注意

走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。

フロント



1. カップホルダーを起こします。



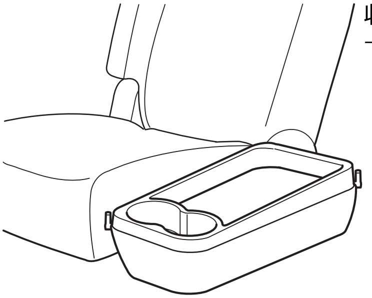
2. カップバーを押し下げて使用します。

リヤ

⚠ 注意

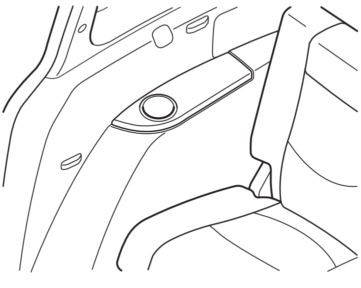
収納ボックスの上には絶対に乗らないでください。シートが損傷したり、けがをするおそれがあります。

セカンドシート



収納ボックスを取り出します。
→ 207 ページ「収納ボックス」

サードシート



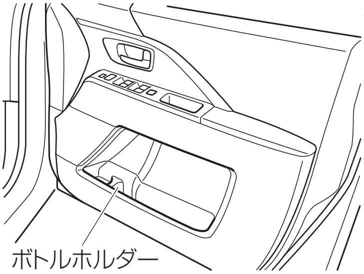
サイドトリムに設置されています。

運転する前に
運転するときに
快適装備の使いかた
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

ボトルホルダー

⚠注意

> 禁止
> **ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中やドアを開閉するときにペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。**



ペットボトルなどを置くことができます。

収納

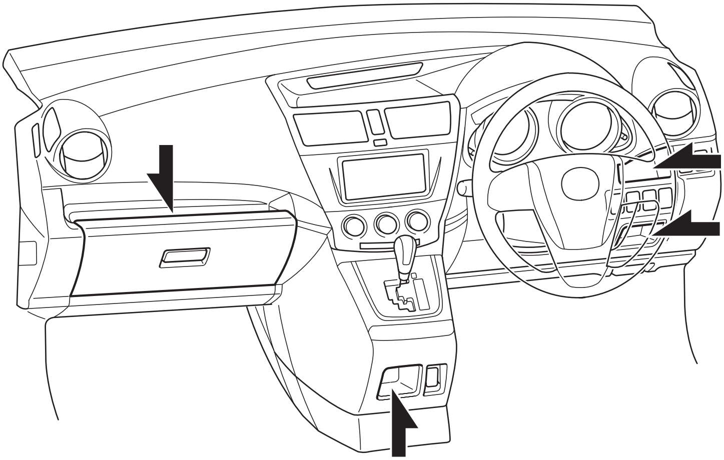
⚠警告

収納スペース内に転がりやすいものや収納スペースからはみ出すものを置かない。

禁止

急ブレーキ時や衝突時に収納スペース内のものが飛び出して、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

小物などを入れることができます。



⚠注意

必ず守る

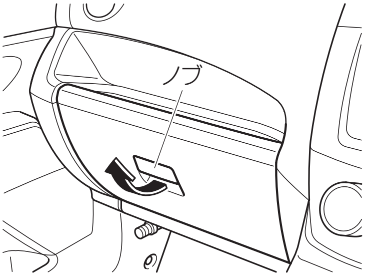
走行中は、グローブボックスなどのフタを必ず閉めてください。急ブレーキ時や衝突時に収納ボックスのフタや内部の物でけがをするおそれがあります。

禁止

炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

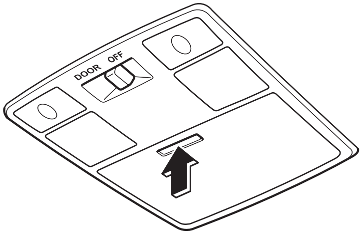
室内装備

グローブボックス



閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

オーバーヘッドコンソール



メガネやサングラスなどを入れることができます。

収納ボックス

セカンドシート運転席側クッションの下に、収納ボックスが格納されています。
フレキシブルシート用シートクッションを使用していないとき、小物などを入れることができます。

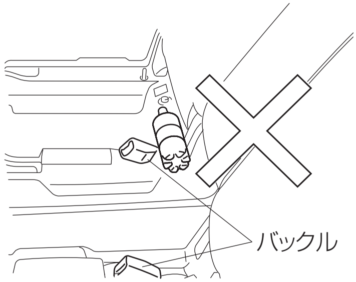
⚠注意

禁止

収納ボックスの上には絶対に乗らないでください。シートが損傷したり、けがをするおそれがあります。

必ず守る

シートクッションをもとの位置にもどすときは、バックルと背もたれの間に物をはさんでいないことを確認し､バックルを後方に動かしながらシートクッションをもとの位置にもどしてください。バックルと背もたれの間に物をはさんだまましシートクッションをもとの位置にもどし､その状態でシートに座ったり、シートクッションに荷物を置いたりするとバックルが破損するおそれがあります。

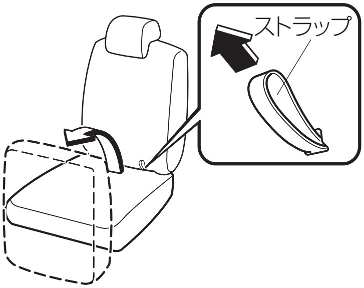


知識

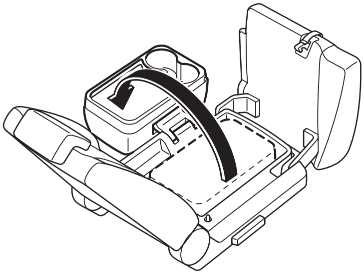
フレキシブルシート用シートクッションと収納ボックスは同時に使用できません。

運転する前に
運転するときに
快適装備の使いかた
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

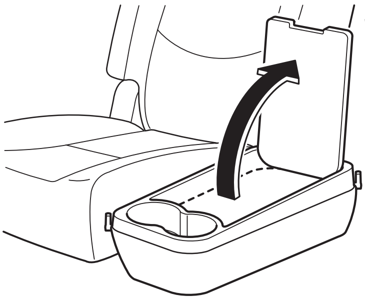
使用するとき



1. ストラップを引き、シートクッションを手前に引き上げます。



2. 収納ボックスを取り出します。



3. ペットボトルなどを入れるときは、カバーを取りはずします。

知識

- 大型センターアームレスト使用中にカバーが取りはずしにくいときは、大型センターアームレストを格納してください。
- カバーを使用しないときは、シートバックポケットに収納することができます。

4. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。シートクッションをもとの位置にもどした後は、シートクッションを上下に軽くゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。

もとにもどすとき（格納するとき）

1. カバーを取り付けます。
2. ストラップを引き上げて、シートクッションを手前に引き出します。
3. 収納ボックスを格納します。
4. シートクッションを後方に倒し、ロックさせます。シートクッションをもとの位置にもどした後は、シートクッションを上下に軽くゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。

⚠注意

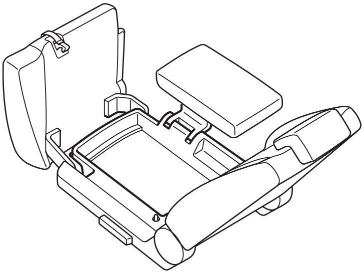
必ず守る **格納するときは、収納ボックスが空になっていることを確認してください。小物などが入ったまま格納すると、シート部品が損傷するおそれがあります。**

シートアンダートレイ

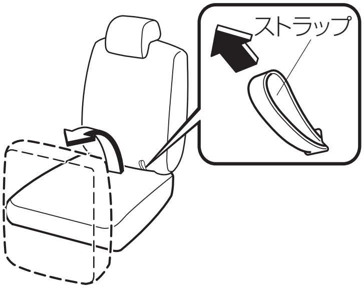
⚠注意

必ず守る **走行中は、シートクッションを必ずもとの位置にもどしてください。急ブレーキ時や衝突時に内部の物でけがをするおそれがあります。**

セカンドシート左右クッションの下にあります。フレキシブルシート用シートクッションや収納ボックスを格納していないとき、使用することができます。



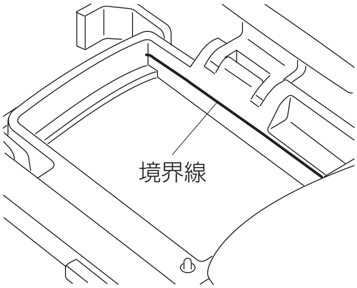
収納するとき



ストラップを引き、シートクッションを手前に引き上げます。

⚠ 注意

境界線よりも上に収納しないでください。境界線よりも上に収納すると、シートクッションがロックされず、シートクッションが損傷するおそれがあります。



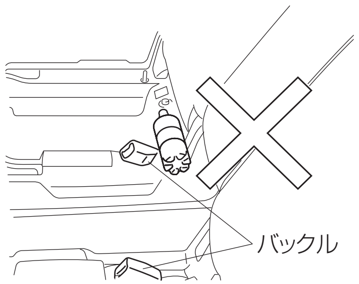
もとにもどすとき

シートクッションを後方に倒し、ロックさせせます。
シートクッションをもとの位置にもどした後は、シートクッションを上下に軽くゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。

⚠ 注意

必ず守る

シートクッションをもとの位置にもどすときは、バックルと背もたれの間に物をはさんでいないことを確認し､バックルを後方に動かしながらシートクッションをもとの位置にもどしてください。バックルと背もたれの間に物をはさんだままシートクッションをもとの位置にもどし､その状態でシートに座ったり、シートクッションに荷物を置いたりするとバックルが破損するおそれがあります。



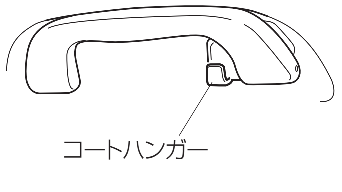
コートハンガー

⚠ 警告

禁止

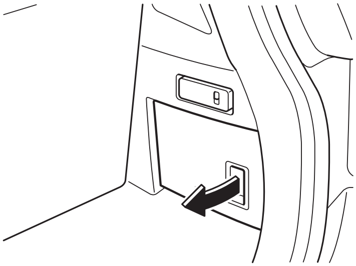
アシストグリップやコートハンガーなどには重たいものやとがったものをかけない。

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

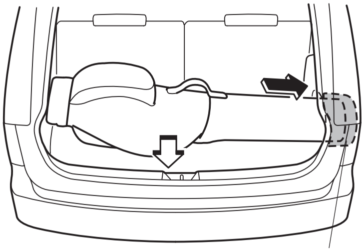


ラゲッジルーム

ラゲッジルームにゴルフバッグなどを載せることができます。ゴルフバッグを載せるときは次の手順で行なってください。



1. サイドリッドのカバーを取りはずします。



2. ゴルフバッグのヘッド側を収納スペースに押し込んで入れます。

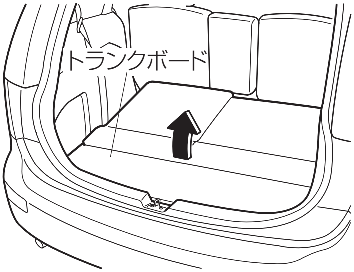
知識

ゴルフバッグの大きさによっては入らない場合があります。

9 インチのゴルフバッグまで収納できます。

ラゲッジアンダートレイ

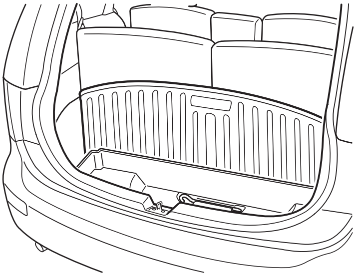
トランクボードの下に小物を収納することができます。



使用するときは、トランクボードを開けます。

知識

開けたトランクボードは、サードシートを使用しているときでも立てかけることができます。



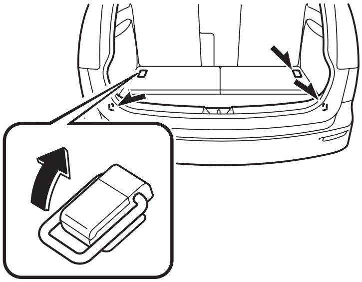
ラゲッジフック

⚠ 警告

荷物を積むときは確実に固定する。

必ず守る

荷物を確実に固定しないと走行中に荷物が移動したりくずれたりして、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。



ロープやネットで荷物を固定するときに使用します。フックの引っ張り荷重は 20kg です。ロープを掛けて強く引っ張らないでください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

⚠警告

この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

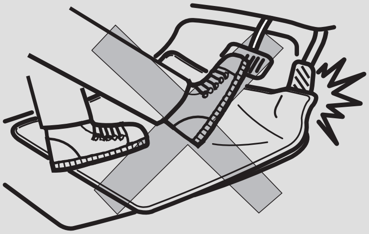
必ず守る

フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きにくくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転席にフロアカーペットを敷くときは

必ず守る

- **日産純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアカーペットは使用しない。**
- **フロアカーペットでペダルを覆わない。**
- **フロアカーペットを重ねて敷かない。**
- **フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。**
- **運転席専用のフロアカーペットを使用する。**
- **フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない。**



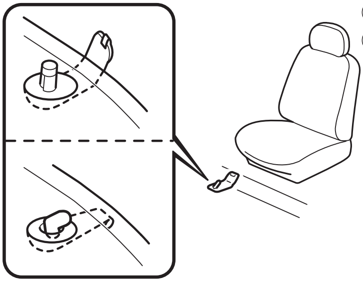
運転する前に

必ず守る

- **フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。**
- **エンジン停止時及びセレクトレバーがＰの位置のときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。**

固定するとき

床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。



①フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
②フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。

知識

グレードや仕様により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 218

必ずまもる……218

点検、整備 219

点検整備について……219
定期点検……220
日常点検の前に……220
日常点検……222
その他の手入れ……229

ヒューズ切れ、電球切れのとき 230

ヒューズの受け持つ装置……230
ランプ類、電気装置が作動しないとき……235

電池交換 246

電池を交換するときは……246

車の手入れ 250

外装の手入れ……250
内装の手入れ……253

季節の準備 257

冬にそなえて……257
夏にそなえて……259

環境保護のために 260

廃棄物を処理するときは……260

必ずまもる

違法改造はしない

車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジン調整や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品の装着をするときは、日産販売会社にご相談ください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する

ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。

部品の取り付け、交換は日産販売会社に相談する

電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、日産販売会社にご相談ください。
また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセサリーを取り付けない

窓ガラスやその周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになったり、吸盤がレンズの働きをして、火災が起こるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。
安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。
いつもと違う点に気づいたら、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

使用済バッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、日産販売会社にご相談ください。

⚠警告

必ず守る

点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なう。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止

エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。

手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

必ず守る

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

無料点検について

新車登録後 1 か月 (または走行距離 1,000km)、6 か月 (または走行距離 5,000km) は無料で点検が受けられます。

点検、整備

定期点検

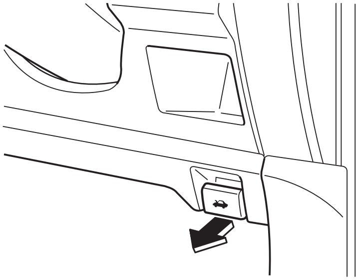
1 年点検、2 年点検は日産販売会社で受けてください。

知識

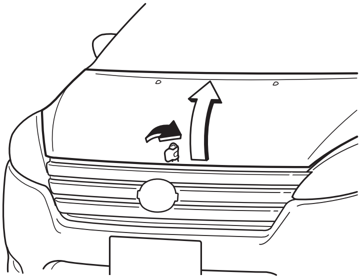
- **点検結果について**
  点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- **シビアコンディションについて**
  一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。
  詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

日常点検の前に

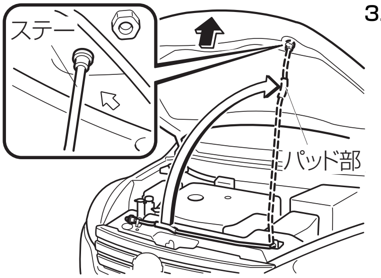
ボンネットの開けかた



1. 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

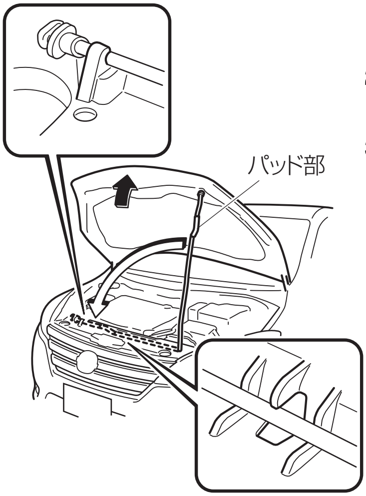


2. ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを押したままボンネットを持ち上げます。



3. パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。

ボンネットの閉めかた



1. エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
2. ボンネットを手でささえてステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。
3. ボンネットをゆっくりおろし、約 20 cm の高さから静かに落として閉めます。

⚠ 警告

必ず守る

ボンネットが確実に閉まっていることを確認する。

走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

点検、整備

⚠注意

禁止
ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

必ず守る
ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

必ず守る
エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。
日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。
「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

知識

点検結果について

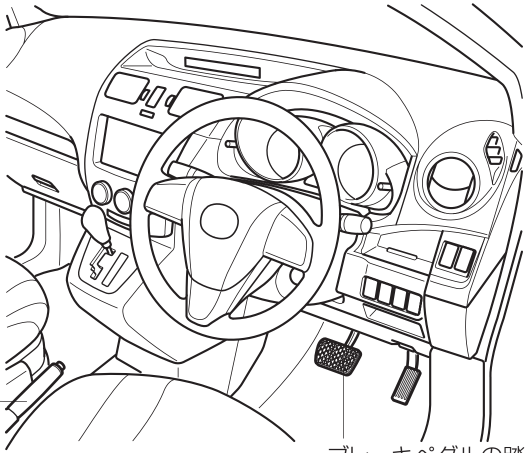
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

点検項目と点検箇所

運行において異常が見られた箇所

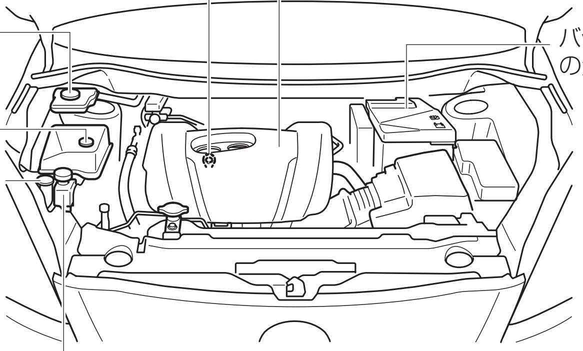
前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。
点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

運転席にすわって

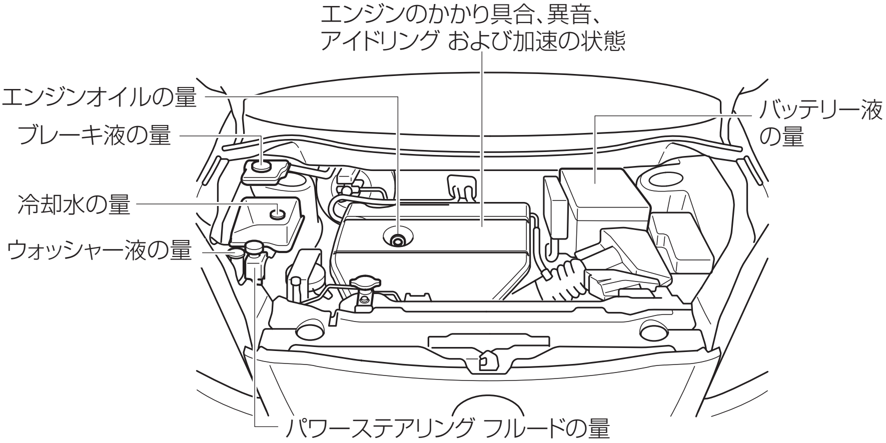


エンジンルームをのぞいて

PE-VPS 型エンジン



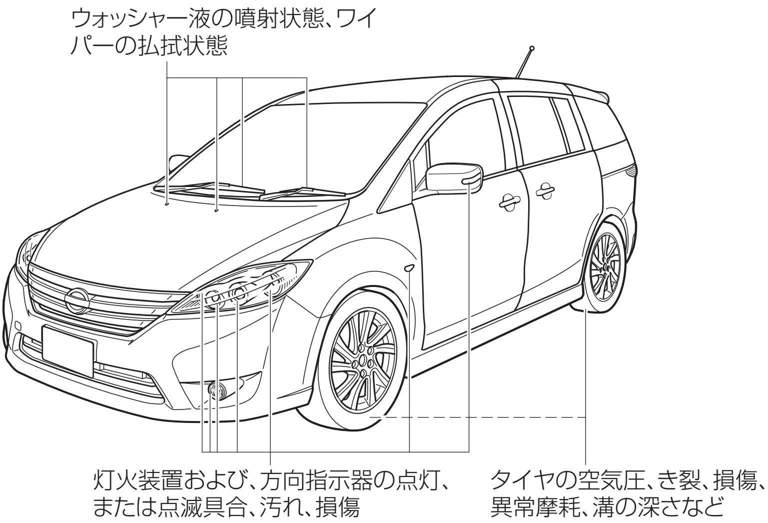
LF-VE 型エンジン

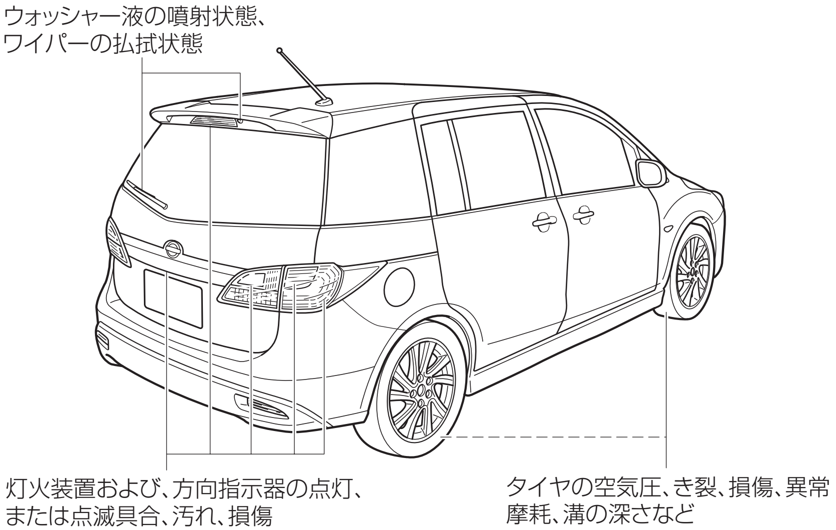


⚠ 注意

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

全体を見まわして


ウォッシャー液の噴射状態、ワイパーの払拭状態
灯火装置および、方向指示器の点灯、または点滅具合、汚れ、損傷
タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常摩耗、溝の深さなど


ウォッシャー液の噴射状態、ワイパーの払拭状態
灯火装置および、方向指示器の点灯、または点滅具合、汚れ、損傷
タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常摩耗、溝の深さなど

点検、整備

タイヤの点検

タイヤの点検は法律で義務付けられています。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

知識

タイヤの劣化について

タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後５～７年を目安に日産販売会社で点検を受けてください。

空気圧の点検

タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調節してください。

警告

禁止

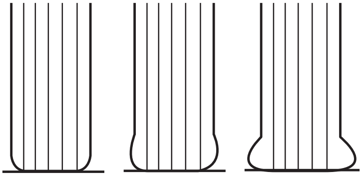
タイヤの空気圧が不足したままで走行しない。

タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

タイヤバルブキャップは純正品を使用する。

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多　適正　不足

き裂、損傷の点検

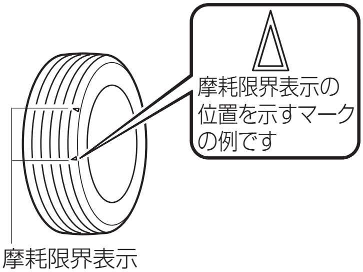
⚠警告

異常があるタイヤを装着すると、次の状況が起こることがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因になるおそれがあるため、正常なタイヤと交換する。

禁止

- **走行中にハンドルがとられる**
- **異常な振動を感じる**
- **パンクやバースト（破裂）する**
- **車の性能（燃費·走行安定性·制動距離など）が十分に発揮できない**
- **部品に悪影響をあたえる**

溝の深さ、異常摩耗の点検



摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。

⚠警告

禁止

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しない。

そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象により､ハンドル操作ができなくなったり､タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

知識

摩耗限界表示について

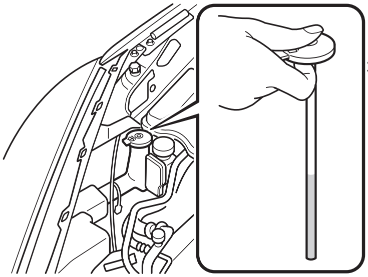
摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm だけ浅くなっています。

バッテリーの点検

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。
→ 280 ページ「バッテリーあがりについて」

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
- 交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

ウォッシャー液の補充



ふたの穴を押さえたまま引き抜くことで、ウォッシャー液量を点検することができます。
補充要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

注意

必ず守る

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

知識

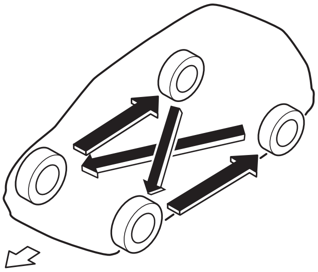
ウォッシャータンクについて

ウォッシャータンクは、フロントワイパー用とリヤワイパー用で兼用しています。

その他の手入れ

タイヤの位置交換（タイヤローテーション）

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約 5,000km 走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



⚠警告

タイヤを交換するときは指定されたタイヤを装着する。

必ず守る

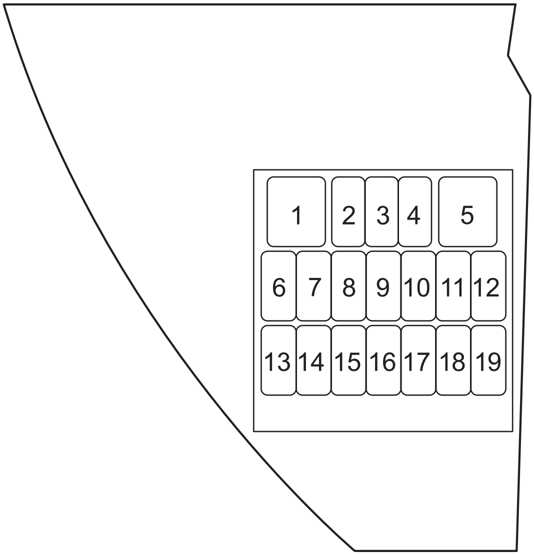
指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- タイヤの位置交換を行うまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。
  → 226 ページ「タイヤの点検」
- お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、搭載されているジャッキではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときは日産販売会社にご相談ください。

ヒューズの受け持つ装置

室内ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	P/W	30 A	パワーウインドー
2	PSD.RH	—	—
3	STARTER	10 A	エンジンコントロールシステム
4	ENG3/SR	20 A	エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備
5	PSD.LH	—	—
6	P.OUTLET	—	—
7	SHIFT/L	5 A	トランスアクスルコントロールシステム
8	CIGAR	15 A	12V 電源
9	MIRROR	7.5 A	電動ミラー

位置	表示	容量	保護装置
10	A/C	10 A	空調
11	F.WIP	25 A	フロントワイパー / ウォッシャー
12	R.WIP	15 A	リヤワイパー
13	ENG/IG	5 A	メーター *1
			エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備 *2
14	METER	10 A	メーター
15	SAS	10 A	エアバッグシステム
16	S.WARM	—	—
17	ABS/ACC	5 A	オーディオ *1
			ABS、VDC システム グレード/仕様別装備 *2
18	EHPAS	5 A	パワーステアリング
19	ENG2	15 A	エンジンコントロールシステム

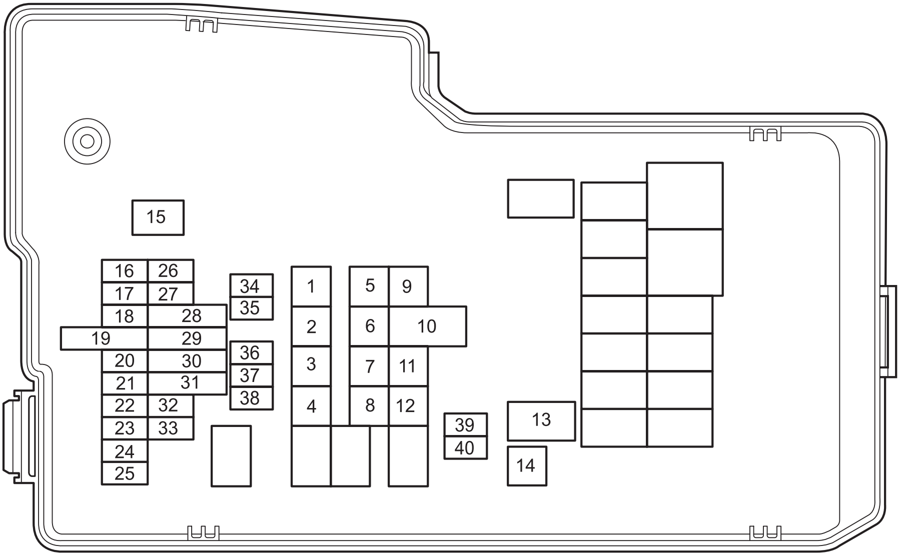
*1 PE-VPS 型エンジン

*2 LF-VE 型エンジン

ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内ヒューズボックス

ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	IG KEY1	50 A	各種電源
2	AD FAN	30 A	クーリングファン
3	GLOW2 HEATER2 FAN1	30A	クーリングファン *1
			エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備 *2
4	EGI MAIN	40 A	エンジンコントロールシステム
5	INJ FAN2	30 A	エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備
6	ABS P	40 A	ABS、VDC システム
7	P.SLIDE L	20 A	電動スライドドア（左） グレード/仕様別装備

位置	表示	容量	保護装置
8	TCM EVVT	20 A	エンジンコントロールシステム *1
			トランスアクスルコントロールシステム *2
9	HEATER1	40 A	空調
10	DCDC2*1	40 A	各種電源
	GLOW1*2 HEATER3	—	—
11	BTN	60 A	各種電源
12	IG KEY2	40 A	各種電源
13	AT PUMP*1	20 A	トランスアクスルコントロールシステム
	FAN1*2	30 A	クーリングファン
14	P.SLIDE R	20 A	電動スライドドア（右） グレード/仕様別装備
15	EHPAS	80 A	パワーステアリング
16	FOG	15 A	フォグランプ グレード/仕様別装備
17	D.LOCK	20 A	集中ドアロック
18	P.WIND	20 A	パワーウインドー
19	TCM*1	15 A	トランスアクスルコントロールシステム
	AT PUMP*2	—	—
20	HEAD HI	20 A	ヘッドランプ（ハイビーム）
21	ENG+B	10 A	エンジンコントロールシステム
22	STOP	10 A	制動灯
23	F.WARMER FUEL PUMP	20 A	フューエルポンプ
24	HAZARD	10 A	非常点滅灯
25	ROOM	15 A	ルームランプ

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
26	TAIL ENG FAN	15 A	クーリングファン *1
			尾灯、番号灯、車幅灯 *2
27	A/C MAG	10 A	マグネットクラッチ
28	HORN*1	15 A	ホーン
	ABS V*2	20 A	ABS、VDC システム
29	AUDIO1*1	15 A	オーディオ
	SUN ROOF*2	—	—
30	DCDC3*1	25 A	各種電源
	H/CLEAN*2	—	—
31	ABS V*1	20 A	ABS、VDC システム
	HORN*2	15 A	ホーン
32	TAIL	15 A	尾灯、番号灯、車幅灯 *1
			エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備 *2
33	ILLUMI	7.5 A	イルミネーション
34	ENG INJ	25 A	エンジンコントロールシステム
35	ENG BAR	15 A	各種電源
36	—	—	—
37	M.DEF	7.5 A	ミラーデフォッガー（曇り取り） グレード/仕様別装備
38	DEFOG	25 A	リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）
39	HEAD LO L	15 A	ヘッドランプ左（ロービーム）
40	HEAD LO R	15 A	ヘッドランプ右（ロービーム）

*1 PE-VPS 型エンジン

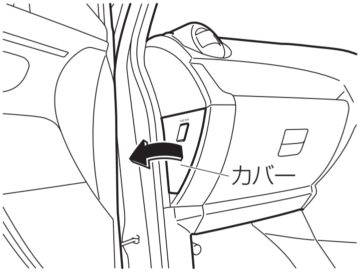
*2 LF-VE 型エンジン

ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

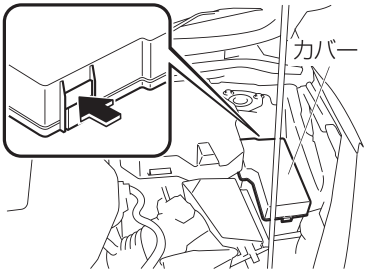
ヒューズの交換

室内ヒューズボックス



1. 電源ポジションを OFF にします。
2. ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席グローブボックスの左横と、エンジンルーム内にあります。

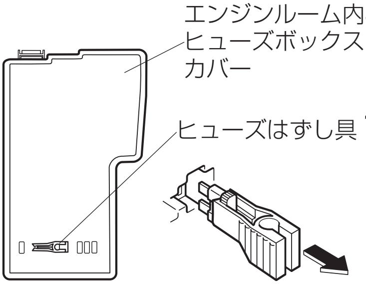
エンジンルーム内ヒューズボックス

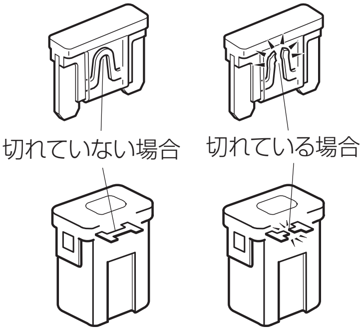


知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。

ヒューズ切れ、電球切れのとき





3. ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。

   → 230 ページ「ヒューズの受け持つ装置」

4. ヒューズを抜き取ります。

5. ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。

6. ヒューズボックスのカバーを元の通り取り付けます。

警告

禁 止

規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しない。

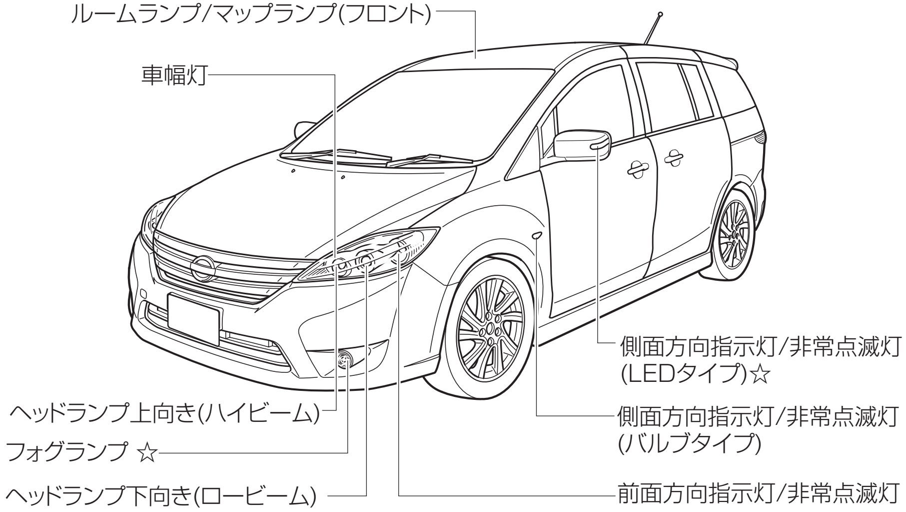
配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

知識

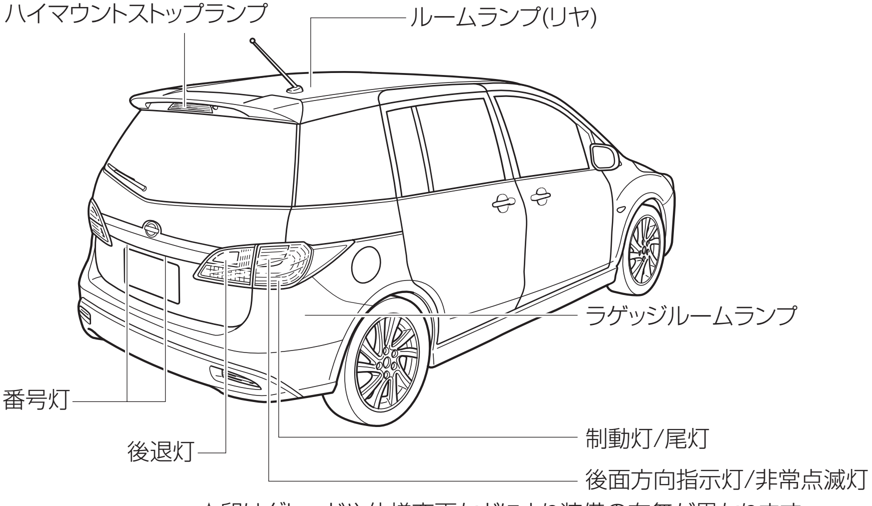
ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

フロント



リヤ



☆印はグレードや仕様変更などにより装備の有無が異なります。

ヒューズ切れ、電球切れのとき

⚠ 注意

必ず守る **電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。**

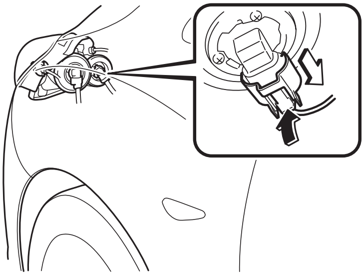
必ず守る **番号灯、ルームランプ、ラゲッジルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズに当たると、傷がつくおそれがあります。**

知識

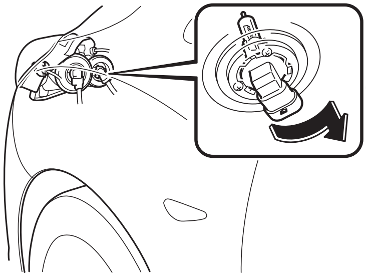
- **ハロゲン球の取り扱いについて**
  ハロゲン球を素手で触れてはいけませんが、万一、誤ってハロゲン球に触れてしまったときは、水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ってください。
- **交換する電球について**
  必ず同じ W 数の電球を使用してください。
- **ランプの曇りについて**
  ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、日産販売会社にご相談ください。

ヘッドランプ

上向き (ハイビーム)



1. ボンネットを開けます。
2. ツメを押し、コネクターをはずします。



3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

下向き（ロービーム）

キセノンヘッドランプまたはハロゲンヘッドランプが装備されています。

（キセノンヘッドランプ装備車）

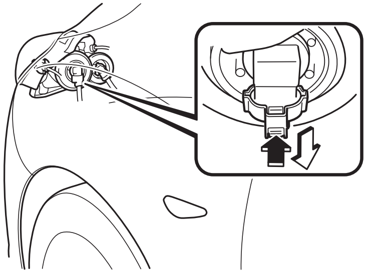
⚠ 警告

必ず守る

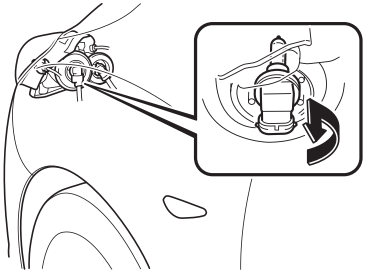
キセノンヘッドランプの交換・修理をするときは、必ず日産販売会社へ相談する。

キセノンヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

（ハロゲンヘッドランプ装備車）



1. ボンネットを開けます。
2. ツメを押し、コネクターをはずします。

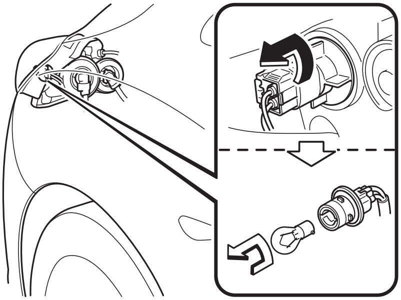


3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

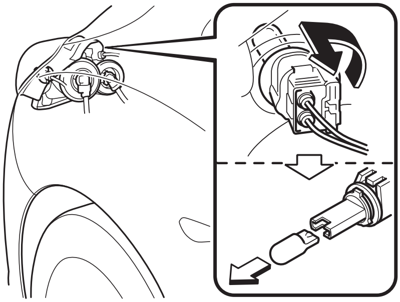
前面方向指示灯 / 非常点滅灯、車幅灯

1. ボンネットを開けます。

前面方向指示灯/非常点滅灯

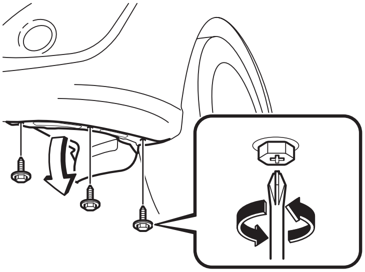


車幅灯

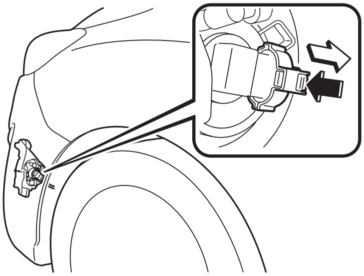


2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

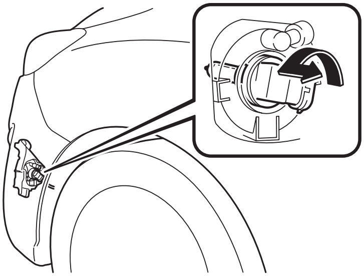
フォグランプ グレード/仕様別装備



1. ネジをはずし、マッドガードをめくります。



2. ツメを押し、コネクターをはずします。

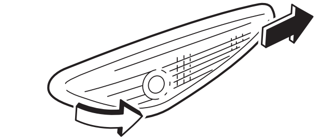


3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

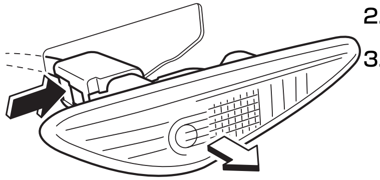
側面方向指示灯 / 非常点滅灯 (LED タイプ) グレード/仕様別装備

ドアミラー横にある側面方向指示灯 / 非常点滅灯は LED タイプの電球のため交換できません。交換については、日産販売会社へご相談ください。

側面方向指示灯 / 非常点滅灯 (バルブタイプ)



1. ユニットを車両後方にスライドさせ、取りはずします。



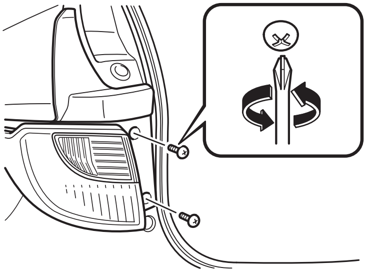
2. ツメを押し、コネクターをはずします。
3. 新しいユニットに取り換え、はずした手順と逆の手順で取りつけます。

知識

側面方向指示灯 / 非常点滅灯は電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となりますので、側面方向指示灯 / 非常点滅灯を交換するときは日産販売会社へご相談ください。

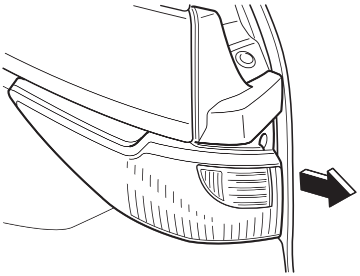
ヒューズ切れ、電球切れのとき

制動灯 / 尾灯、後面方向指示灯 / 非常点滅灯



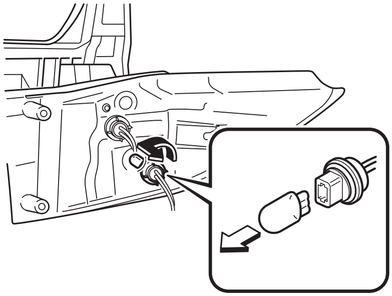
1. バックドアを開けます。
2. ネジを取りはずします。

3. カバー上側のクリップ付近を手前に引いてクリップをはずします。

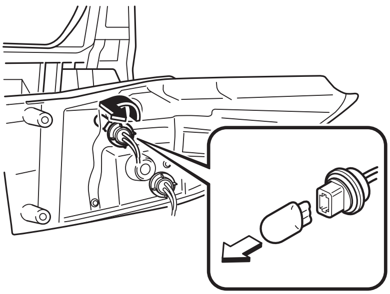


4. ユニットを車両後方に引き、取りはずします。

制動灯/尾灯



後面方向指示灯/非常点滅灯



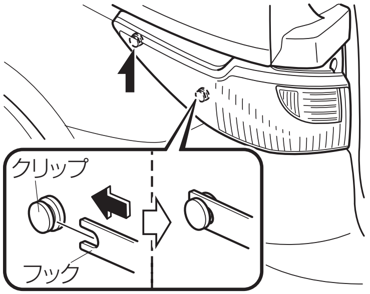
5. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

6. 電球を取り換えます。

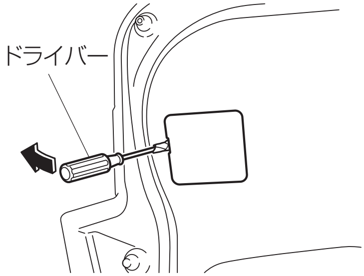
7. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

知識

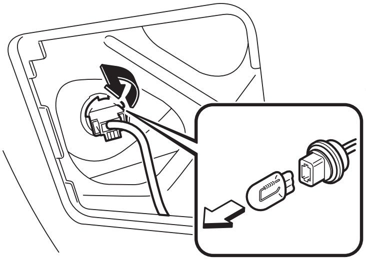
ユニットを取りつけるときは、ユニット側のフック (2 箇所) を車両側のクリップに差し込み、取りつけてください。



後退灯



1. バックドアを開けます。
2. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、カバーを取りはずします。

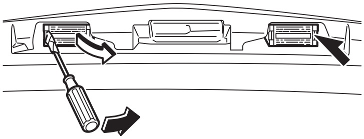


3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

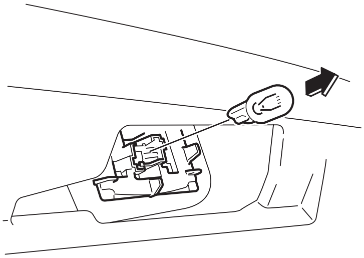
ハイマウントストップランプ

LED タイプの電球のため交換はできません。交換については、日産販売会社へご相談ください。

番号灯

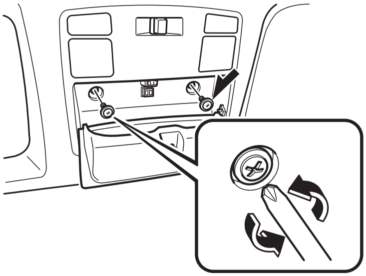


1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。

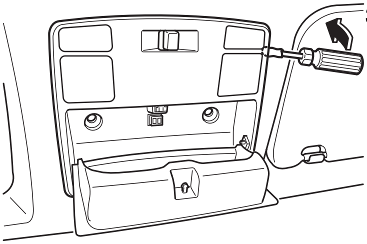


2. 電球を抜き取ります。
3. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

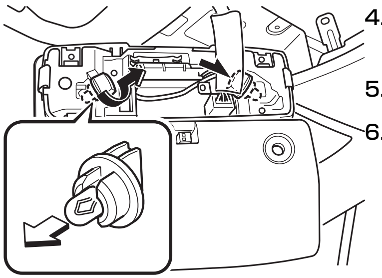
ルームランプ / マップランプ（フロント）



1. オーバーヘッドコンソールをあけます。
2. ネジをはずします。



3. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。

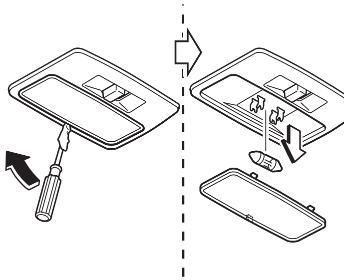


4. ソケットをまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
5. 電球を取り換えます。
6. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

⚠注意

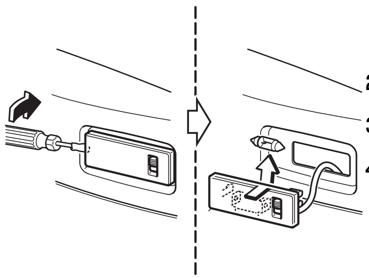
> **オーバーヘッドコンソールを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接オーバーヘッドコンソールに当たると、傷がつくおそれがあります。**
>
> 必ず守る

ルームランプ（リヤ）



1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
2. 電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

ラゲッジルームランプ



1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。
2. 電球を抜き取ります。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取りつけます。

電池を交換するときは

⚠ 注意

電池の+側と−側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。

電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。

電池を交換してもキー / インテリジェントキーが作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。

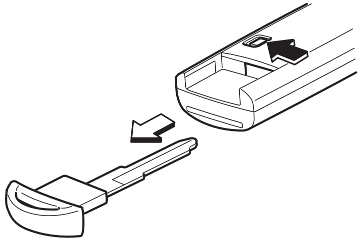
インテリジェントキー

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

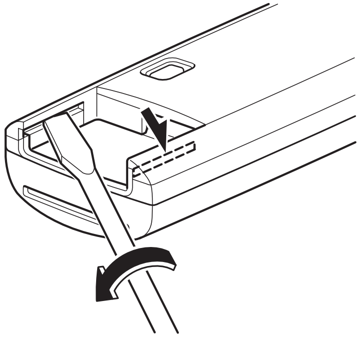
- エンジンをきったときにメーター内の KEY 表示灯 (緑) が点滅する
- インテリジェントキーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

電池交換のとき、インテリジェントキーが破損するおそれがあるため、日産販売会社での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

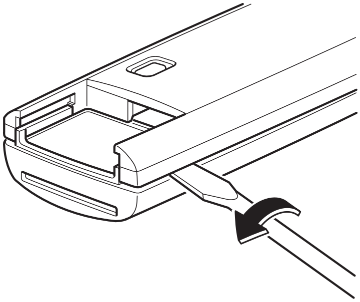
電池の規格 : リチウム電池 CR2025



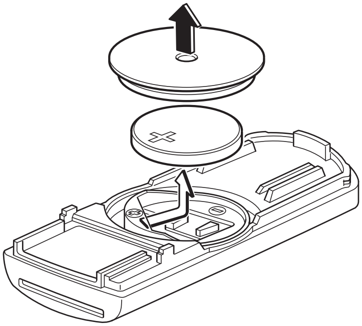
1. 補助キーを引き出します。



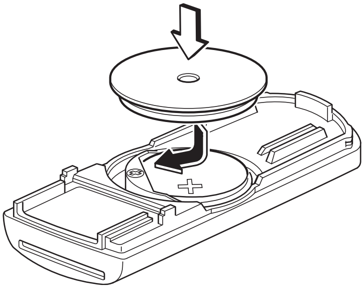
2. マイナスドライバーなどを使ってカバーを少し開けます。



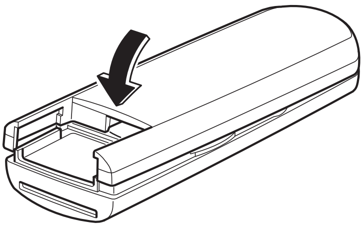
3. マイナスドライバーなどを使ってカバーを取り外します。



4. キャップを外して、電池を取り出します。



5. 新しい電池を、+側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。



6. カバーを取り付けます。
7. 補助キーを差し込みます。

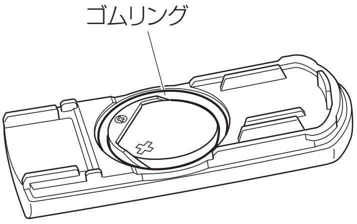
⚠ 注意

ゴムリングを傷つけないようにしてください。

禁止

ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。

必ず守る



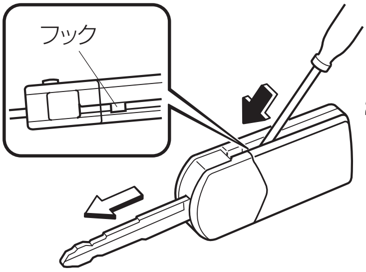
リモートコントロールエントリーシステム

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

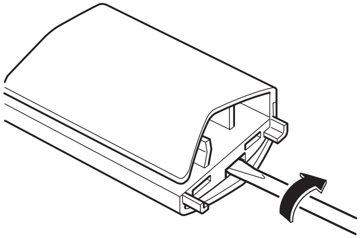
- リモコンの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

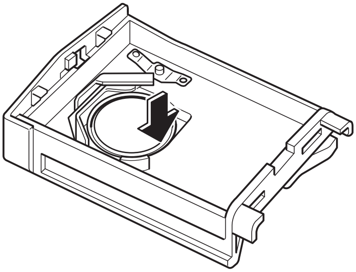
電池の規格：リチウム電池 CR1620



1. キーを取り出します。
   → 15 ページ「リモートコントロールエントリーシステム」
2. マイナスドライバーなどを使ってフックを押し、キー部分とリモコン部分を取りはずします。



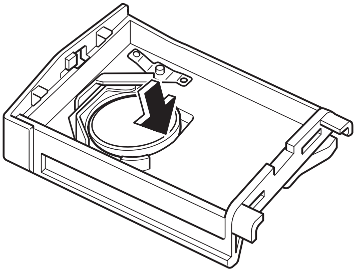
3. マイナスドライバーなどを慎重に使って、ゆっくりとまわしながらカバーを開きます。



4. 電池の端を押して、電池を取り出します。

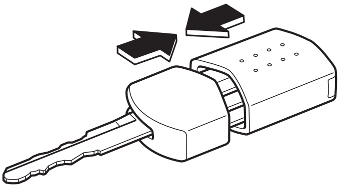
知識

指で押して取り出しにくい場合は、ドライバーなどで押すと取り出しやすくなります。



5. 新しい電池の+側を下にして、電池を差し込み取り付けます。

6. カバーを閉めます。



7. リモコンとキーの向きを合わせ、外れないようにカチッと音がするまで押し込みます。

車の手入れ

外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。

- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのプラスチックを使用しているランプ類は、コンパウンド (みがき粉) 入りのワックスを使用しないでください。
- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。
  そのまま放置しておくと、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
  - 海岸地帯を走行したとき。
  - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
  - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
  - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
  - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
  - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。

洗車するとき

水洗いするとき

1. 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
2. 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ってください。

⚠注意

雨滴感知ワイパー装備車は、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。

運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。

エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。

洗車やワックスがけを行うときは、車体のルーフ部の一点やアンテナに強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、車体がへこんだり、アンテナが損傷するおそれがあります。

自動洗車機を使用するとき

- ドアミラーを格納してください。
- アンテナを取りはずしてください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはスポイラーがひっかかり洗車できない場合や損傷するおそれがあります。

高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください (30cm 以上)。また、同じ場所を連続して洗浄しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行なってください。

車の手入れ

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボデイーが冷えているとき（体温以下が目安）に行なってください。

知識

ワックスの使用について

- コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは純正ガラスクリーナーを使用してください。
ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

注意

必ず守る

熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。

フロントガラスの油膜をとるときは

雨の夜は、フロントガラスに油膜があると、対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。
ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く水洗いしてください。
汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。

注意

禁止

中性洗剤以外は使用しないでください。ご使用の際には成分をご確認ください。
変色・シミの原因となります。

知識

アルミホイールを洗うときは

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつくことがあります。

外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗膜はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用すると、塗膜を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド（みがき粉）がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

内装の手入れ

警告

禁止

室内に水をかけない。

オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

車の手入れ

シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

⚠ 警告

必ず守る

シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、日産販売会社で交換する。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用する。

有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

布張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

革張り部分の手入れ グレード / 仕様別装備

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
4. 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

知識

- 天然素材のため、シボ（本革表面の凹凸）の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油汚れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード（日除け）を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

クリーナブルシートの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 乾燥したきれいな布で、包み込むようにして汚れを取り除きます。
2. 残った汚れをきれいな布でこすらずに、しみこませるようにしてゆっくりふき取ります。

知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 中性洗剤を使用するとクリーナブルシートの機能が低下する原因になります。

車の手入れ

樹脂部品の手入れ

樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。
早めにやわらかい布などでふき取ってください。

⚠ 注意

禁止

つや出し剤を使用しないでください。
含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。

センタークラスターフィニッシャー（ピアノブラック調）の手入れ

センタークラスターフィニッシャー（ピアノブラック調）には特殊な塗装処理が施されています。
汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。

知識

硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

冬にそなえて

エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。
→ 304 ページ「エンジンオイル」

バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。
バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。
点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。
冷却水を補充する場合は、濃度調整済みの純正ロングライフクーラント（ゴールデン）FL22を、薄めずそのままご使用ください。
冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水を交換する場合は日産販売会社にご相談ください。

ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。
→ 228 ページ「ウォッシャー液の補充」

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。
寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。
必要に応じて日産販売会社でお求めください。

季節の準備

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

⚠ 警告

タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用する。

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみて手順を理解しておきましょう。
→ 258 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

タイヤチェーンの取り付け

タイヤチェーンは 4WD 車も前輪に取り付けます。
タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。
路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板 (停止表示灯) を使用してください。

⚠ 注意

標準タイヤのみタイヤチェーンの装着ができます。標準タイヤ以外のタイヤにタイヤチェーンを装着すると、タイヤチェーンがボディーなどに干渉し、傷をつけることがあります。くわしくは日産販売会社にご相談ください。

純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。くわしくは、日産販売会社にご相談ください。

積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。また、4WD 車は駆動系部品に悪影響をおよぼし故障につながるおそれがあります。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h 以下で走行してください。30km/h以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

知識

タイヤチェーンについて

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じて日産販売会社でお求めください。
- アルミホイール装着車にタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

夏にそなえて

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。
点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エアコンのチェック

エアコンの冷媒 (エアコンガス) が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に日産販売会社で点検を受けておきましょう。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

環境保護のために

廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合は日産販売会社にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスを使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理は日産販売会社か専門の修理業者に依頼してください。

5 トラブルが起きたら

故障したとき 262

路上で動けなくなったとき 262
スタックしたとき 263
踏切内で動けなくなったとき 264

緊急用具の取り扱い 265

発炎筒 265
工具、ジャッキの格納場所 266
ジャッキの取り扱い 267

パンクしたとき 272

タイヤパンク応急修理キット 272

バッテリーがあがったとき 280

バッテリーあがりについて 280

オーバーヒートしたとき 286

オーバーヒートについて 286

インテリジェントキーが作動しないとき 288

インテリジェントキー一時停止機能 ... 288

けん引について 289

けん引してもらうとき 289
故障車をけん引するとき 291

万一事故が起きたとき 292

警報チャイム 293

チャイムがなったときは 293

警告灯 295

警告灯が点灯、点滅したときは 295

バックドア 303

バックドアが開けられなくなったとき 303

故障したとき

路上で動けなくなったとき

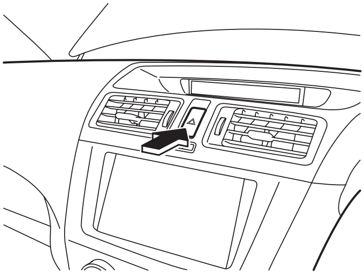
一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。
セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

⚠ 警告

禁止

万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止める。

爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

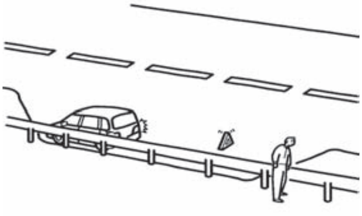


1. 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

2. 必要に応じて停止表示板 (停止表示灯)、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。

   → 265 ページ「発炎筒」

   - 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板 (停止表示灯) を置くことが法律で義務づけられています。
   - 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。



3. 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。
4. 安全を確保した後、救援を求めます。

   故障の修理などお困りの際は日産販売会社へ連絡してください。

知識

停止表示板（停止表示灯）について

停止表示板（停止表示灯）はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。日産販売会社でお求めいただけます。

スタックしたとき

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。

- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くか、タイヤの下に木や石をあてがい、セレクトレバーを D または R にいれて、アクセルペダルを軽く踏みます。セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

故障したとき

踏切内で動けなくなったとき

脱輪などで動けなくなったとき

1. 踏切の非常ボタンを押します。緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
   → 265 ページ「発炎筒」
2. 付近の人に救援を求めます。

エンストで動けなくなったとき

1. エンジンをかけ直します。
2. エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。
   緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
   → 265 ページ「発炎筒」
3. 付近の人に救援を求めます。
   セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

知識

緊急避難について

スターターを使って、車を緊急避難させることはできません。

発炎筒

⚠警告

禁止 **油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しない。**

火災につながるおそれがあります。

禁止 **使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけない。**

やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

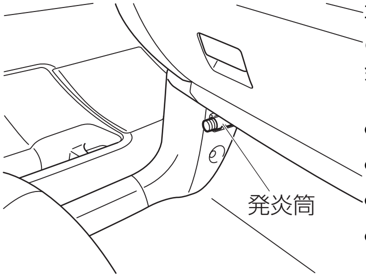
禁止 **お子さまにはさわらせない。**

誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止 **トンネル内では発炎筒を使用しない。**

トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

発炎筒について



事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読み、あらかじめ確認しておいてください。

- 使用方法
- 使用上の注意事項
- 発炎時間
- 有効期限

緊急用具の取り扱い

工具、ジャッキの格納場所

⚠ 警告

車に搭載されているジャッキを使用する。

必ず守る

車に搭載されているジャッキはお客様のお車専用のものです。
車に搭載されている以外のジャッキを使用すると、車体が損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

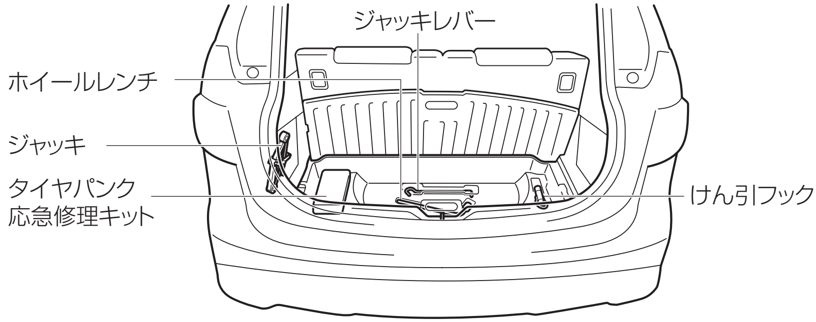
禁止

ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの取り付け、取りはずし以外に使用しないでください。

必ず守る

工具、ジャッキを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。

工具、ジャッキは図の位置に格納されています。



ジャッキの取り扱い

ジャッキアップする前に

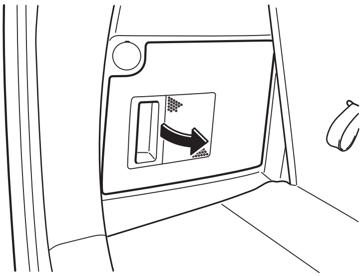
1. 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
2. セレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。
   → 262 ページ「路上で動けなくなったとき」
5. 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。
   → 266 ページ「工具、ジャッキの格納場所」
6. 輪止めを用意します。

知識

輪止めについて

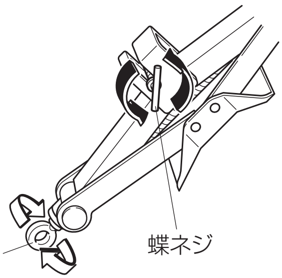
輪止めはお客様のお車に標準で搭載されておりません。必要に応じて日産販売会社でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

ジャッキを取り出すとき



1. カバーを取りはずします。

緊急用具の取り扱い



2. 蝶ネジを左にまわしてはずし、ソケットをゆるめてジャッキを取り出します。

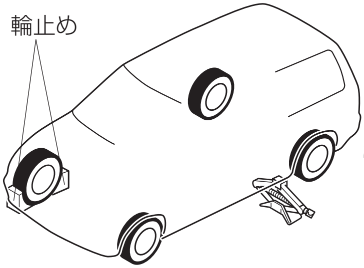
ジャッキアップするとき

⚠ 警告

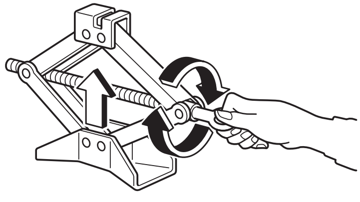
必ず守る

ジャッキアップするときはセレクトレバーを P にいれ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをする。

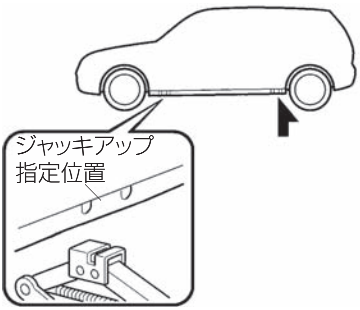
セレクトレバーが P にはいっていても、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。



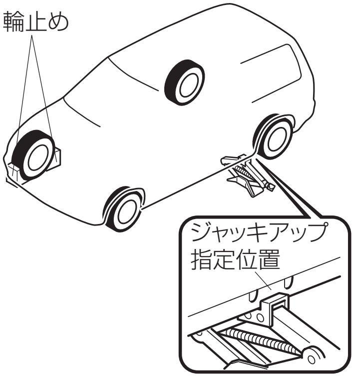
1. ジャッキをかける位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
   - 前輪をジャッキアップするときは、後輪の前後
   - 後輪をジャッキアップするときは、前輪の前後
2. ジャッキを地面に置きます。



3. ジャッキの図の部分を手でまわしてジャッキをジャッキアップ指定位置の近くにくるよう調節します。



4. ジャッキをジャッキアップ指定位置（目印となるふくらみの間）の中央に直角にセットします。



5. ジャッキを徐々に上げて、ジャッキアップ指定位置（目印となるふくらみの間）の中央にジャッキがはまっていることを確認します。

⚠ 警告

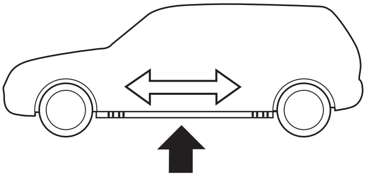
禁止

ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れない。

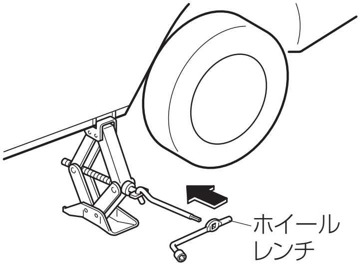
車体が変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

パンクなどで車高が下がりジャッキが入りにくい場合、車両中央部分からジャッキを入れてジャッキアップ指定位置までスライドさせてください。



緊急用具の取り扱い



6. ジャッキにジャッキレバーをかけ、ジャッキレバーにホイールレンチを組み付けます。

7. タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。

⚠警告

禁止

必要以上にジャッキアップしない。

車体が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止

ジャッキアップした状態で車のエンジンをかけない。

ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止

ジャッキアップした車の下には絶対にはいらない。

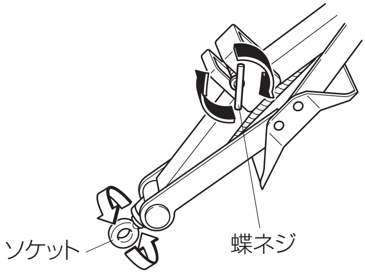
万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意

禁止

人を乗せたままジャッキアップしないでください。

ジャッキを格納するとき



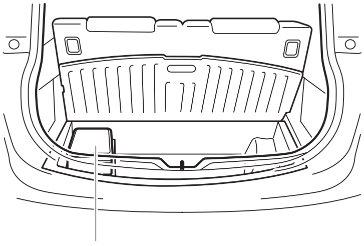
1. ソケットが下側になるような方向で蝶ネジをジャッキに差し込み、右にまわしていったん固定します。
2. ソケットを図の方向にまわします。
3. 蝶ネジをしっかりまわしてジャッキを固定します。

知識

ジャッキが完全に固定されていないときは、走行中に音がする場合があります。
再度ソケットをまわしてジャッキを固定してください。

パンクしたとき

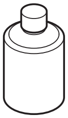
タイヤパンク応急修理キット



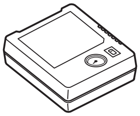
本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。
タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急修理してください。
タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。

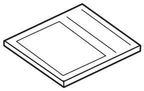
タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。

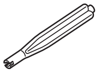

修理剤

注入ホース


エアコンプレッサー


取扱説明書

予備バルブコア


コア回し

速度制限シール

⚠ 警告

必ず守る

万一飲用したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受ける。

修理剤を飲用すると健康に害があります。

必ず守る

修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄する。

それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

禁止

お子さまには修理剤をさわらせない。

誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

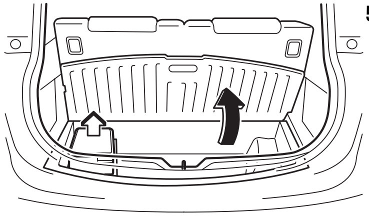
知識

修理剤の使用について

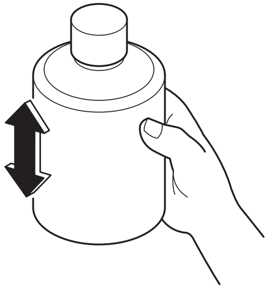
- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤を日産販売会社でお求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。日産販売会社またはJAF などに連絡してください。
  - 修理剤の有効期限がきれているとき (有効期限はボトルのラベルに記載されています)
  - 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
  - 接地部以外が損傷を受けたとき
  - ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールからはずれているとき
  - ホイールが破損しているとき
  - タイヤが 2 本以上パンクしているとき

タイヤパンク応急修理キットの使いかた

1. 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
2. セレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。



5. 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。



6. 修理剤のボトルをよく振ります。

パンクしたとき

⚠警告

注入ホースをねじ込む前にボトルを振る。

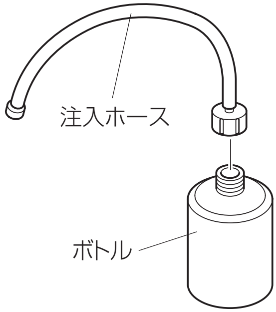
必ず守る

注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散り、修理剤が衣服などに付着すると取れないおそれがあります。

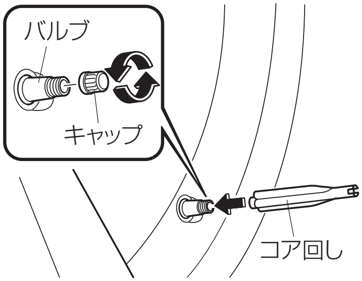
知識

修理剤の性質について

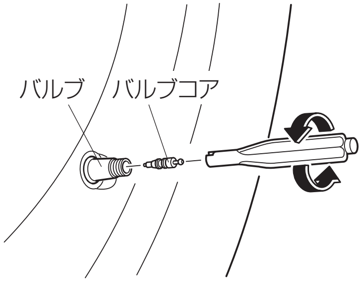
0°C 以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。



7. ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態で注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。



8. パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押してタイヤの空気を完全に抜きます。



9. コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。

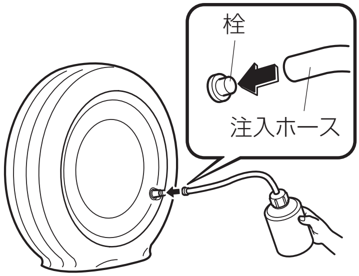
⚠ 注意

バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。

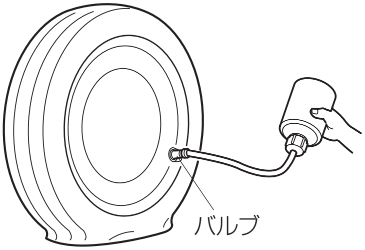
必ず守る

知識

バルブコアは汚れないように保管してください。



10.注入ホースの栓をはずし、注入ホースをバルブに差し込みます。



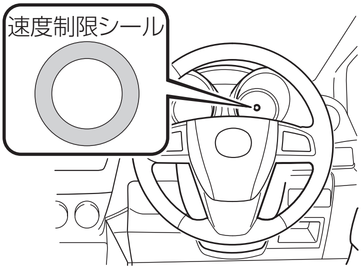
11.ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤を全てタイヤの中に注入します。

12.注入ホースをバルブから引き抜き、コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブにバルブコアを取り付けます。

知識

修理剤の回収について

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または恒久修理の際に修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずに日産販売会社までお持ちください。



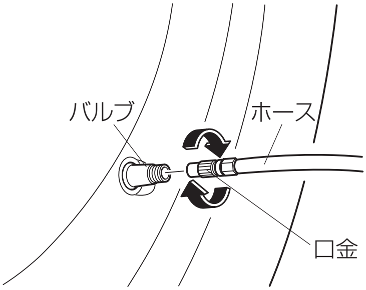
13.運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。

⚠ 警告

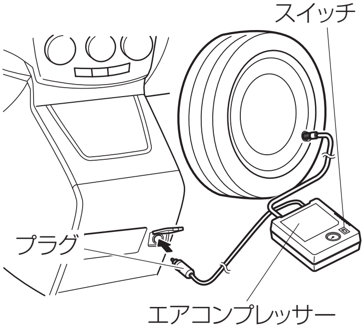
ハンドルのパッド部に速度制限シールを貼らない。

禁止

万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。



14.エアコンプレッサーのホースの口金を右にまわしてバルブに取り付けます。



15.エアコンプレッサーのプラグを車内の 12V 電源に差し込み、電源ポジションを ACC にします。

→ 201 ページ「12V 電源」

⚠注意

> **12V 電源にエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認してください。エアコンプレッサーの ON、OFF はエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。**
> 必ず守る

16.エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

知識

空気圧の調整について

- タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10 分以上連続して作動させないでください。
- タイヤ空気圧が昇圧できない場合は修理できません。もし、10 分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社または JAF などに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

17.適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしエアコンプレッサーのホースの口金を左にまわしてバルブから抜きます。

18.バルブキャップを取り付けます。

19.修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、直ちに走行を始めます。

⚠注意

> **80km/h 以下の速度で慎重に運転してください。80km/h 以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。**
> 必ず守る

20.10 分間もしくは 5km 程度走行後に手順 14 の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックします。適正空気圧より低下していたら、手順 15 の作業から再度行ないます。

パンクしたとき

⚠警告

禁止

空気圧が 130kPa（1.3kgf/cm²）以下に低下していたら、運転を中止して日産販売会社または JAF などに連絡する。

本修理キットによる応急修理はできません。

禁止

手順 14 ～ 20 の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止する。

日産販売会社または JAF などに連絡してください。

⚠注意

必ず守る

タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしてから確認してください。

21. 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。すみやかに日産販売会社まで慎重に運転し、新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理･再使用する場合は日産販売会社にご相談ください。

知識

応急修理をしたタイヤとホイールは

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、できるだけ早く新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理･再使用する場合は日産販売会社にご相談ください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし、バルブは新しいものと取り替えてください。

タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

知識

修理剤の有効期限について

修理剤には有効期限があります。有効期限がきれたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきれる前に日産販売会社で新しい修理剤をお求めください。

バッテリーがあがったとき

バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。

⚠ 警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

必ず守る

必ず保護メガネを着用する。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

必ず守る

バッテリーの近くでお子さまを遊ばせない。また、バッテリー液をこぼさない。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一、目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

必ず守る

絶対に火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子同士やボディーに触れないように十分注意してください。

必ず守る

換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわない。また、充電中はバッテリーに近づかない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

⚠警告

必ず守る

ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検する。

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂（爆発）につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

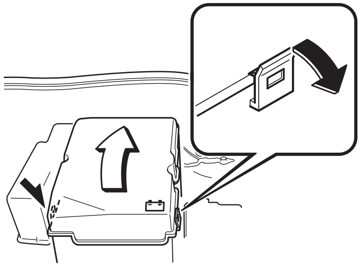
処置方法

押しがけによる始動はできません。
別売のブースターケーブルを使用して、救援車（他の車）のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。
自車と同じ 12V バッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

⚠注意

必ず守る

ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。



1. 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
2. ヘッドランプやエアコンなどの電源が切ってあることを確認します。
3. バッテリーカバーを取りはずします。

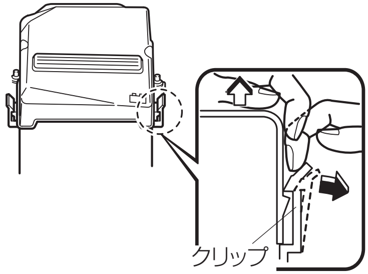
バッテリーがあがったとき

⚠ 注意

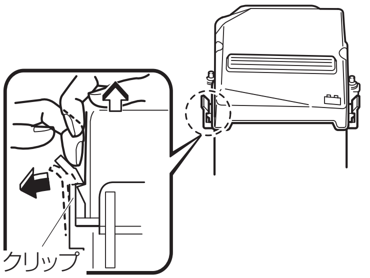
必ず守る

バッテリーカバーを取りはずす場合はドライバーやプライヤーなど、力のかかる工具を使わないでください。クリップに無理な力をかけると破損するおそれがあります。
破損や傷つきを防止するため、次の手順で取りはずしてください。

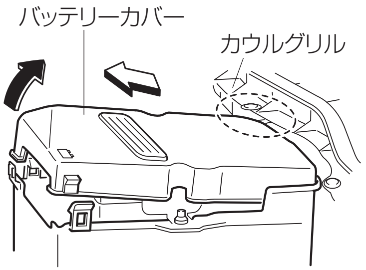
4. 車両外側のクリップをゆっくり 4mm 程度広げ、バッテリーカバーを持ちあげてロック部分を解除します。



5. 車両内側のクリップをゆっくり 4mm 程度広げ、バッテリーカバーを持ちあげてロック部分を解除します。



6. バッテリーカバーを、カウルグリルにあたらないよう持ちあげて、引き抜きます。



7. 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。

ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子（＋、－）の位置を確認してください。

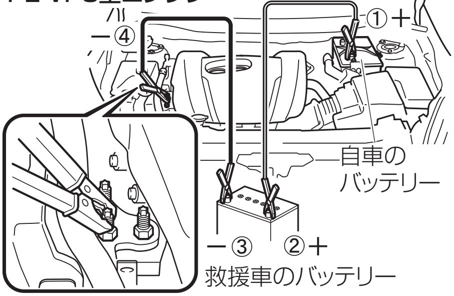
- **1 本目**

  ①自車のバッテリーの＋端子
  ②救援車のバッテリーの＋端子

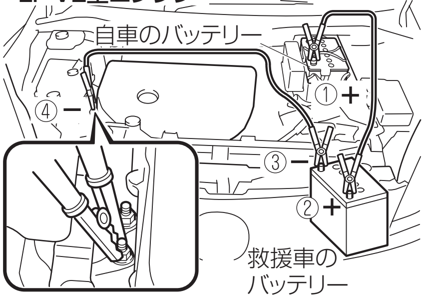
- **2 本目**

  ③救援車のバッテリーの－端子
  ④図で表示の箇所（アースを取る）

PE-VPS型エンジン



LF-VE型エンジン



⚠警告

禁止

バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。

- **④の接続は自車バッテリーの－端子につながないでください。**
- **ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子がボディーや－端子に触れないように十分注意してください。**

8. 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。
9. 自車のエンジンをかけます。約 3 分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。

バッテリーがあがったとき

⚠ 警告

禁止

充電中はバッテリーに近づかない。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

10.ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。

11.バッテリーカバーを取り付けます。

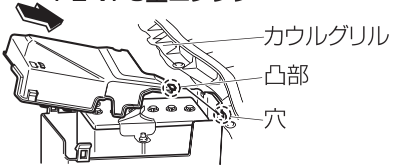
⚠ 注意

必ず守る

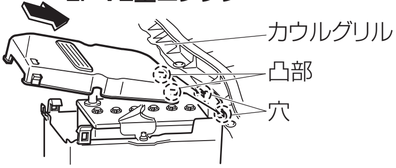
クリップに無理な力をかけると破損するおそれがあります。
破損や傷つきを防止するため、次の手順で取り付けてください。

12.カウルグリルにあたらないよう注意しながら、バッテリートレイの穴にバッテリーカバーの凸部を挿しこみます。

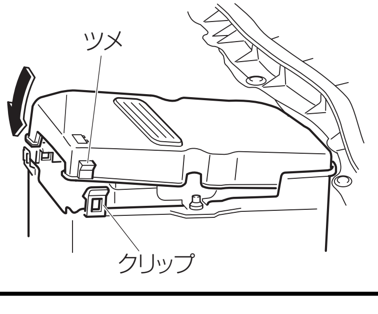
PE-VPS型エンジン



LF-VE型エンジン



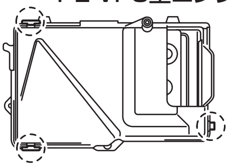
13.バッテリーカバーのツメをクリップに取り付けます。



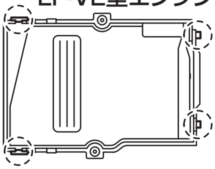
⚠ 注意

- **バッテリーカバーを取り付けたあとは、カバーが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと走行中他の装置と接触し故障につながるおそれがあります。**

PE-VPS型エンジン



LF-VE型エンジン



◌確認箇所

14. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

📖 知識

バッテリーがあがりやすいときは、日産販売会社で点検を受けてください。

オーバーヒートしたとき

オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯 (赤) が点灯し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。

⚠ 警告

禁止

エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。

禁止

エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けない。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まっていてもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

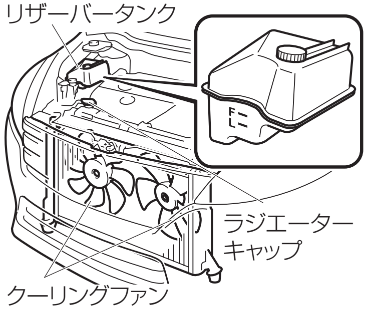
処置方法

1. 安全な場所に車を止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   <u>エンジンルームから蒸気が出ているときは</u>
   エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。
   <u>エンジンルームから蒸気が出ていないときは</u>
   エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。
   クーリングファンが作動していることを確認し、高水温警告灯 (赤) が消灯したらエンジンを止めます。

⚠注意

> **クーリングファンが作動していないときは、エンジン温度がさらに上昇します。ただちにエンジンを止め、日産販売会社にご連絡ください。**
> 必ず守る



3. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。

   補充後はキャップを確実に取り付けてください。

4. 早めに最寄りの日産販売会社で点検を受けてください。

知識

冷却水がない場合は

一時的に水を補充してください。

水を補充したあとは、冷却水の濃度をもとにもどしてください。

インテリジェントキーが作動しないとき

インテリジェントキー一時停止機能

インテリジェントキーが車内にあるとき、車内に置いてあるインテリジェントキーの機能 (スタートノブでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作) が盗難防止のため、一時停止する場合があります。
次のいずれかの操作で復帰させてください。

- 一時停止したインテリジェントキーのいずれかのスイッチを押す
- 一時停止したインテリジェントキーを携帯し、インテリジェントキー機能を使って、ドア、バックドアを施錠する
- 別のインテリジェントキーを携帯し、KEY 表示灯 (緑) が点灯するまでスタートノブを押し込む
- 補助キーを差し込み、エンジンスイッチを ON の位置までまわす

けん引してもらうとき

けん引はできるだけ日産販売会社または JAF などに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ず日産販売会社または JAF などに連絡してください。

⚠警告

必ず守る
長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引する。
ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

⚠注意

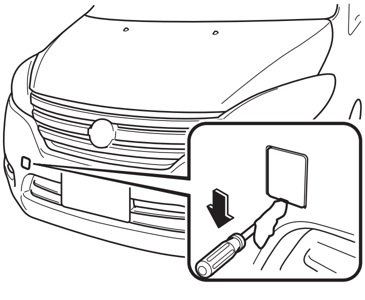
必ず守る
オートマチック車をロープでけん引してもらうときは、速度 30km/h 以下、走行距離は 30km 以内にしてください。

必ず守る
4WD 車のけん引は、前後輪すべてを持ち上げるか、前後輪接地状態で搬送してください。駆動装置の故障時は、トレーラーなどに搭載して搬送してください。前輪または後輪だけを持ち上げた状態でけん引すると、駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る
金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

やむをえずロープでけん引してもらうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

1. けん引フック、ホイールレンチをラゲッジルームから取り出します。
   → 266 ページ「工具、ジャッキの格納場所」

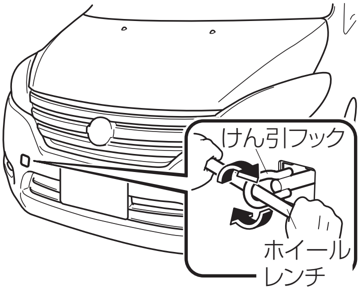


2. マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。

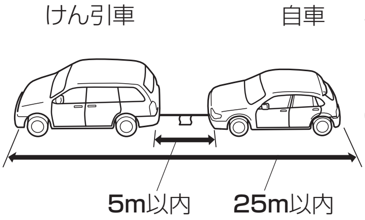
けん引について

⚠注意

必ず守る **カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。**



3. ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。
4. けん引ロープをフックにかけます。



5. ロープは 5m 以内にして、中央に 0.3m 平方 (0.3m × 0.3m) 以上の白い布を必ずつけてください。
6. けん引してもらう車はエンジンをかけ、セレクトレバーを N にいれます。エンジンがかからないときは、電源ポジションを ACC にします。

⚠警告

必ず守る **やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転する。**

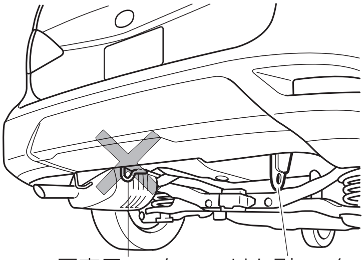
エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る **けん引中は電源ポジションを OFF にしないでください。OFF にするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

7. パーキングブレーキを解除します。
8. けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

故障車をけん引するとき



一般路上でやむをえず故障した車をロープでけん引するときは、後ろ側のけん引フックにロープをかけてけん引してください。
後ろ側のけん引フックはリヤバンパー下部の右側（運転席側）にあります。

⚠ 注意

けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。

- **自車の重量より重い車はけん引しないでください。**
- **急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。**
- **けん引フック以外にロープをかけないでください。**

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

万一事故が起きたとき

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

4.相手の氏名、住所などの確認

5.日産販売会社、保険会社への連絡

知識

事故がおきたら

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

チャイムがなったときは

システムの故障や、使用上の注意が必要な場合に警報チャイムでお知らせします。

チャイム	現象	確認してください
キー抜き忘れ防止	電源ポジションを OFF または ACC にして運転席ドアを開けたときにチャイムが鳴りつづけるとき	キーまたは補助キーが差し込んだままになっていないか
ランプ消し忘れ防止	キーまたは補助キーを抜いて (インテリジェントキー機能使用時は、電源ポジションを OFF にして)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りつづけるとき	ランプを点灯させたままになっていないか
エアバッグ警告 / プリテンショナー警告	約 35 分のあいだに、毎分 5 秒間チャイムが鳴りつづけるとき	**警告** 禁止 **エアバッグ警告チャイム / プリテンショナー警告チャイムが鳴っているまま走行しない。** 衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
シートベルト着用忘れ	車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴るとき	運転席 / 助手席シートベルトの着用を確認する。着用すると鳴り止む。
スタートノブもどし忘れ警報	運転席ドアを開けたときに、チャイムが鳴り続けるとき	電源ポジションを OFF にしているか

警報チャイム

チャイム	現象	確認してください
インテリジェントキー車外持ち出し警報	運転席を開けたときにチャイムが 3 回鳴り、メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅し続けるとき	電源ポジションを OFF にせずにインテリジェントキーを車外に持ち出していないか
	すべてのドアを閉めたときにチャイムが 6 回鳴り、メーター内の KEY 警告灯 (赤) が点滅し続けるとき	
リクエストスイッチ不作動警報	インテリジェントキーを携帯してドアまたはバックドアのリクエストスイッチを押すと、チャイムが 6 回鳴るとき	いずれかのドア、バックドアが開いていないか
		電源ポジションを OFF にしているか
		エンジンスイッチに補助キーを差し込んだままになっていないか
インテリジェントキーバックドア内閉じ込み警報	バックドアを閉めたときにチャイムが約 10 秒間鳴るとき	インテリジェントキーを荷室内に置いていないか
インテリジェントキー車内閉じ込み警報	インテリジェントキーを携帯して施錠しようとしたときに、チャイムが約 10 秒間鳴るとき	インテリジェントキーを車内に置いていないか
	フロントドアを施錠した状態でバックドア閉めたときにチャイムが約 10 秒間鳴るとき	
アイドリングストップ警告	アイドリングストップ中にチャイムが鳴り、メーター内のアイドリングストップ警告灯 (橙) と他の警告灯も点灯したとき	シートベルトをはずして運転席ドアを開けていないか
	アイドリングストップ中にチャイムが鳴るとき	運転席ドアが開いていないか

確認してもチャイムが鳴り止まないときは、日産販売会社に連絡してください。

警告灯が点灯、点滅したときは

ブレーキ警告灯が点灯した

次のようなときは点灯し続けます。
ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

- ブレーキ液が不足しているとき。
- EBD（電子制御制動力配分システム）に異常があるとき。

⚠警告

禁止

ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しない。

ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

必ず守る

ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡する。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

故障警告表示灯が点灯した

次のようなときは点灯し続けます。日産販売会社で点検を受けてください。

- ブレーキスイッチに異常があるとき
- 充電装置に異常があるとき (PE-VPS 型エンジン)

⚠警告

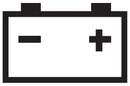
禁止

故障警告表示灯が点灯したまま走行しない。

ブレーキランプスイッチやエンジン制御システムなどが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯

充電警告灯が点灯した



エンジン回転中､充電装置に異常があると点灯します。ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

警告

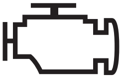
充電警告灯が点灯したまま走行しない。

エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。

油圧警告灯が点灯した

エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検してください。
エンジンオイルの量が不足しているときは補充してください。
エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、日産販売会社に連絡してください。

エンジン警告灯が点灯または点滅した



エンジン制御システムに異常があると点灯 / 点滅し続けます。
高速走行をせず、日産販売会社で点検を受けてください。
点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯 / 点滅したときの走行状態を日産販売会社にご連絡ください。

高水温警告灯（赤）が点灯または点滅した

エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯します。

点灯したときは

オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
→ 286 ページ「オーバーヒートについて」

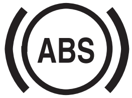
点滅したときは

エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅します。
エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。

アイドリングストップ警告灯が橙色で点滅した

システムに異常があるときは点滅し続けます。
日産販売会社で点検を受けてください。

ABS 警告灯が点灯した



システムに異常があるときは点灯し続けます。
日産販売会社で点検を受けてください。

警告

必ず守る

ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡する。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

ABS 警告灯が点灯しているときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

運転する前に
運転するときに
快適装備の使いかた
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

警告灯

エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯が点灯または点滅した

次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。
- 点灯 / 点滅し続けるとき。

⚠ 警告

エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。

衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

4WD 警告灯が点灯した

4WD

4WD システムに異常があると点灯します。日産販売会社に連絡してください。

4WD 警告灯が点滅した

4WD

次のようなときは点滅します。警告灯が消灯するまでエンジンをかけたまま安全な場所に停車してください。しばらくして警告灯が消灯すれば走行することができます。警告灯が消灯しないときは、日産販売会社に連絡してください。

- ディファレンシャルオイルの温度が異常に高いとき。
- スタックからの脱出時など、前後輪の回転差が異常に大きい状態が続いたとき。

⚠ 警告

脱輪やスタックなどにより、車輪が宙に浮いたときは、むやみに空転させない。

駆動系部品に悪影響をあたえ、駆動系のオイル漏れや焼きつきなどにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチックトランスミッション警告灯が点灯した

AT

システムの異常が考えられます。
日産販売会社で点検を受けてください。

電動パワーステアリング警告灯が点灯した

エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯します。
警告灯が点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。
エンジンを再始動した後でも警告灯が消灯しない場合は、日産販売会社に連絡してください。

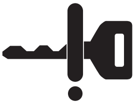
知識

<u>警告灯が点灯したときは</u>

- 電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ステアリング操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。
- 停車中または低速走行時にステアリング操作を繰り返すと、システム保護のためステアリング操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車し、ステアリング操作を行わないでください。しばらくするともとにもどります。

警告灯

KEY 警告灯が赤色で点灯または点滅した



点灯するとき

システムの異常が考えられます。
日産販売会社で点検を受けてください。

注意

禁止

KEY 警告灯が赤色で点灯し続けるときは、インテリジェントキー機能（インテリジェントキーエントリー & スタートシステム）による運転を続けないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

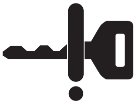
点滅するとき

- 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションを OFF 以外にできないことをお知らせます。
  - インテリジェントキーの電池が切れたとき
    → 246 ページ「インテリジェントキー」
  - インテリジェントキーが作動範囲内にないとき
  - インテリジェントキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
    → 19 ページ「インテリジェントキー機能を使っての操作」
  - インテリジェントキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき
- 次のようなときは警告灯が点滅し続け、電源ポジションを OFF にせずに、インテリジェントキーを車外に持ち出したことを知らせます。
  インテリジェントキーを車内にもどすと消灯します。
  - 電源ポジションを OFF にせずに、運転席ドアを開け、インテリジェントキーを車外に持ち出したとき
  - 電源ポジションを OFF にせずに、インテリジェントキーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき

知識

警告灯の点滅と同時にチャイムでもお知らせします。
→ 293 ページ「チャイムがなったときは」

KEY 表示灯が緑色で点滅した



インテリジェントキーの電池容量が残り少なくなっていることが考えられます。
このとき、電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたときに、30 秒間点滅します。
インテリジェントキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。
→ 246 ページ「インテリジェントキー」

TCS/VDC 作動表示灯が点灯した

次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

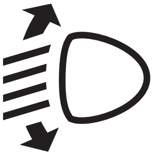
- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

VDC OFF 表示灯が点灯した

次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- VDC を解除していないのに点灯したとき。

ヘッドランプオートレベライザー警告灯が点灯した



システムの異常が考えられます。
日産販売会社で点検を受けてください。

方向指示 / 非常点滅表示灯の点滅が異常に速くなった

電球切れが考えられます。
日産販売会社で点検を受けてください。

低水温表示灯（青）が暖機後も点灯し続ける

十分に暖機しても点灯したままのときは、温度センサーなどの故障が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

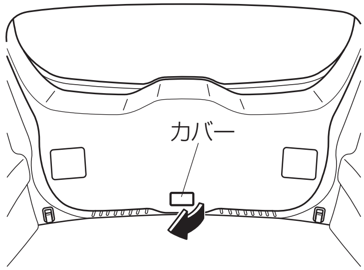
セキュリティ表示灯が点灯または点滅するとき

登録されたキーで電源ポジションを ON にしても表示灯が点灯 / 点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

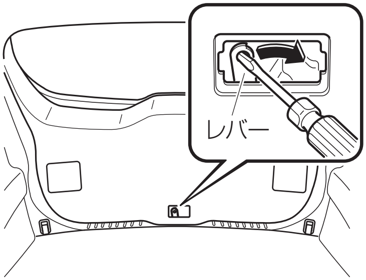
セキュリティ表示灯が点灯 / 点滅したままの状態でエンジンを停止すると、再度エンジンを始動することができない可能性があります。エンジンを停止せず日産販売会社で点検を受けてください。

バックドアが開けられなくなったとき

バッテリーあがりや電気系統の故障などで、バックドアの解錠ができず開けられなくなったときは応急処置として以下の方法で開けることができます。



1. サードシートを倒します。
   → 54 ページ「荷室を作るとき」
2. マイナスドライバーなどを使ってバックドア車内側にあるカバーをはずします。



3. レバーを右側に動かして解錠します。

   応急処置後はできるだけ早めに日産販売会社で点検を受けてください。

燃料、オイル、液類

燃料

使用燃料については、83 ページ「給油するとき」もあわせてお読みください。

項目		サービスデータ
使用燃料		無鉛レギュラーガソリン
タンク容量 (参考値)	2WD 車	60 L
	4WD 車	55 L

フューエルフィルター (LF-VE 型エンジン)

項目	サービスデータ
交換時期	160,000 km 走行ごと

エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。
交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。
寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

項目		サービスデータ	
交換時期		標準	15,000 km または 1 年ごと
		シビアコンディション *1	7,500 km または 6 か月ごと
オイルグレード	SN エクストラセーブ ·X*2	API SN、SAE 0W-20	
	SN ストロングセーブ ·X*2	API SN、SAE 0W-20	
		API SN、SAE 5W-30	
	SM ストロングセーブ ·X E スペシャル	API SM、SAE 5W-30	

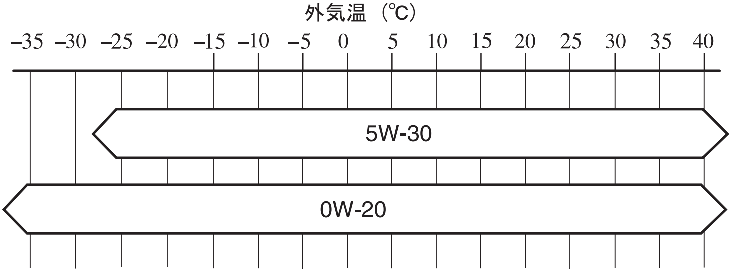
項目			サービスデータ
交換量（参考値）	PE-VPS 型エンジン	オイルのみ	4.0 L
		オイルとオイルフィルター	4.2 L
	LF-VE 型エンジン	オイルのみ	3.9 L
		オイルとオイルフィルター	4.3 L

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

*2 PE-VPS 型エンジンには、SN グレードの使用を推奨します。

使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



燃料、オイル、液類

エンジンオイルフィルター

交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	15,000 km または 1 年ごと
	シビアコンディション *1	7,500 km または 6 か月ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

オートマチックトランスミッションフルード

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目		サービスデータ
推奨フルード	PE-VPS 型エンジン	純正 ATF FZ
	LF-VE 型エンジン	純正 ATF M-III
容量 (参考値)	PE-VPS 型エンジン	7.8 L
	LF-VE 型エンジン	8.0 L

ディファレンシャルオイル (4WD 車)

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	無交換
	シビアコンディション *1	60,000 km 走行ごと
推奨オイル	デフオイルハイポイドスーパー 80W-90 (GL-5)	
容量 (参考値)	1.0 L	

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

トランスファーオイル (4WD 車)

項目	サービスデータ
推奨オイル	デフオイルハイポイドスーパー 80W-90 (GL-5)
容量 (参考値)	1.05 L

パワーステアリングフルード

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
推奨フルード	純正 ATF M-III、純正 ATF M-V
容量 (参考値)	0.9 L

ブレーキ液

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2 年ごと (初回は 3 年)
推奨液	ブレーキフルード No.2500

冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目		サービスデータ
交換時期		100,000 km 走行または 4 年ごと (初回は 180,000 km 走行または 9 年)
推奨液		純正ロングライフクーラント (ゴールデン)
容量 (参考値)	PE-VPS 型エンジン	6.6 L
	LF-VE 型エンジン	6.0 L

燃料、オイル、液類

ウォッシャー液

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
タンク容量 (参考値)	2.5 L

ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	2.8 ～ 6.5 mm
床板とのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	128 mm 以上
フロアマットとのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	99 mm 以上

パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
引きしろ (操作力 98 N {10 kgf})	3 ～ 6 ノッチ

オルタネーターベルト

項目	サービスデータ
たわみ量	自動調整式 (使用限度をこえているものは交換)

エアクリーナーエレメント

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	50,000 km 走行ごと
	シビアコンディション *1	25,000 km 走行ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

電気部品 / 電球 (バルブ)

スパークプラグ

項目			サービスデータ
型式	PE-VPS 型エンジン	NGK	ILKAR7L11[*1]
		DENSO	ZC20HPR11[*1]
	LF-VE 型エンジン	NGK	ILTR5A13G、LTR5BI13

*1 PE-VPS 型エンジンの最適な性能を発揮するためのスパークプラグです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

注意

イリジウムプラグを使用しておりますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。

バッテリー

項目		サービスデータ
型式、容量	PE-VPS 型エンジン	Q-85[*1]
	LF-VE 型エンジン	55D23L、55 Ah (20 時間率)

*1 Q-85 はアイドリングストップ車用です。アイドリングストップシステムを正しく作動させるために、Q-85 を使用してください。日産純正バッテリーの使用を推奨します。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）			W数（12V用）	規格 (UNECE[*1](SAE))
ヘッドランプ	ハロゲンヘッドランプ装備車	Hi	60 W	HB3 (HB3)
		Lo	55 W	H11 (H11)
	キセノンヘッドランプ装備車	Hi	60 W	HB3 (HB3)
		Lo	35 W	D2S (D2S)
フォグランプ グレード/仕様別装備			55 W	H11 (H11)
車幅灯			5 W	W5W (—)
前面方向指示灯／非常点滅灯			21 W	PY21W (—)
側面方向指示灯／非常点滅灯	バルブタイプ		5 W[*2]	WY5W (—)
	LEDタイプ		LED[*3]	— (—)
後面方向指示灯／非常点滅灯			21 W	WY21W (32CP)
制動灯／尾灯			21/5 W	W21/5W (#7443)
後退灯			21 W	W21W (7440)
番号灯			5 W	W5W (—)
ハイマウントストップランプ			LED[*3]	— (—)
ルームランプ／マップランプ（フロント）			5 W	W5W (—)
ルームランプ（リヤ）			10 W	— (—)
ラゲッジルームランプ			8 W	— (—)

*1 UNECEはUnited Nations Economic Commission for Europe（国連欧州経済委員会）の略です。

*2 電球（バルブ）の交換はできません。ランプユニット本体の交換となります。

*3 LEDはLight Emitting Diodeの略で、発光するダイオードです。

電気部品 / 電球 (バルブ)

ヒューズ

→ 230 ページ「ヒューズの受け持つ装置」

タイヤ / ホイールサイズ

標準タイヤ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

<table>
<tr><th rowspan="2">タイヤサイズ</th><th colspan="3">ホイール</th></tr>
<tr><th>サイズ</th><th>インセット
(オフセット)</th><th>ピッチサークル
直径</th></tr>
<tr><td>195/65R15 91H</td><td>15 × 6J</td><td rowspan="3">52.5 mm</td><td rowspan="3">114.3 mm</td></tr>
<tr><td>205/55R16 91V</td><td>16 × 6-1/2J</td></tr>
<tr><td>205/50R17 89V</td><td>17 × 6-1/2J</td></tr>
</table>

タイヤ空気圧

標準タイヤ

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。
→ 226 ページ「タイヤの点検」

<table>
<tr><th rowspan="2">タイヤサイズ</th><th colspan="2">タイヤ空気圧</th></tr>
<tr><th>前輪</th><th>後輪</th></tr>
<tr><td>195/65R15 91H</td><td>230 kPa
(2.3 kgf/cm^2)</td><td>230 kPa
(2.3 kgf/cm^2)</td></tr>
<tr><td>205/55R16 91V</td><td>220 kPa
(2.2 kgf/cm^2)</td><td>220 kPa
(2.2 kgf/cm^2)</td></tr>
<tr><td>205/50R17 89V</td><td>220 kPa
(2.2 kgf/cm^2)</td><td>220 kPa
(2.2 kgf/cm^2)</td></tr>
</table>

タイヤ / ホイール

ホイールナットの締め付けトルク

タイヤを取り付けるときは、次のトルクでホイールナットを締め付けてください。

88N·m ～ 118N·m (9kgf·m ～ 12kgf·m)

ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、日産販売会社にご相談ください。

設定変更（カスタマイズ機能）

以下の機能の設定を日産販売会社で変更することができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

機能	内容	初期設定	変更内容
キー抜き忘れ防止チャイム	キー抜き忘れ防止チャイムの音量を変更できます。	音量大	音量小
ランプ消し忘れ防止チャイム	ランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更できます。	音量大	音量小 / なし
方向指示器のブザー音	方向指示器のブザーの音量を変更できます。	音量大	音量小 / なし
イルミネーテッドエントリーシステム	ドアを閉めてからルームランプが消灯するまでの時間を変更できます。	15 秒	7.5 秒 /30 秒 /60 秒
	運転席ドアを解錠してからルームランプが消灯するまでの時間を変更できます。	30 秒	7.5 秒 /15 秒 /60 秒
	運転席ドアを解錠したとき、ルームランプが点灯しないようにできます。	ON	OFF
	ドアが確実に閉まっていないとき、ルームランプが自動的に消灯しないようにできます。	ON	OFF
	ドアが確実に閉まっていないとき、ルームランプが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。	30 分	10 分 /60 分
リモートコントロールエントリーシステム	アンロックスイッチを押して解錠したあと、ドアまたはバックドアを開けなかった場合に自動的に施錠される時間を変更できます。	30 秒	60 秒 /90 秒
	施錠 / 解錠したときに、非常点滅灯が点滅しないようにできます。	ON	OFF

設定変更 (カスタマイズ機能)

機能	内容	初期設定	変更内容
インテリジェントキーエントリー＆スタートシステム	オートロック機能を作動させることができます。	OFF	ON
	施錠 / 解錠時のチャイムの音が鳴らないようにできます。	ON	OFF
	リクエストスイッチを押して解錠したあと、ドアまたはバックドアを開けなかった場合に自動的に施錠される時間を変更できます。	30 秒	60 秒 /90 秒
オートライト機能	ヘッドランプが点灯するタイミングを変更できます。	標準 (通常の暗さで点灯)	早く / 少し早く / 少し遅く / 遅く
クイックリフレッシュ機能	クイックリフレッシュ機能を作動しないようにできます。	ON	OFF
雨滴感知機能	雨滴感知ワイパーが作動しないようにできます。	ON	OFF*1

*1 ワイパーの仕様は、標準タイプ (間けつ作動付き) に変更となります。変更した場合は、ワイパーレバーの交換が必要となります。

MEMO

A

ABS (アンチロックブレーキシステム) 171
　警告灯が点灯した........ 297
ASCD........ 177
　表示灯........ 177

E

EDR (イベントデータレコーダー)... 100

S

SRS エアバッグシステム........ 90
　EDR........ 100
　エアバッグの種類........ 90
　エアバッグの注意点........ 92
　警告灯が点灯 / 点滅した........ 298

T

TCS (トラクションコントロールシステム)........ 173
　TCS/VDC 作動表示灯........ 173
　作動表示灯が点灯した........ 301

V

VDC (ビークルダイナミクスコントロール)........ 174
　TCS/VDC 作動表示灯........ 175
　VDC OFF スイッチ........ 175
　VDC OFF 表示灯........ 176
　VDC OFF 表示灯が点灯した ... 301
　作動表示灯が点灯した........ 301

ア

アームレスト 45, 48
アイドリングストップシステム
　アイドリングストップ警告灯 (橙) が点滅した........ 297
アイドリングストップシステム 119
　アイドリングストップ OFF スイッチ........ 123
　アイドリングストップ警告チャイム........ 123
　アイドリングストップ警告灯 (橙)/ アイドリングストップ表示灯 (緑)........ 122
　アイドリングストップ発進補助機能........ 124
アルミホイール
　手入れ........ 252
アンチロックブレーキシステム (ABS)........ 171
アンチロックブレーキシステム (ABS)
　警告灯が点灯した........ 297
アンテナ 194

イ

イージークロージャー........ 37
イグニッション (エンジン)
　キー........ 15
イベントデータレコーダー (EDR) 100
イルミネーションコントロールスイッチ 129
イルミネーテッドエントリーシステム........ 199
インテリアライト (室内照明)....... 199

インテリジェントキー
インテリジェントキー車外持ち出し警報........293
インテリジェントキー車内閉じ込み警報........293
インテリジェントキーバックドア内閉じ込み警報........293
エンジンをかけるとき........114
作動しないとき........288
作動範囲........19
電池交換........246
ドアの施錠 / 解錠........22
リクエストスイッチ不作動警報...293
インナーミラー (ルームミラー)......61
インフォメーションセンターディスプレイ........130
エアコン表示........132
外気温表示........131
時計........130

ウ

ウインカー (方向指示器)
電球 (バルブ) 交換........237
レバー........163
W (ワット) 数........311
ウインドー
クイックリフレッシュ機能........81
曇ったとき........192
手入れ........252
はさみ込み防止機構........81
パワーウインドー........80
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ........170
ウォッシャー
ウォッシャー液の補充........228
ウォッシャースイッチ........165
タンク容量........308
冬にそなえて (濃度の調節)......257

エ

エアクリーナーエレメント
交換時期........309
エアコン (空調)........186
オゾンセーフフルオートエアコン........189
上手な使いかた........186
吹き出し口 (空調)........187
エアバッグシステム........90
EDR........100
エアバッグの種類........90
エアバッグの注意点........92
警告灯が点灯 / 点滅した........298
エンジン
かけかた........114
キー........15
きるとき........117
スイッチ........113
エンジンイモビライザー........86
セキュリティ表示灯が点灯 / 点滅した........302
エンジンオイル
交換時期、オイルグレード、交換量........304
フィルター........306
冬にそなえて........257
油圧警告灯が点灯した........296
エンジン回転計 (タコメーター)... 127
エンジンフード (ボンネット)
開けかた........220
閉めかた........221
エンスト (故障したとき)........264

オ

オートマチックトランス
ミッション 144
AAS モード 148
運転するときに 154
キックダウン 144
クリープ現象 144
警告灯が点灯した....................... 299
シフトロック装置....................... 147
セレクトレバー 148
ダイレクトモード....................... 153
駐車するとき 154
マニュアルモード....................... 149
オートマチックトランスミッション
フルード
推奨フルード、容量................... 306
オーバーヒートしたとき 286
お子さまの安全
お子さま専用シート選択の目安... 74
お子さま専用シートについて 72
お子さま専用シートの種類.......... 73
固定ロアアンカー.......................... 77
チャイルドシートを固定するとき... 77
オドメーター 127
オルタネーターベルト
点検基準値 309

カ

ガソリン (燃料)
使用燃料、容量 304
燃料補給口 83
カップホルダー................................ 202
ガラス
曇ったとき 192
手入れ.. 252
リヤウインドーデフォッガー (曇
り取り) スイッチ....................... 170

キ

キー... 15
KEY 警告灯 (赤) が点灯 / 点滅
した... 300
KEY 表示灯 (緑) が点滅した... 301
インテリジェントキーの電池
交換... 246
リモートコントロールエントリー
システム 15
キーナンバープレート.................. 15
作動範囲 20
リモートコントロールエントリー
システムの電池交換.................. 248
キセノンヘッドランプ.................... 163
キックダウン 144
緊急用具.. 265

ク

空気圧 (タイヤ) 313
空調 (エアコン) 186
オゾンセーフフルオート
エアコン 189
吹き出し口 (空調) 187
曇り取り (デフォッガー)
スイッチ 170
クラクション (ホーン).................. 170
クリープ現象 144

ケ

警告灯..134
警告灯が点灯、点滅した................295
　4WD 警告灯が点灯した...........298
　4WD 警告灯が点滅した...........298
　ABS 警告灯が点灯した............297
　KEY 警告灯 (赤) が点灯 / 点滅
　した..300
　VDC OFF 表示灯が点灯した ...301
　アイドリングストップ警告灯 (橙)
　が点滅した................................297
　エアバッグ警告灯が点灯 / 点滅し
　た..298
　エンジン警告灯が点灯 / 点滅
　した..296
　オートマチックトランスミッショ
　ン警告灯が点灯した.................299
　高水温警告灯 (赤) が点灯 / 点滅
　した..297
　故障警告表示灯が点灯した.......295
　シートベルト警告灯が点灯 / 点滅
　した..134
　充電警告灯が点灯した..............296
　電動パワーステアリング警告灯が
　点灯した....................................299
　燃料残量警告灯が点灯した.......134
　半ドア警告灯が点灯した..........134
　プリテンショナー警告灯が点灯 /
　点滅した....................................298
　ブレーキ警告灯が点灯した.......295
　ヘッドランプオートレベライザー
　警告灯が点灯した......................301
　油圧警告灯が点灯した..............296
警報音
　アイドリングストップ警告チャイ
　ム..123
警報チャイム..................................293
　アイドリングストップ警告チャイ
　ム..293
　インテリジェントキー車外持ち出
　し警報.......................................293
　インテリジェントキー車内閉じ込
　み警報.......................................293
　インテリジェントキートランク /
　バックドア内閉じ込み警報.......293
　エアバッグ / プリテンショナー警
　告チャイム................................293
　キー抜き忘れ防止チャイム.......293
　シートベルト着用忘れチャイム...293
　ランプ消し忘れ防止チャイム...293
　リクエストスイッチ不作動警報...293
化粧鏡 (バニティーミラー)..........199
けん引..289

コ

交換
　タイヤの位置交換 (タイヤロー
　テーション)..............................229
　電球 (バルブ) 交換..................237
　電池交換 (インテリジェント
　キー)...246
　電池交換 (リモートコントロール
　エントリーシステム)...............248
　ヒューズの交換........................235
工具..266
後退灯 (バックランプ)
　電球 (バルブ) 交換..................237
　W (ワット) 数..........................311
コートハンガー..............................211
故障警告表示灯
　点灯した....................................295

サ

サードシート....................................54
サービスデータ
　設定変更 (カスタマイズ機能)...315

サイドブレーキ (パーキングブレーキ) 158
サイドミラー (ドアミラー) 59
サンバイザー 199

シ

シート
 サードシート 54
 シートアレンジ 195
 セカンドシート 46
 正しい運転姿勢 43
 フロントシート 44
 ヘッドレスト 55
シートアンダートレイ 209
シートベルト
 ELR (緊急時固定) 機構 63
 3 点式シートベルト 68
 シートベルト警告灯 134
 種類 63
 高さ調整 70
 正しい着用のしかた 64
 着用忘れチャイム 68
 手入れ 254
 プリテンショナー機構 63
 ロードリミッター機構 64
室内照明 199
 イルミネーテッドエントリーシステム 199
 ラゲッジルームランプ 201
 ルームランプ 200
室内灯 (ルームランプ)
 スイッチ 200
 電球 (バルブ) 交換 237
 W (ワット) 数 311
ジャッキ 267
車幅灯 (スモールランプ)
 スイッチ 160
 電球 (バルブ) 交換 237
 W (ワット) 数 311
集中ドアロック 26
収納 205
 コートハンガー 211
 シートアンダートレイ 209
 収納ボックス 207
 ラゲッジアンダートレイ 213
 ラゲッジルーム 212
収納ボックス 207

ス

スイッチ
 4WD スイッチ 159
 ASCD ステアリングスイッチ ... 177
 VDC OFF スイッチ 175
 アイドリングストップ OFF スイッチ 123
 ウォッシャースイッチ 165
 ステアリングオーディオリモートコントロールスイッチ 194
 非常点滅灯スイッチ 164
 フォグランプスイッチ 164
 ヘッドランプスイッチ 160
 ルームランプスイッチ 200
 ワイパースイッチ 165
スタックしたとき 263
ステアリングオーディオリモートコントロールスイッチ 194
ステアリング (ハンドル) 58
 ロックされたとき 113
ストップランプ (制動灯)
 電球 (バルブ) 交換 237
 W (ワット) 数 311
スノータイヤ 258
スパークプラグ 310
スピードメーター 127
スモールランプ (車幅灯)
 スイッチ 160
 電球 (バルブ) 交換 237
 W (ワット) 数 311
スライドドア 27

セ

制動灯 (ストップランプ)
　電球 (バルブ) 交換 237
　W (ワット) 数..........................311
セカンドシート...................................46
セレクトレバー............................... 148
洗車...250
前照灯 (ヘッドランプ)
　スイッチ 160
　電球 (バルブ) 交換 237
　W (ワット) 数..........................311

ソ

速度計 (スピードメーター)........... 127

タ

ターンシグナル (方向指示器)
　電球 (バルブ) 交換 237
　レバー.. 163
　W (ワット) 数..........................311
タイヤ
　空気圧..313
　サイズ..313
　チェーン 258
　点検..226
　パンク応急修理キット..............272
　パンクしたとき 272
　冬にそなえて 257
　ローテーション (位置交換).....229
タコメーター 127
脱輪などで動けなくなったとき 264

チ

チェーン (タイヤチェーン)...........258
チャイルドシート..............................72
　お子さま専用シート選択の目安...74
　お子さま専用シートの種類..........73
　固定ロアアンカー.........................77
　チャイルドシートを固定するとき...77
チャイルドセーフティドアロック.....37
駐車するとき
　オートマチック車...................... 154
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)
　警告灯..295
　操作方法.................................... 158
　点検基準値 309
チルトステアリング...........................58

テ

定期点検 220
ディファレンシャルオイル
　推奨オイル、容量......................306
手入れ
　アルミホイール 252
　外装..250
　外装樹脂部品 253
　ガラス..252
　革張り部分 254
　シートベルト 254
　樹脂部品....................................256
　洗車..250
　内装..253
　布張り部分 254
　フロントガラスの油膜をとる
　とき..252
　ミラー..252
　ワックスがけ 252
テールランプ (尾灯)
　スイッチ 160
　電球 (バルブ) 交換 237
　W (ワット) 数..........................311
電球
　電球 (バルブ) 交換 237
　W (ワット) 数..........................311
点検整備について..........................219
12V 電源 201
電源ポジション............................... 113
電動格納ミラー (ドアミラー)..........59
電動スライドドア............................30
電動ミラー (ドアミラー)..................59

ト

ドアア......21
　集中ドアロック......26
　スライドドア......27
　ドアミラー......59
　バックドア......39
　半ドア警告灯......134
ドアミラー......59
　角度調節......59
　格納......59
　曇り取り......170
盗難防止システム......86
トラクションコントロールシステム
(TCS)......173
　TCS/VDC 作動表示灯......173
　作動表示灯が点灯した......301
トリップメーター......127

ナ

夏にそなえて......259
ナンバープレートランプ（番号灯）
　スイッチ......160
　電球（バルブ）交換......237
　W（ワット）数......311

ニ

日常点検......220, 222

ネ

燃料
　給油するとき......83
　使用燃料、容量......304
　燃料計......128

ハ

パーキングブレーキ
　操作方法......158
　点検基準値......309
ハイビーム（ヘッドランプ上向き）
　電球（バルブ）交換......237
　W（ワット）数......311
ハイビーム（ヘッドランプ上向き）
　切り替え......161
ハイマウントストップランプ
　W（ワット）数......311
ハザードランプ（非常点滅灯）
　スイッチ......164
　電球（バルブ）交換......237
　W（ワット）数......311
はさみ込み防止機構......81
発炎筒......265
バックドア......39
　開けかた......40
　開けられなくなったとき......303
　閉めかた......41
バックミラー（ルームミラー）......61
パッシング合図......161
バッテリー
　あがったとき......280
　型式、容量......310
　点検......228
　冬にそなえて......257
バニティーミラー（化粧鏡）......199
バルブ（電球）
　電球（バルブ）交換......237
　W（ワット）数......311
パワーウインドー......80
パワーステアリング
　警告灯が点灯した......299
パワーステアリングフルード
　推奨フルード、容量......307

番号灯 (ナンバープレートランプ)
スイッチ.................................... 160
電球 (バルブ) 交換..................237
W (ワット) 数..........................311
ハンドル...58

ヒ

ビークルダイナミクスコントロール
(VDC).. 174
TCS/VDC 作動表示灯............. 175
VDC OFF スイッチ.................. 175
VDC OFF 表示灯...................... 176
作動表示灯が点灯した..............301
非常点滅灯
スイッチ.................................... 164
電球 (バルブ) 交換..................237
点滅が速くなった......................302
W (ワット) 数..........................311
尾灯 (テールランプ)
スイッチ.................................... 160
電球 (バルブ) 交換..................237
W (ワット) 数..........................311
ヒューズ..230
エンジンルーム内ヒューズボックス..232
室内ヒューズボックス..............230
表示灯.. 134
4WD 表示灯............................. 159
TCS/VDC 作動表示灯... 173, 175
VDC OFF 表示灯...................... 176
VDC OFF 表示灯が点灯した ...301
ASCD メイン表示灯 (橙)/
ASCD 表示灯 (緑)................... 177
マニュアルモード表示灯........... 149
ヒルスタートアシスト (HSA)........ 172

フ

ブースターケーブルのつなぎ方 281
フォグランプ
スイッチ.................................... 164
電球 (バルブ) 交換..................237
W (ワット) 数..........................311
吹き出し口 (空調)......................... 187
フック (けん引)............................289
踏切内で動けなくなったとき 264
フューエルキャップ...........................85
フューエルリッド (燃料補給口)......85
冬にそなえて 257
冬用タイヤ (スノータイヤ)...........258
ブレーキ... 158
警告灯が点灯した......................295
ブレーキ液 (フルード)
交換時期、推奨液......................307
ブレーキペダル
点検基準値 309
ブレーキランプ (制動灯)
電球 (バルブ) 交換..................237
W (ワット) 数..........................311
フロアカーペット............................215
フロントシート..................................44

ヘ

ヘッドランプ (前照灯)
キセノンヘッドランプ.............. 163
切り替え.................................... 161
スイッチ.................................... 160
電球 (バルブ) 交換..................237
パッシング合図 161
レベリング 162
W (ワット) 数..........................311
ヘッドレスト 55

ホ

ホイール
サイズ......313
手入れ......252
方向指示器
電球（バルブ）交換......237
方向指示灯の点滅が速くなった...302
レバー......163
W（ワット）数......311
ホーン......170
ボトルホルダー......204
ボンネット......220

マ

ミ

ミラー
手入れ......252
ドアミラー......59
バニティーミラー......199
ルームミラー......61

メ

メーター......126
イルミネーションコントロールスイッチ......129
オドメーター......127
スピードメーター......127
タコメーター......127
トリップメーター......127
燃料計......128

ヤ

ヨ

4WD......159
警告灯が点灯した......298
警告灯が点滅した......298
スイッチ......159
表示灯......159

ラ

ライセンスプレートランプ（番号灯）
電球（バルブ）交換......237
W（ワット）数......311
ラゲッジアンダートレイ......213
ラゲッジルーム......212
ラゲッジルームランプ......201
ランプ
消し忘れ防止チャイム......293
スイッチ......160
電球（バルブ）交換......237
点灯しないとき......235
レベリング......162
W（ワット）数......311

リ

リモートコントロールエントリーシステム......15
電池交換......248
ドアの施錠 / 解錠......25
リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ......170
リヤワイパー......169

ル

ルームミラー......61
ルームランプ......200
スイッチ......200
電球（バルブ）交換......237
W（ワット）数......311

レ

冷却水
交換時期、推奨液、容量......307
低水温表示灯（青）が点灯し続ける......302
冬にそなえて（濃度の調節）.....257

ロ

路上で動けなくなったとき......262

ワ

ワイパー
寒冷地用ワイパーブレード.......257
スイッチ..165
フロント..166
リヤ...169
ワックスがけ......................................252